

令和4年度 第2回 高知県健康づくり推進協議会

次 第

1 開会

2 議事

- (1) 高知県の現状について（資料1）
- (2) 第4期高知県健康増進計画（よさこい健康プラン21）の推進に関する取組について
 - ①各専門部会について（資料2）
 - ②第4期高知県健康増進計画（よさこい健康プラン21）の推進に関する令和4年度及び今後の取組について（資料3及び補足資料）
- (3) 第4期高知県健康増進計画（よさこい健康プラン21）の推進に関する令和5年度の取組（案）について（資料4）
- (4) 第5期高知県健康増進計画（よさこい健康プラン21）の策定について（資料5）
- (5) その他

3 閉会

日時：令和5年2月21日（火） 18時30分～20時30分
方法：Zoomシステムを使用したオンライン会議
（県庁会場：高知県庁本庁舎4階 健康政策部長室）

第4期高知県健康増進計画



お問合せ先
高知県健康政策部保健政策課
担当：大川、柳
TEL：088-823-9648
FAX：088-823-9137

高知県健康づくり推進協議会 委員名簿

任期：令和3年7月1日～令和5年6月30日

所 属 等	役職等	氏 名	備考
高知大学医学部	教授	安田 誠史	Web
高知県立大学	教授	池田 光徳	Web
高知県医師会	常任理事	◎計田 香子	会場
高知県歯科医師会	理事	有田 佳史	Web
高知県薬剤師会	専務理事	堀岡 広稔	Web
高知県看護協会	専務理事	吉永 恵子	Web
高知県栄養士会	会長	新谷 美智	Web
高知産業保健総合支援センター	所長	高橋 淳二	欠席
	副所長	梅原 俊明	代理Web
高知労働局	健康安全課長	吉本 雄一	Web
高知県経営者協会	事務局長	沖田 良二	Web
高知市	健康増進課長	小藤 吉彦	欠席
高知県健康づくり婦人会連合会	会長	○熊田 敬子	会場
高知県食生活改善推進協議会	会長	津野 美也	会場
高知県ウォーキング協会	会長	田村 滋	Web
日本健康運動指導士会高知県支部	支部長	葛岡 善行	Web
高知県国民健康保険団体連合会	保険者支援課長	諸石 恵子	Web
高知縣市町村教育委員会連合会	理事	谷 智子	Web
高知県保健所長会	会長	福永 一郎	Web

◎会長 ○副会長 (敬称略、順不同)

高知県教育委員会

教育委員会保健体育課	チーフ(食育・学校給食・保健担当)	廣田 志保
------------	-------------------	-------

事務局

健康政策部	部長	家保 英隆
保健政策課	課長	濱田 仁
	保健推進監	酒井 美枝
	チーフ(健康づくり担当)	大川 純子
	チーフ(血管病対策担当)	吉松 恵
	主事	柳 光紀

高知県健康づくり推進協議会設置要綱

(目的)

第1条 高知県における健康づくりを推進するために、高知県健康づくり推進協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(任務)

第2条 協議会は、以下の事項について協議をするものとする。

- (1) よさこい健康プラン21の具体的な取り組みの推進、進行管理及び評価並びに見直しに関すること。
- (2) 地域保健と職域保健の連携による健康づくり推進に関すること。
- (3) その他県民の健康づくりに必要な事項。

(組織)

第3条 協議会には、専門部会を置き、担当する分野に関する事項を協議し決定することができる。

- 2 専門部会の委員は、会長が指名して決定する。
- 3 専門部会は、協議に必要があると認める場合には、必要に応じて委員以外の者に出席を求め、助言及び意見を聞くことができる。
- 4 専門部会が協議し、調整した事項は、協議会へ報告して協議会が決定したものとみなす。但し、専門部会からの報告は、報告文書を送付して報告に代えることができる。

(委員)

第4条 協議会の委員は、別表1に掲げる機関、団体の代表者などを持って構成し、知事が委嘱する。

(会長、副会長及び部会長)

第5条 協議会に会長1名及び副会長1名を置き、委員の互選により選出する。

- 2 会長は、協議会の会務を統括し、協議会を代表する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代理する。
- 4 専門部会には、会長の指名により部会長1名を置く。
- 5 部会長は、専門部会の会務を統括し、専門部会を代表する。

(委員の任期)

第6条 委員の任期は、2年間とし、再任を妨げない。委員が欠けた場合における補充委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第7条 協議会の会議は、必要に応じて会長が招集し、会長が議長となる。

- 2 専門部会の会議は、必要に応じて部会長が招集し、部会長が議長となる。
- 3 委員はやむを得ない事情により会議に出席できない場合には、会長または部会長の了解を得て、代理人を会議に出席させることができる。

(庶務)

第8条 協議会の庶務は、高知県健康政策部保健政策課が行う。

(雑則)

第9条 この要綱で定めるもののほか、協議会及び専門部会の運営に関し必要な事項は、それぞれ会長及び部会長が定める。

附 則

この要綱は、平成19年2月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成20年5月13日から施行する。

附 則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年4月20日から施行する。

附 則

この要綱は、平成24年4月23日から施行する。

附 則

この要綱は、平成24年6月12日から施行する。

附 則

この要綱は、平成26年4月21日から施行する。

附 則

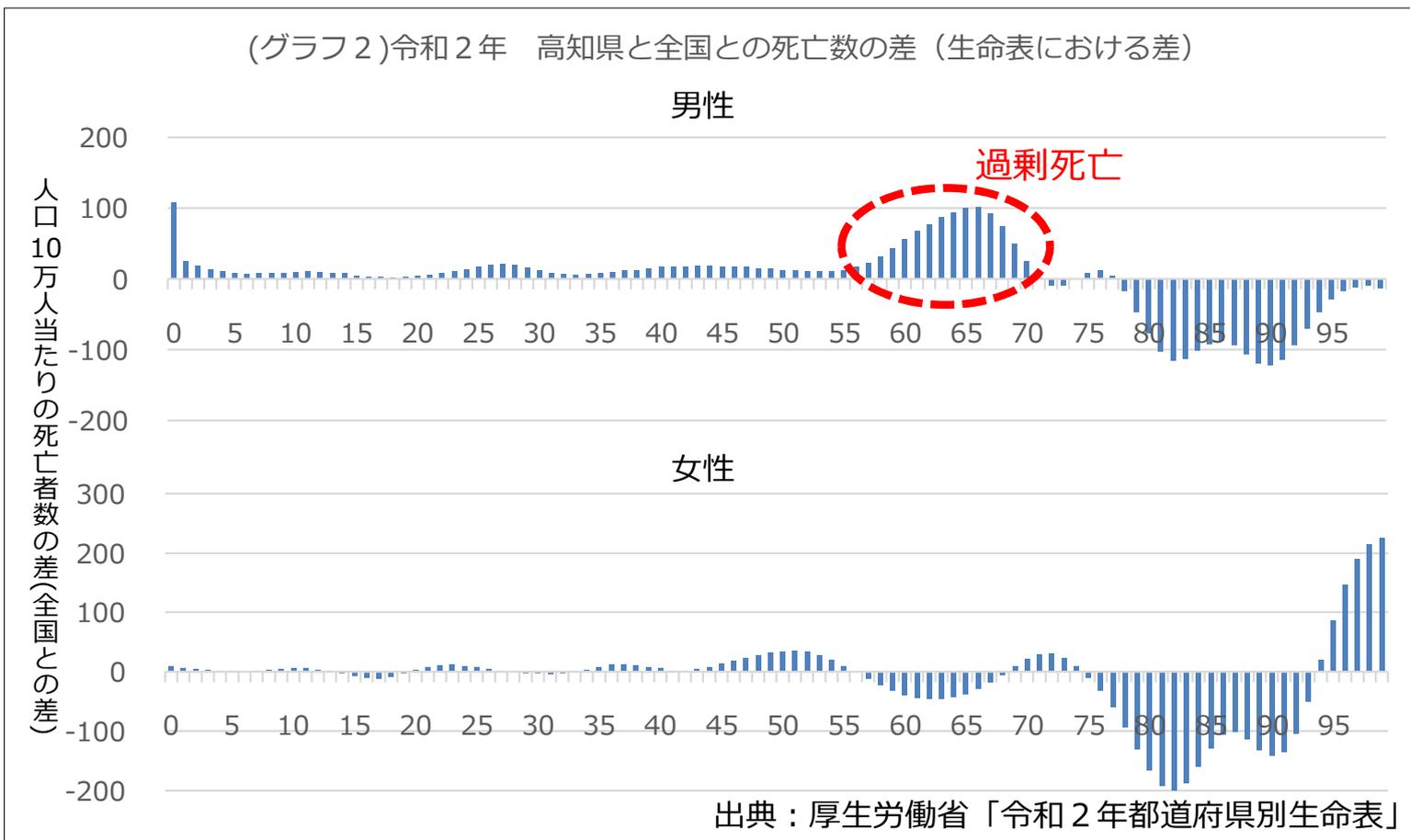
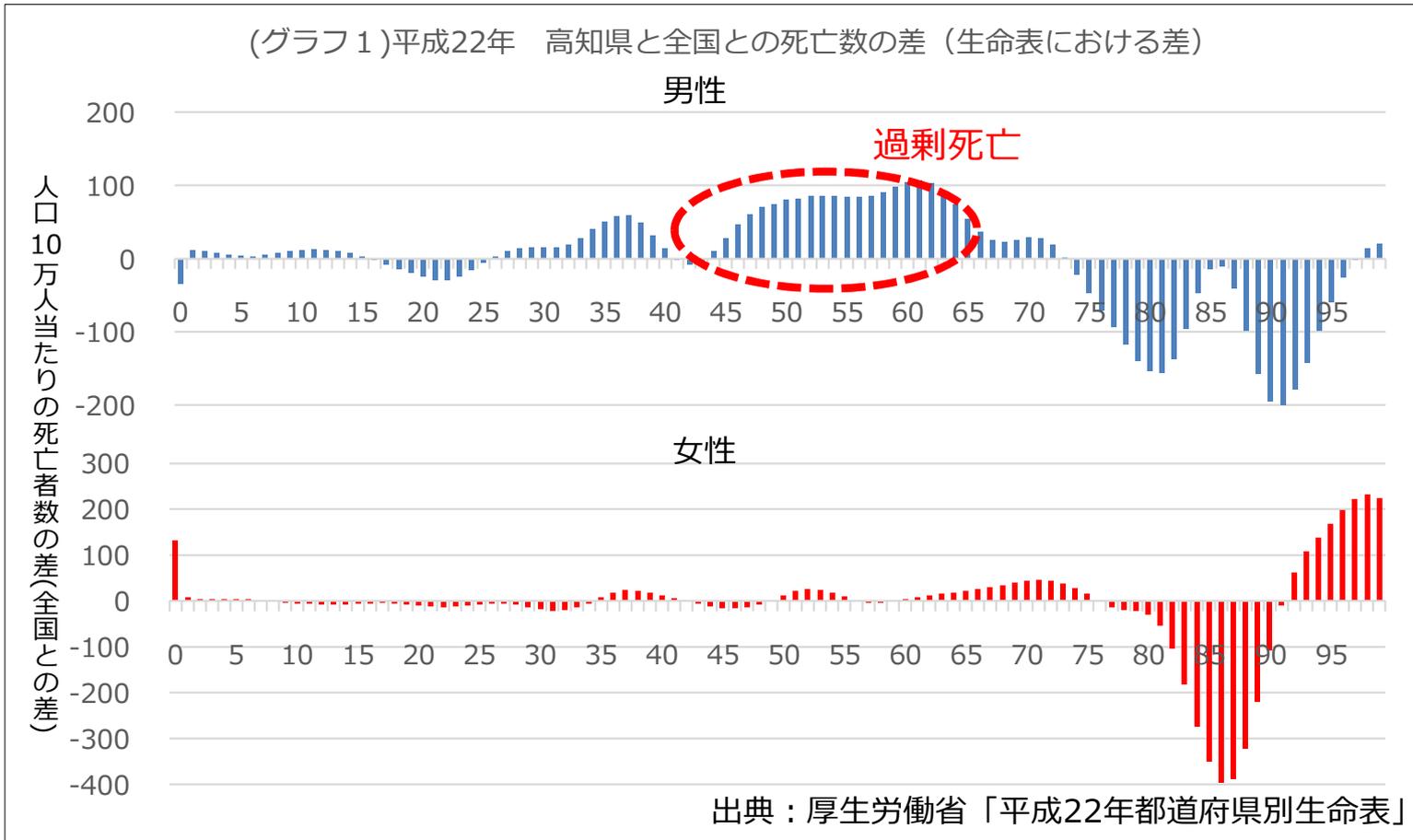
この要綱は、令和4年5月12日から施行する。

別表 1 (第 4 条関係)

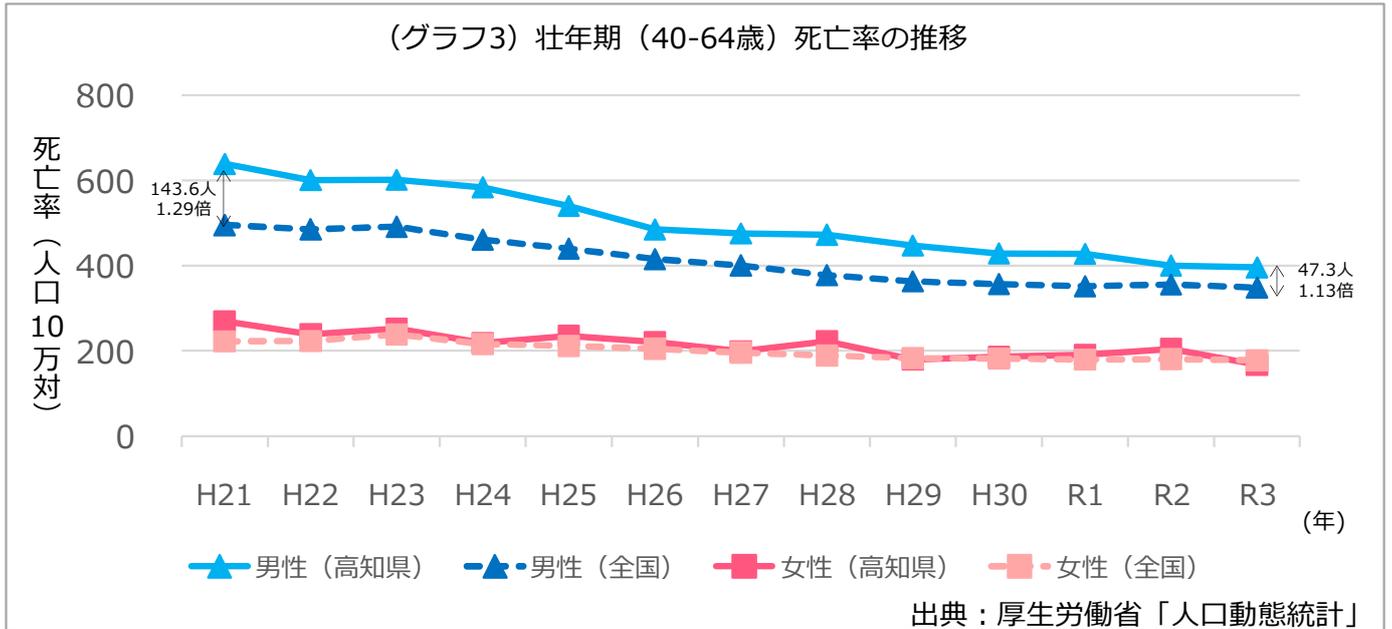
高知大学医学部
高知県立大学
高知県医師会
高知県歯科医師会
高知県薬剤師会
高知県看護協会
高知県栄養士会
高知産業保健総合支援センター
高知労働局
高知県経営者協会
高知市
高知県健康づくり婦人会連合会
高知県食生活改善推進協議会
高知県ウォーキング協会
日本健康運動指導士会高知県支部
高知県国民健康保険団体連合会
高知県市町村教育委員会連合会
高知県保健所長会

1 死亡等の状況

(1) 生命表からみた年齢別死亡者数の全国との差



(2) 死亡者数の推移



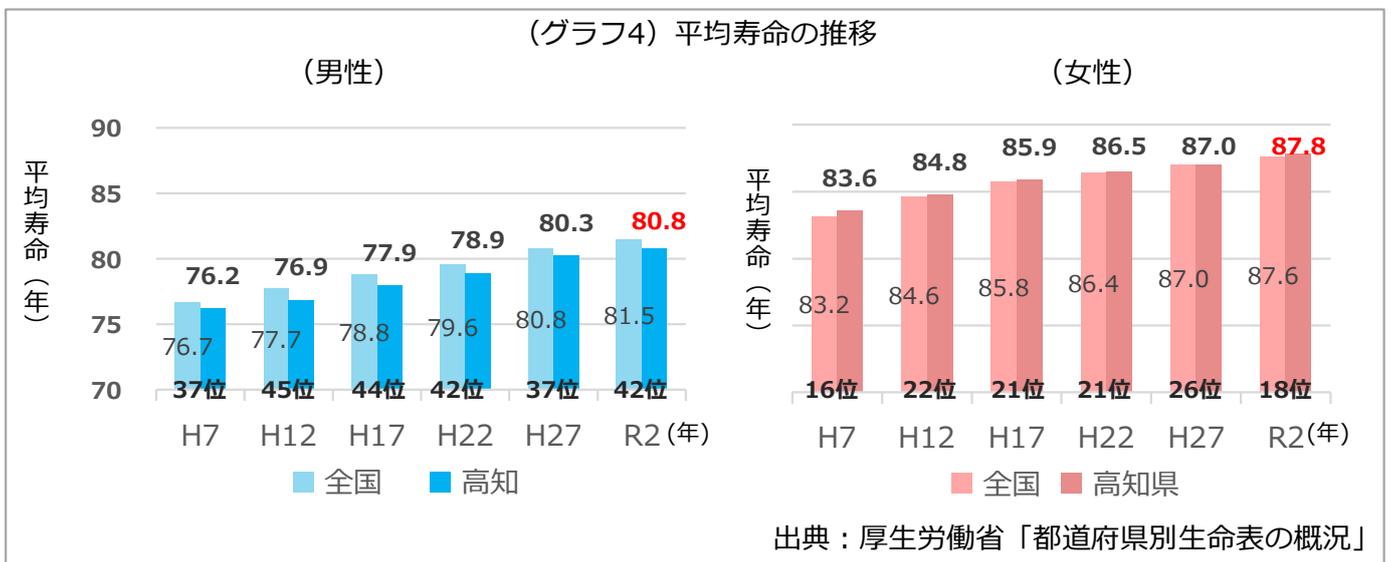
(表1) 本県の壮年期（40-64歳）死亡者数の推移

(単位：人)

(年)	全死亡						全死亡					
	男性	悪性 新生物	脳血管 疾患	心疾患	不慮の 事故	自殺	女性	悪性 新生物	脳血管 疾患	心疾患	不慮の 事故	自殺
H21	797	306	76	100	49	81	354	191	29	22	24	25
H22	756	289	61	106	49	77	313	158	28	27	15	16
H23	745	287	70	86	47	88	329	177	21	31	15	17
H24	707	236	53	113	48	75	279	147	22	26	13	16
H25	640	260	48	71	49	37	294	171	17	24	11	16
H26	563	206	50	78	41	43	270	135	24	22	14	12
H27	542	205	48	71	42	32	238	132	17	15	13	9
H28	531	193	32	74	42	42	263	139	17	23	10	14
H29	496	177	39	69	24	27	209	111	8	13	12	15
H30	470	162	34	64	35	38	213	121	13	10	8	16
R1	465	160	35	65	22	30	216	117	15	16	9	12
R2	428	158	31	54	26	26	227	123	16	14	13	14
R3	428	139	26	59	25	30	186	98	13	13	6	8

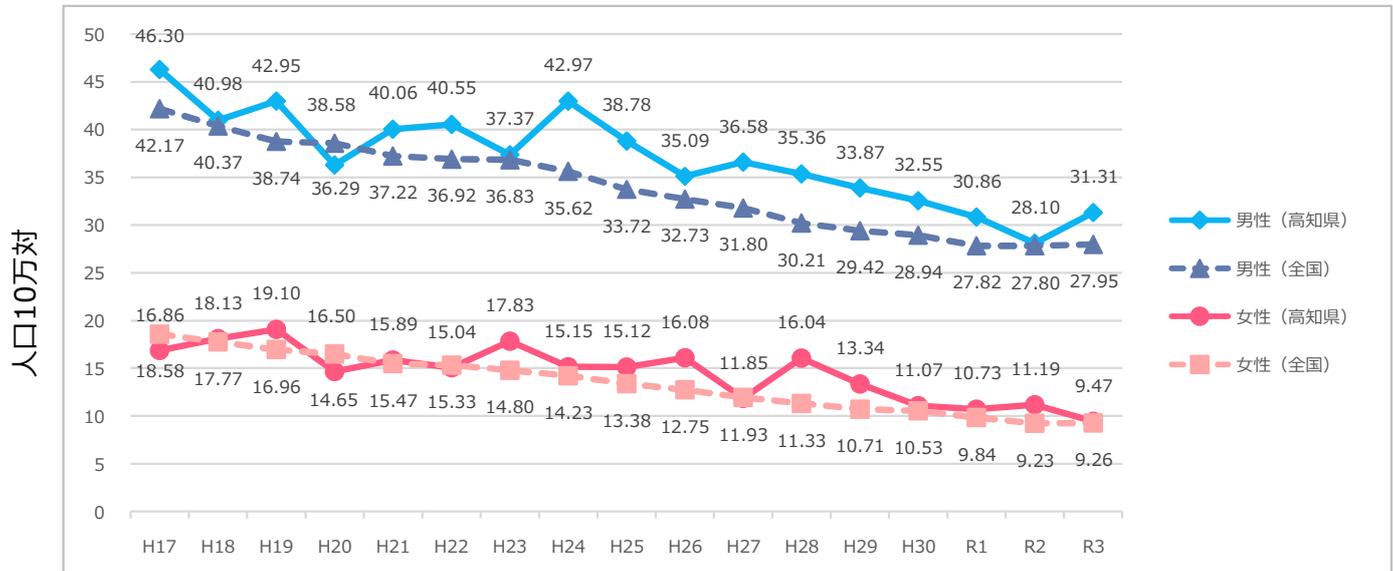
出典：厚生労働省「人口動態統計」

(3) 平均寿命



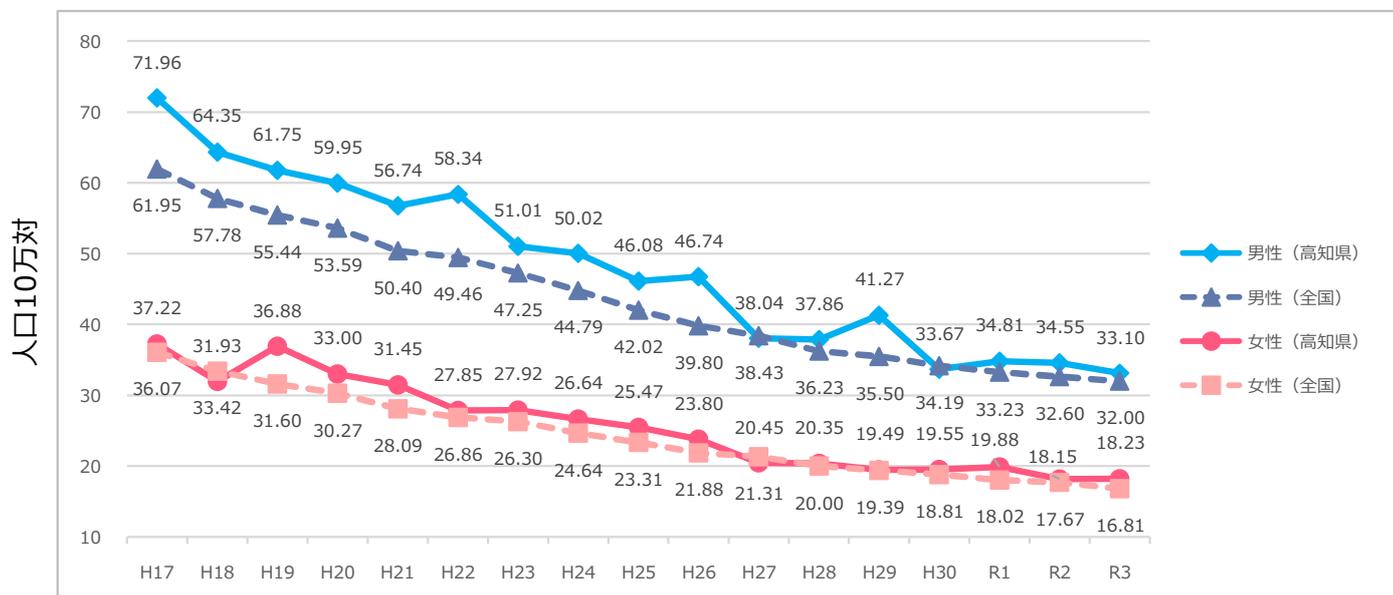
(4) 年齢調整死亡率の推移

(グラフ5) 年齢調整死亡率の推移 (虚血性心疾患・平成17年-令和3年)



出典：厚生労働省「人口動態調査」

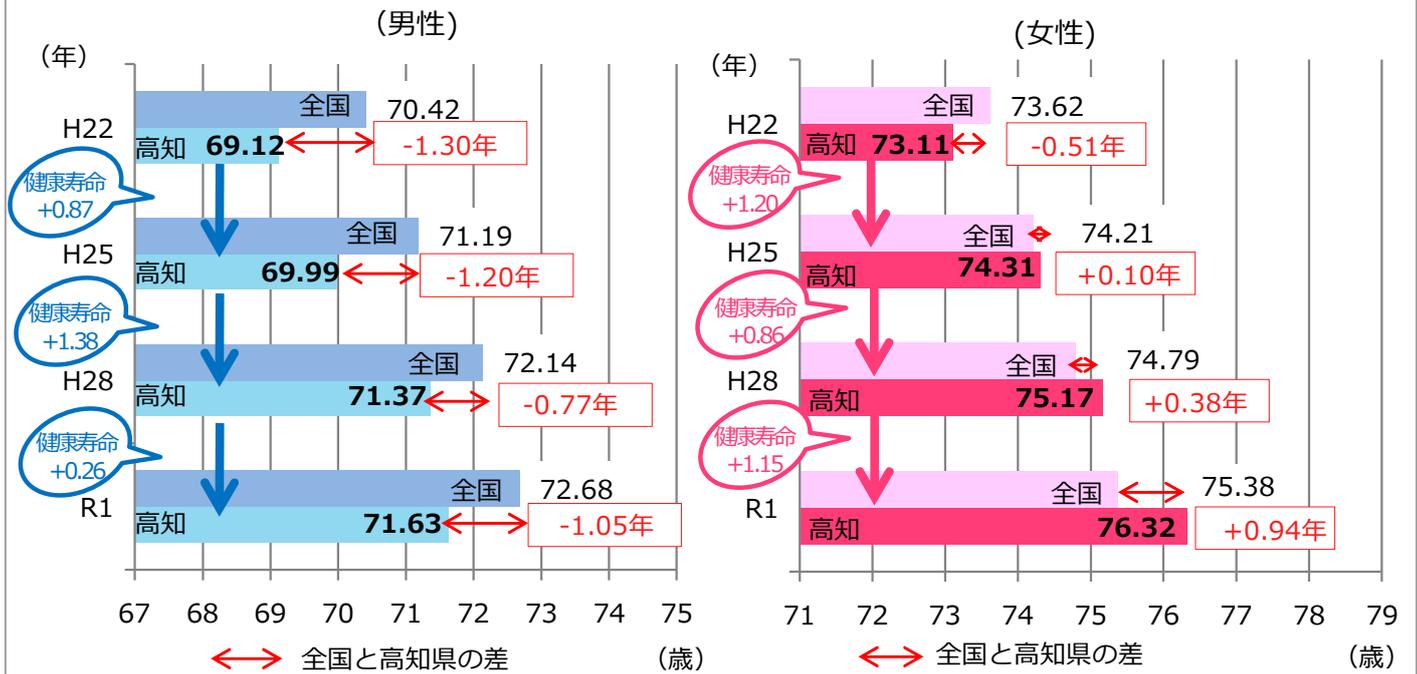
(グラフ6) 年齢調整死亡率の推移 (脳血管疾患・平成17年-令和3年)



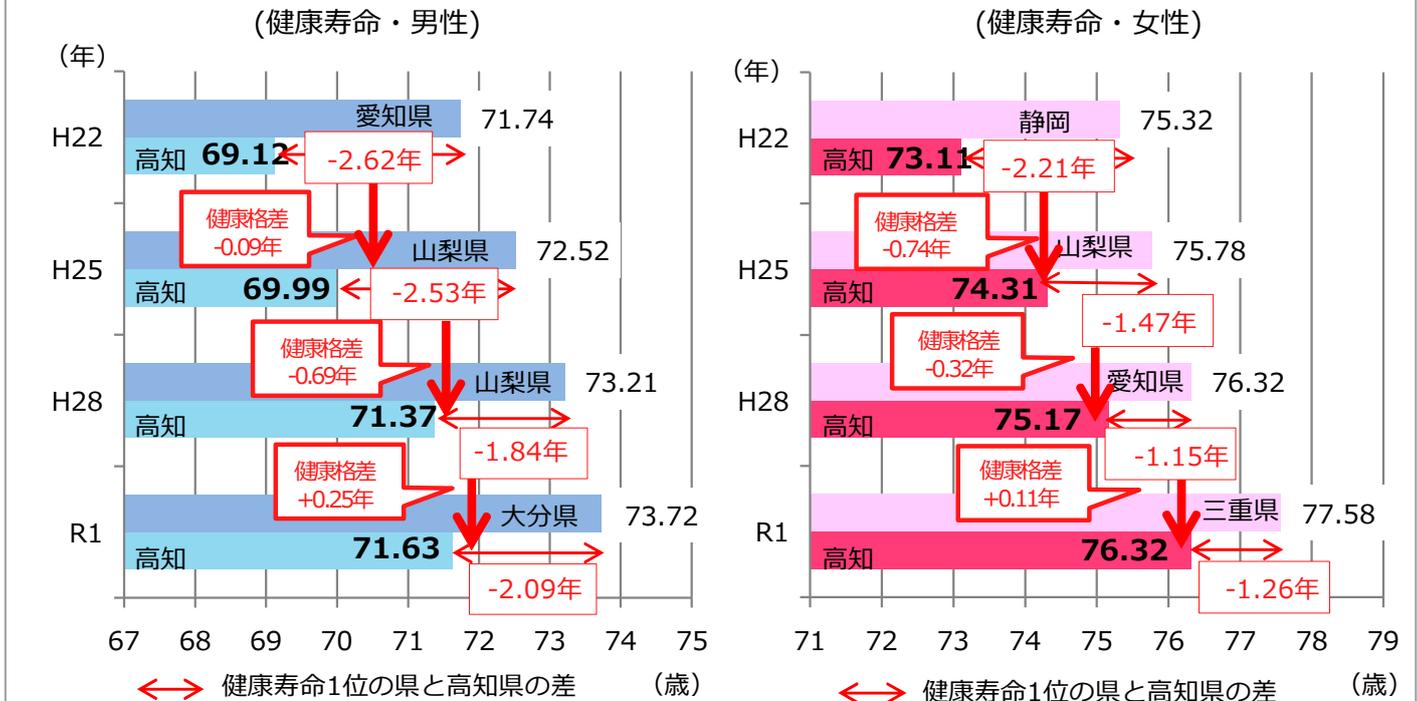
出典：厚生労働省「人口動態調査」

2 健康寿命の状況

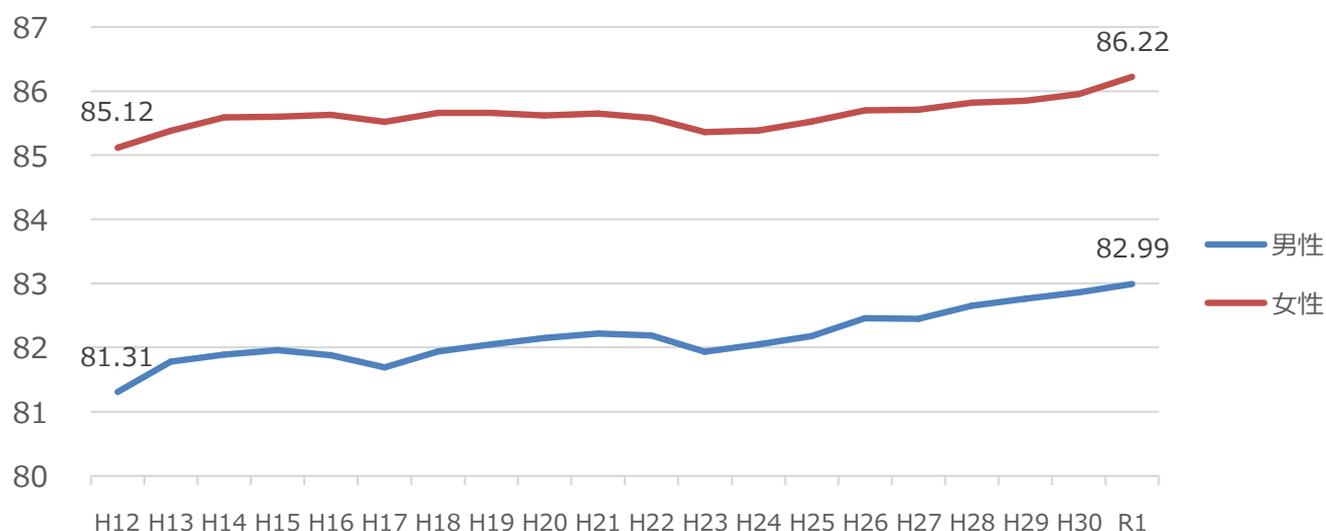
(グラフ7) 健康寿命



(グラフ8) 健康格差の縮小



(グラフ9) 健康寿命 (平均自立期間) の推移



出典：高知県健康づくり支援システム

<健康寿命の算定について>

「平均自立期間の算定方法の指針」（平成19年度厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業）による健康寿命の地域指標の算定の標準化に関する研究班）に基づき、高知県で独自に算出。健康の定義は要介護認定による。（要介護1までを健康と定義）

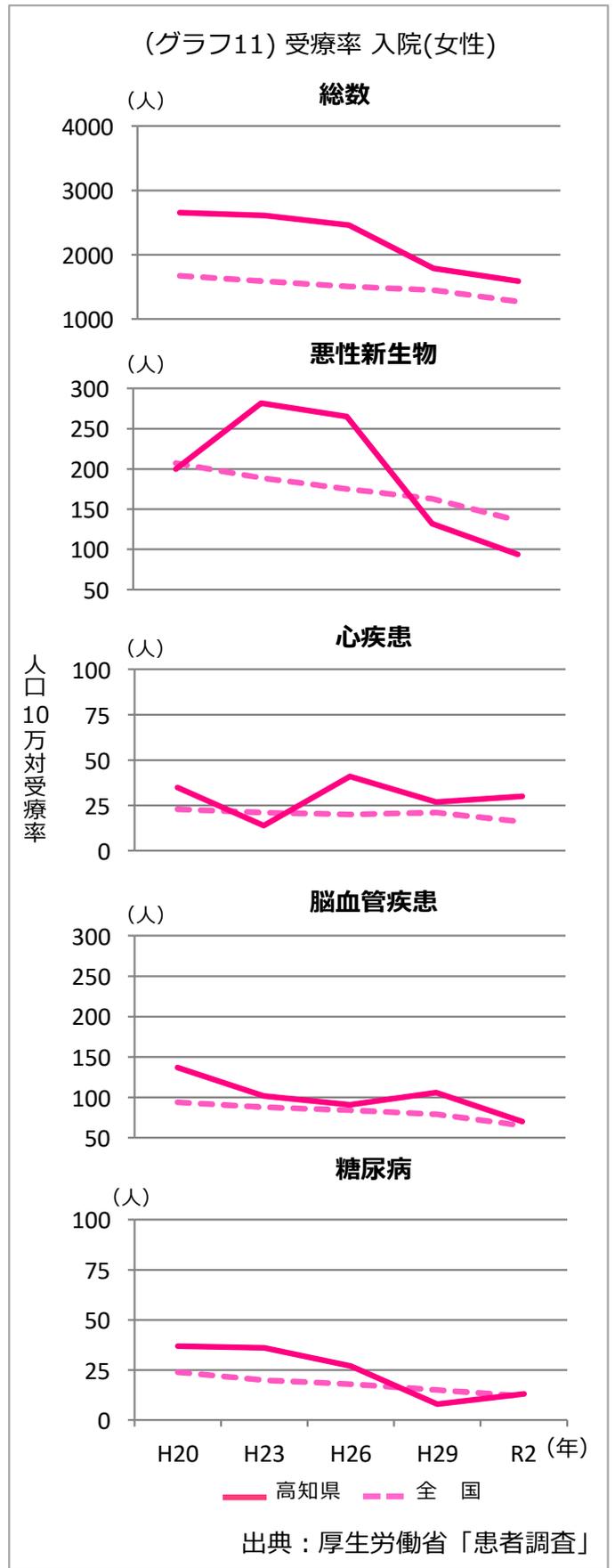
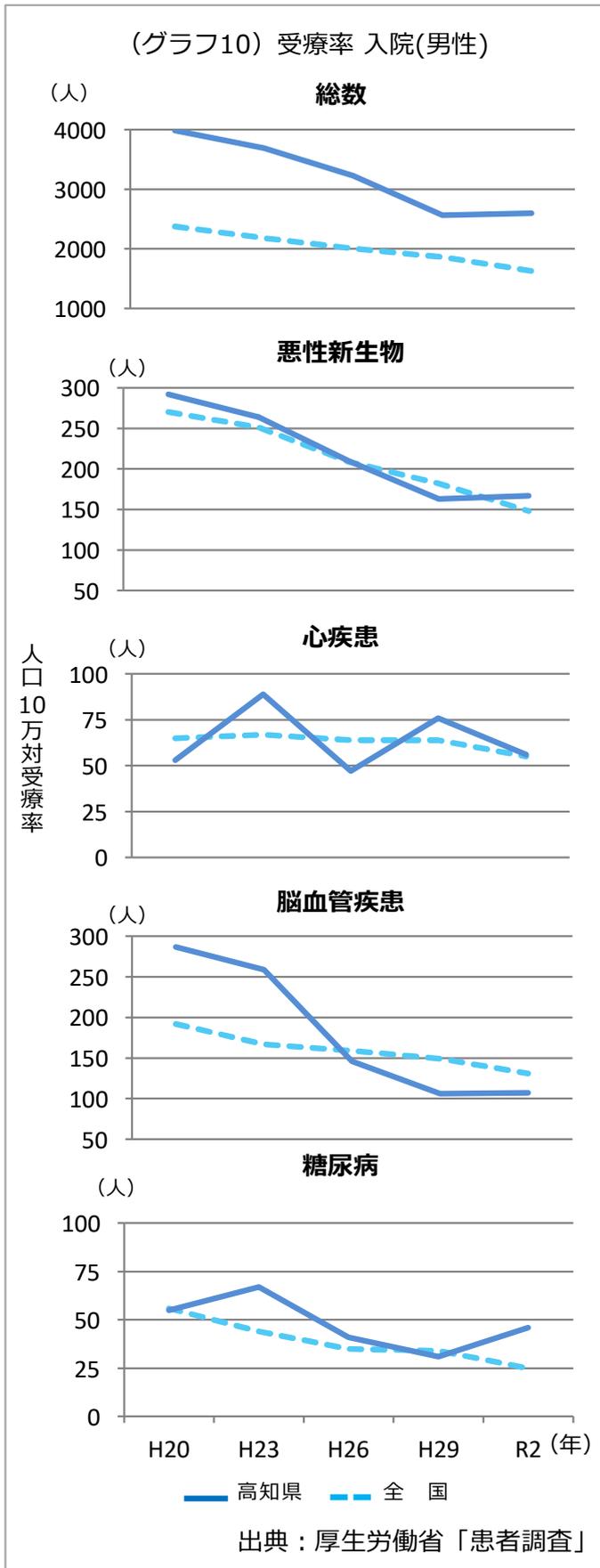
$$\text{健康寿命 (平均自立期間)} = \text{平均余命} - \text{平均要介護期間}$$

<国による健康寿命の算定>

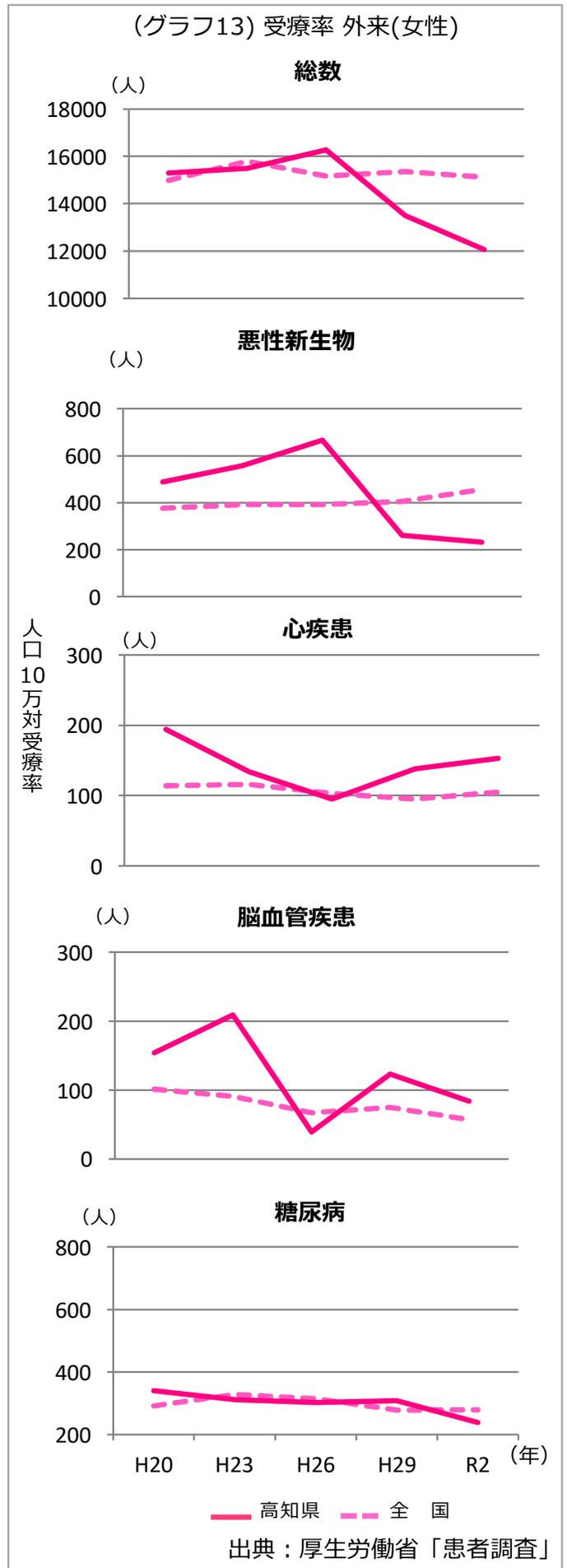
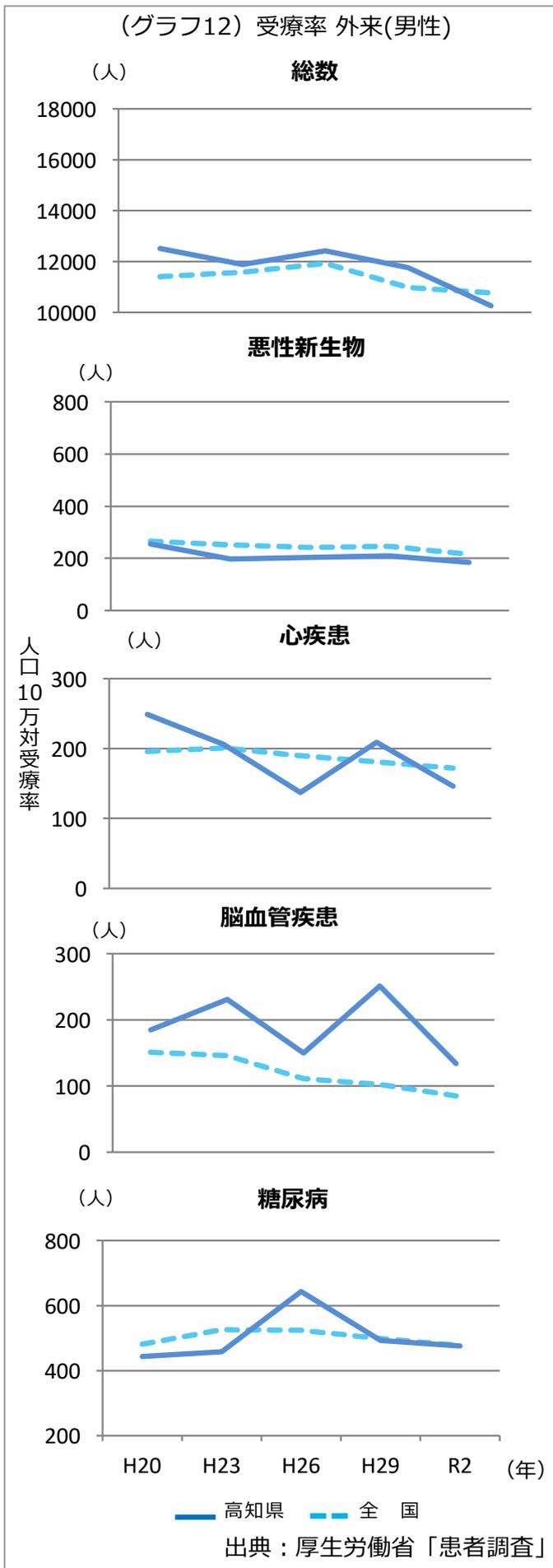
国が公表している健康寿命は、国民生活基礎調査の結果を基に計算をしており、「日常生活に制限のない平均期間」を表す。健康の定義は住民の回答による。（「あなたは現在、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか。」に足して、「ない」と答えた者の割合から計算。）

3 生活習慣病の状況

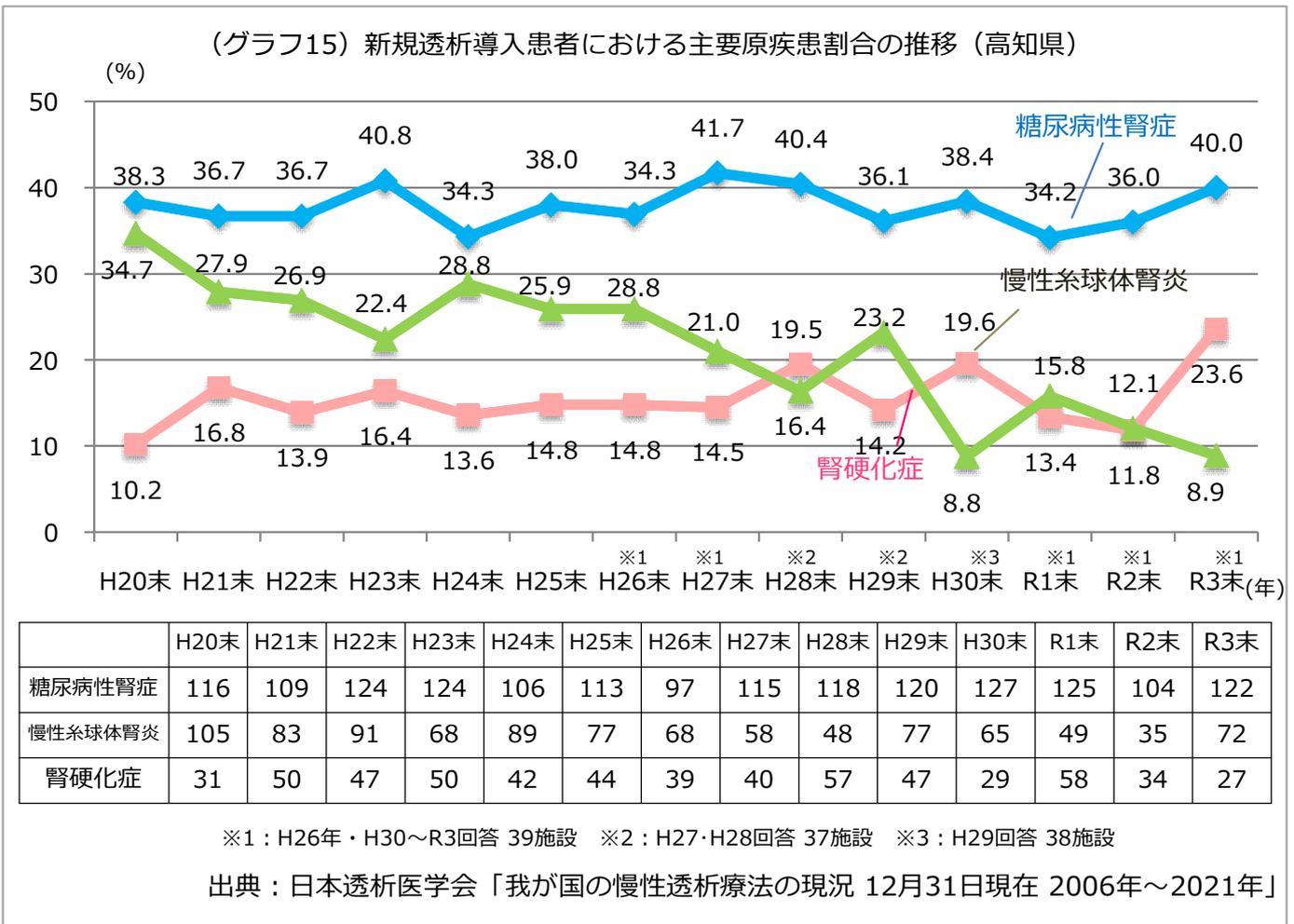
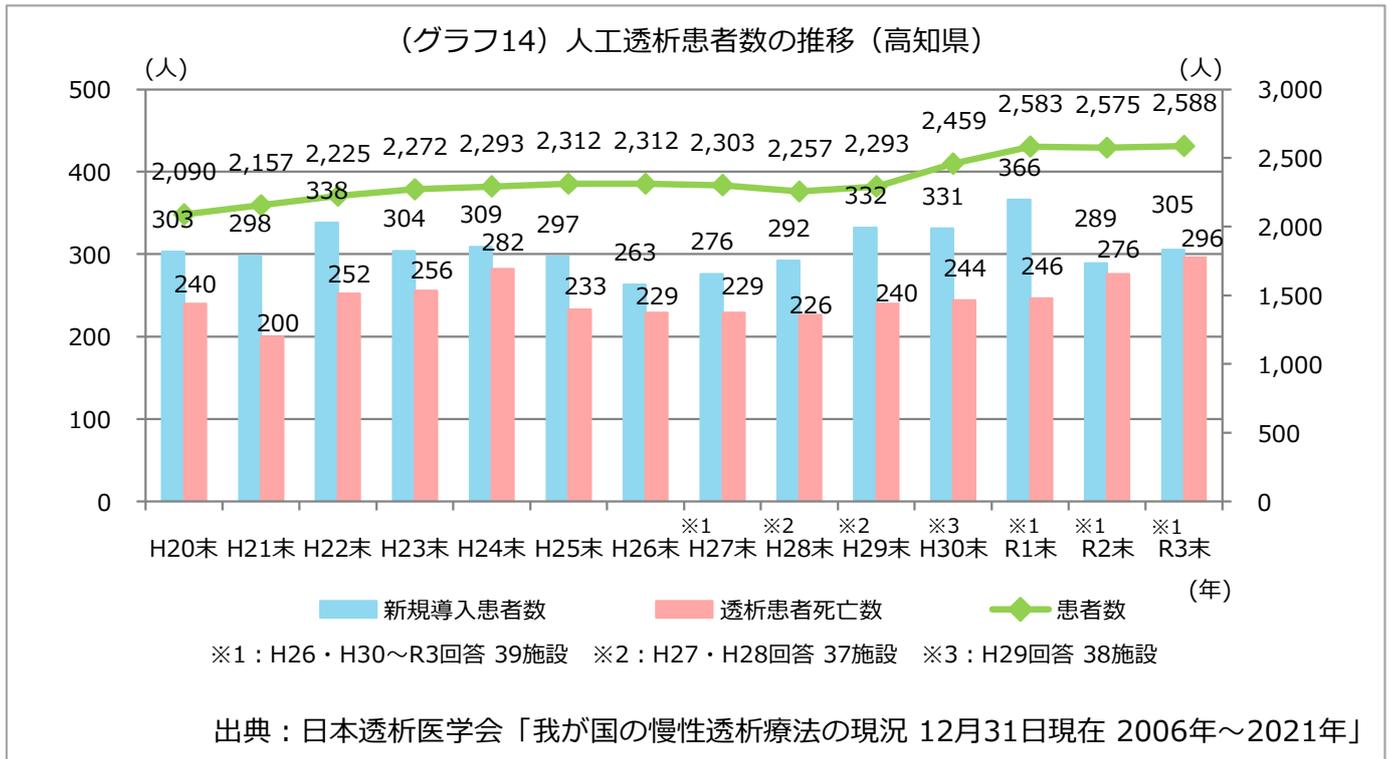
(1) 主要疾患の受療状況 (35-64歳入院)



(2) 主要疾患の受療状況 (35-64歳外来)

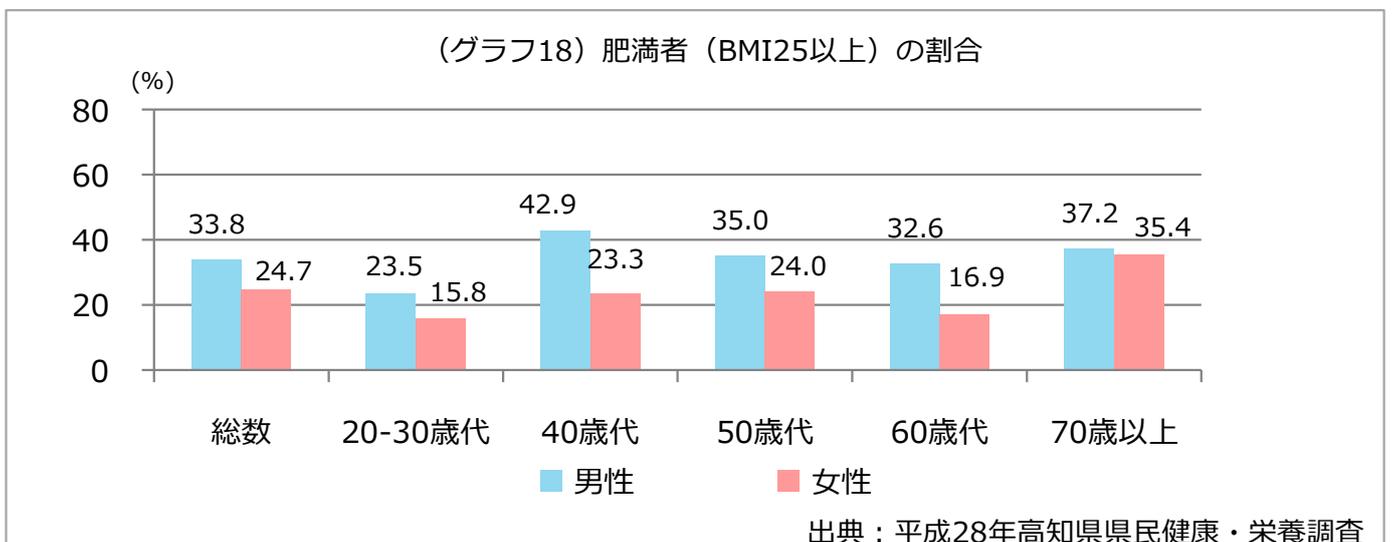
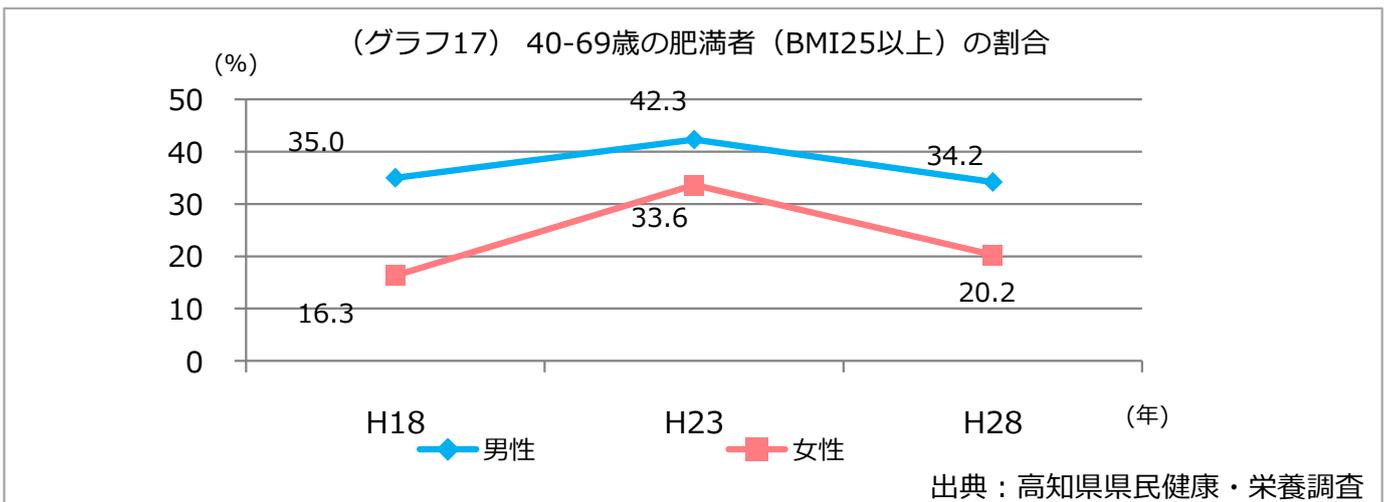
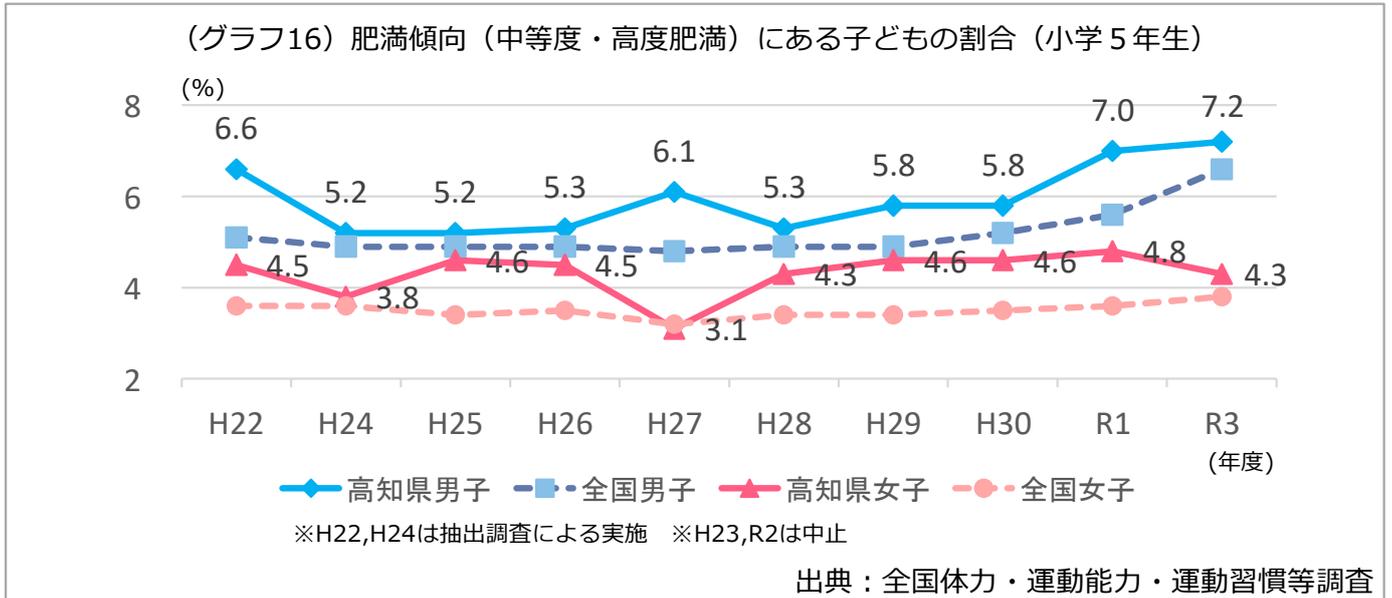


(3) 人工透析の状況

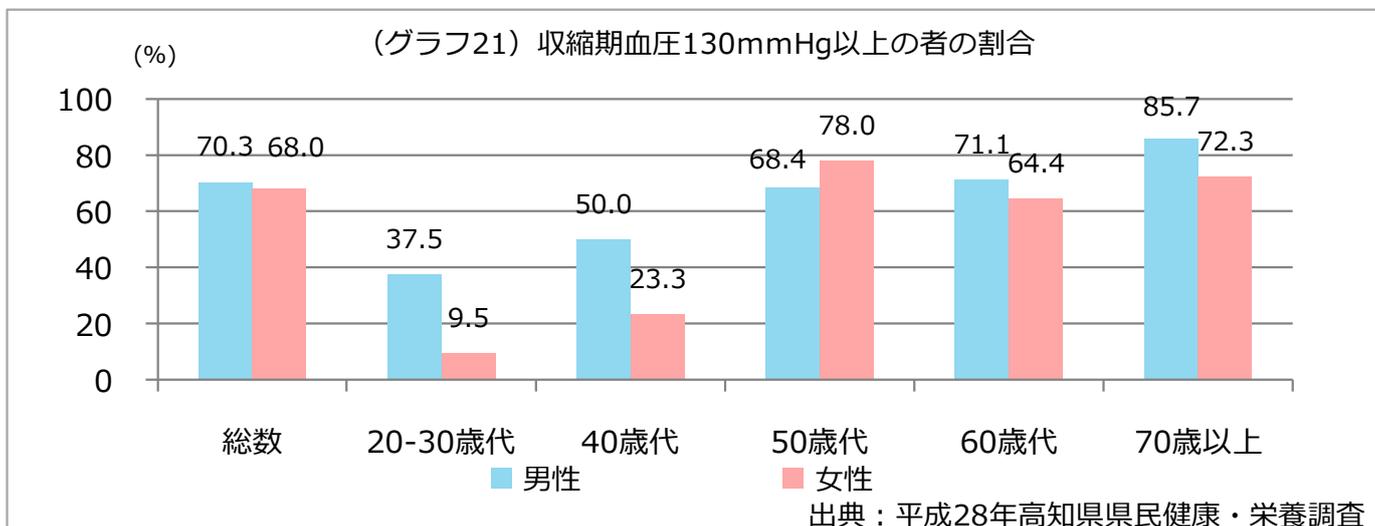
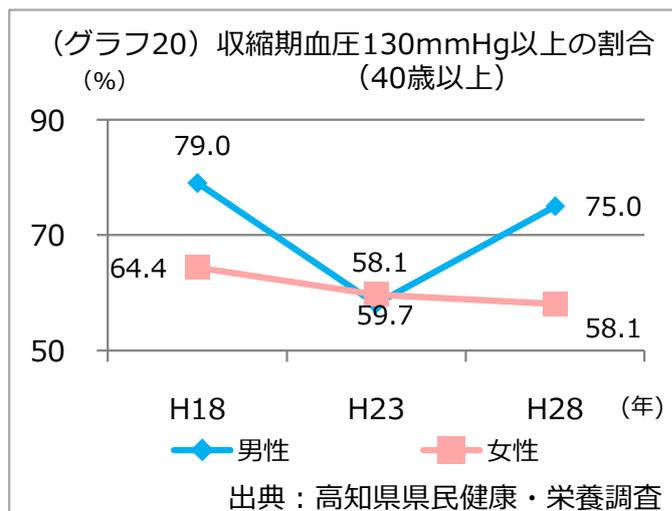
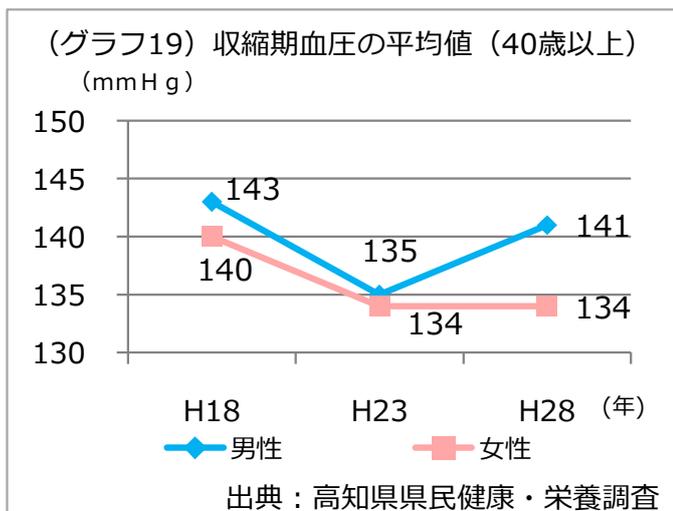


4 健康状態の状況

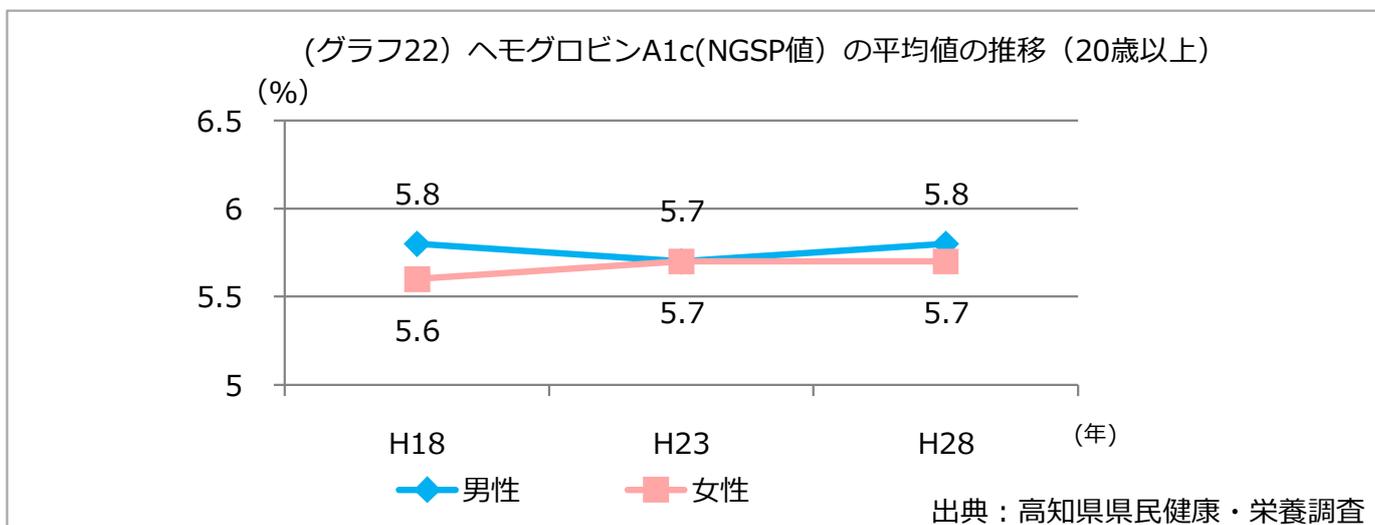
(1) 肥満の状況



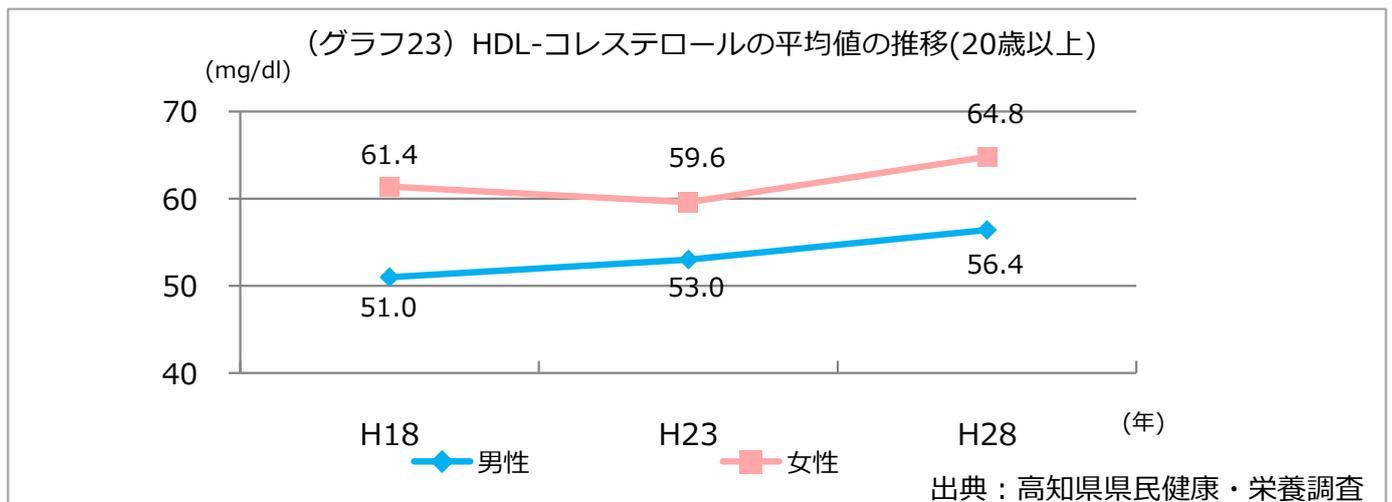
(2) 高血圧の状況



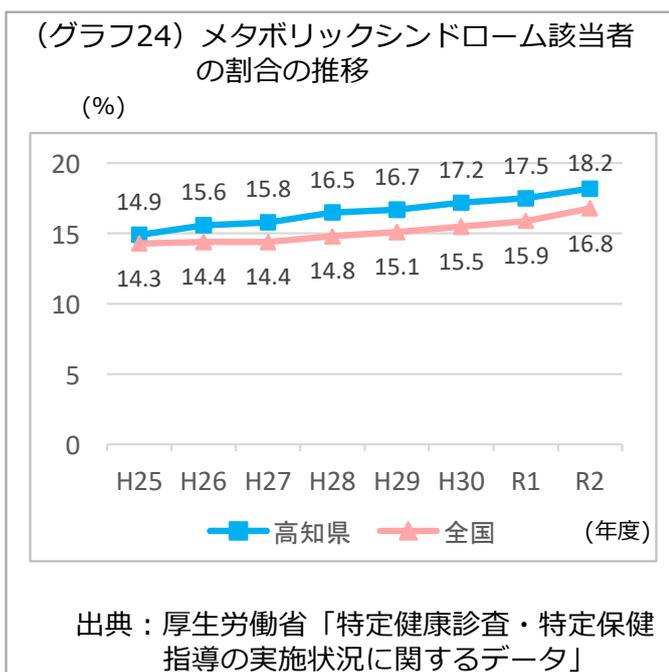
(3) 血糖(ヘモグロビンA1c)の状況



(4) 脂質(HDL-コレステロール)の状況

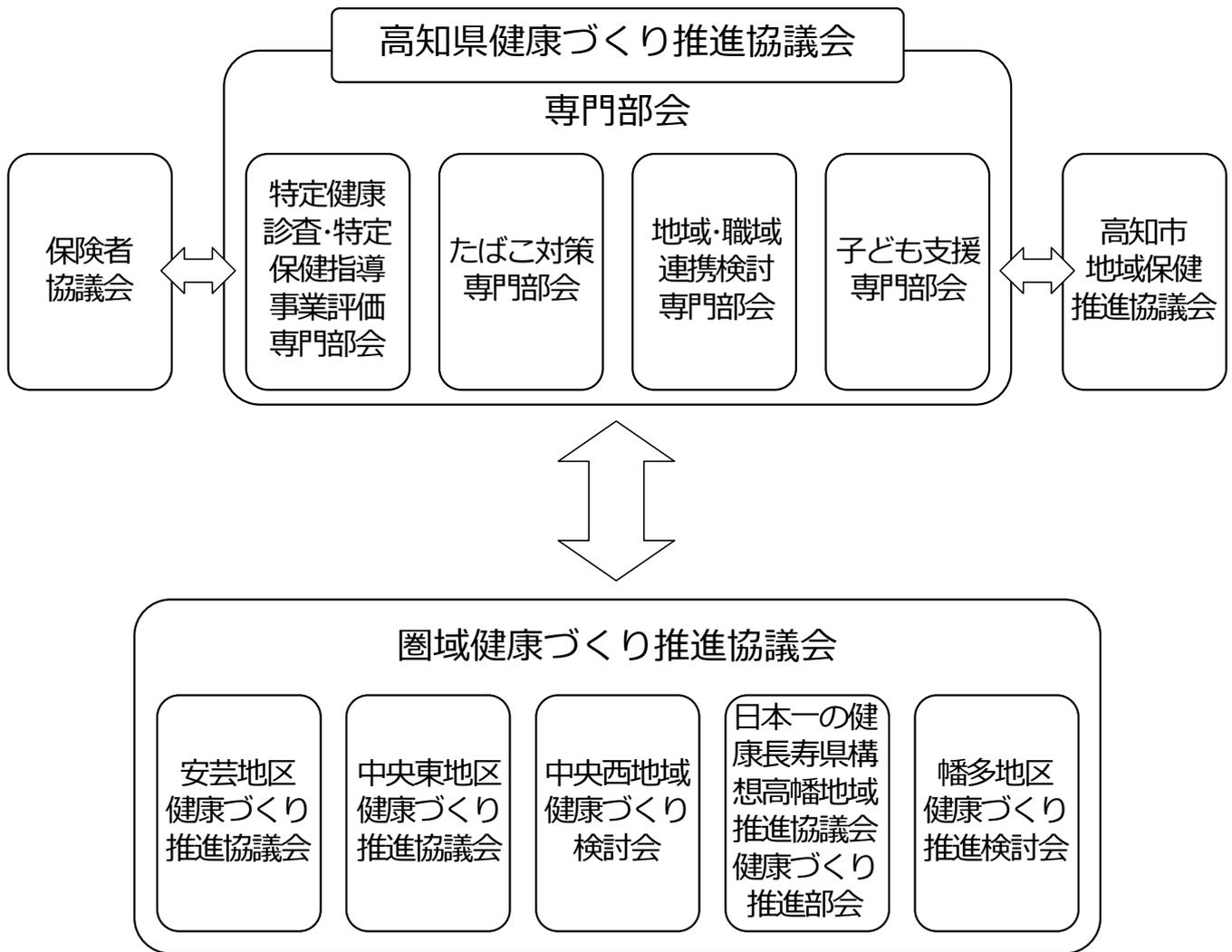


(5) メタボリックシンドロームの状況

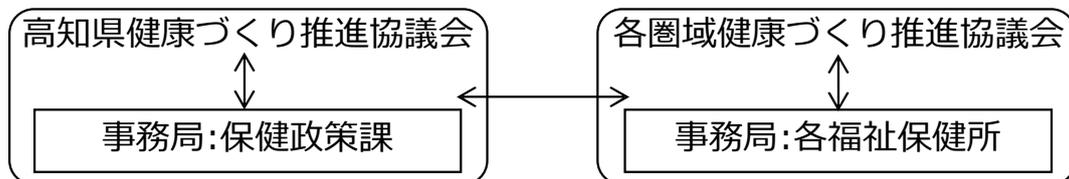


注：内臓脂肪の蓄積に加え、①高血圧、②脂質異常、③高血糖の危険因子のいずれか2つ以上重なっている状態をメタボリックシンドロームという。また、いずれか1つにあてはまる状態をメタボリックシンドローム予備群という。

高知県健康づくり推進協議会体系図



* 高知県健康づくり推進協議会の事務局（保健政策課）と各圏域健康づくり推進協議会の事務局（各福祉保健所）は、互いに連携し、協議内容を共有する。



* 高知県健康づくり推進協議会（専門部会含む）と高知県保険者協議会・高知市地域保健推進協議会は、互いに情報を共有し連携する。

令和4年度健康づくり推進協議会 各専門部会の開催状況

※令和4年度の各専門部会については、令和4年度第1回高知県健康づくり推進協議会（7/26）において、書面開催とすることを決定しました。

専門部会名称	内 容
<p>特定健康診査・特定保健指導 事業評価専門部会</p> <p>（1/25 委員へ資料送付 ↓ 意見とりまとめ）</p>	<p>○生活習慣病の発症予防と重症化予防対策</p> <p>1 特定健診実施率向上対策について</p> <p>（1）特定健診実施率の推移について</p> <p>（2）特定健診実施率向上対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別健診実施機関の健診実施の底上げ ・国保保健事業による受診率向上対策 ・集団健診の利便性向上の取組 ・協会けんぽ高知支部と連携した被扶養者の受診率向上対策 ・制度周知・広報等 ・特定健康診査情報提供事業 ・福祉保健所による支援 <p>2 特定保健指導実施率向上対策について</p> <p>（1）特定保健指導実施率の推移について</p> <p>（2）特定保健指導実施率向上対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導従事者育成研修会 ・職場の環境づくりの推奨
<p>たばこ対策専門部会</p> <p>（1/25 委員へ資料送付 ↓ 意見とりまとめ）</p>	<p>○分野ごとの健康づくりの推進</p> <p>1 【禁煙支援】喫煙をやめたい人への支援体制の充実</p> <p>（1）禁煙へのつなぎ</p> <p>（2）人材育成</p> <p>2 【防煙対策】未成年者への喫煙防止教育の充実</p> <p>（1）健康教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の授業等での副読本を活用した喫煙防止教育の実施
<p>地域・職域連携検討専門部会</p> <p>（1/25 委員へ資料送付 ↓ 意見とりまとめ）</p>	<p>○働きざかりの健康づくりの推進</p> <p>1 健康づくりの県民運動</p> <p>（1）高知家健康パスポート事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康パスポートアプリの魅力向上 ・健康パスポートアプリを活用した健康づくりの盛り上げ <p>（2）高知家健康チャレンジ</p> <p>2 職域と連携した健康づくり</p> <p>（1）関係機関等と連携した啓発</p> <p>（2）健康経営に取り組む事業所への支援</p>
<p>子ども支援専門部会</p> <p>（1/25 委員へ資料送付 ↓ 意見とりまとめ）</p>	<p>○子どもの頃からの健康的な生活習慣の定着</p> <p>1 家庭・学校・地域との協働</p> <p>（1）小・中・高校生を対象とした健康教育副読本の活用</p> <p>（2）子どもの健康教育事业</p> <p>（3）保護者や教員等への出前講座</p> <p>（4）就学前の子どもの保護者を対象とした取組</p> <p>2 食育を通じた健康教育の強化と家庭への波及</p> <p>（1）ヘルスマイトによる児童生徒への健康教育の実施と健康教育内容の家庭への普及</p>

担当課	保健政策課 【教育委員会】 保健体育課 幼保支援課 生涯学習課
-----	---

1 子どもの頃からの健康的な生活習慣の定着	計画冊子	P16～P17
-----------------------	------	---------

(1)家庭・学校・地域との協働

施策目標		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	目標値 R5	備考
1	運動やスポーツを習慣的にしている子どもの割合(小学5年生)	計画					〈参考値〉			増加傾向	
	実績	男子60.0% 女子37.0%	男子58.0% 女子39.0%	男子62.0% 女子43.0%	男子57.0% 女子40.0%	男子55.0% 女子39.0%	男子58.0% 女子42.0%	男子52.0% 女子41.0%			
2	朝食を必ず食べる子どもの割合(小学5年生)	計画					〈参考値〉			95%以上	R3 全国 男81.9% 女81.3%
	実績	男子87.0% 女子88.0%	男子86.0% 女子85.0%	男子85.0% 女子86.0%	男子84.0% 女子87.0%	男子84.0% 女子85.0%	男子87.0% 女子86.0%	男子82.0% 女子85.0%			
3	肥満傾向にある子どもの割合(小学5年生)	計画								全国平均以下	R3 全国 男6.6% 女3.8%
	実績	男子6.1% 女子3.1%	男子5.3% 女子4.3%	男子5.8% 女子4.6%	男子5.8% 女子4.6%	男子7.0% 女子4.8%	調査なし	男子7.2% 女子4.3%			

【課題】

- ・子どもの頃からの健康的な生活習慣を定着していくために、子どもを取り巻く家庭・学校・地域との協働による取組が必要。
- ・運動やスポーツを習慣的にしている子どもの割合が低い、家庭における運動時間が60分未満の子どもの割合が全国平均より高いなど、運動習慣が身につけていない児童生徒の割合が高い傾向にある。
- ・児童生徒の朝食摂取率が95%に満たない、肥満傾向が全国平均より高いなど、基本的な生活習慣が定着していない児童生徒の割合が高い傾向にある。

【今年度の取組目標】

- ＜保健政策課＞
 - ・副読本を活用した健康教育の公立小中学校の実施率:100%
 - ・自らや友人同士で生活習慣の課題に気付くことで、保健行動の実践を促すことを目的とした副読本を活用した中学校・高校での健康教育の充実
 - ・子どもの健康教育事業の実施:県内小・中5校
- ＜保健体育課＞
 - ・運動習慣定着プロジェクト
 - ・こうちの子ども健康・体力支援委員会
 - ・体育・健康教育担当指導主事の指導・助言
 - ・健康教育副読本を活用した学校における健康教育
 - ・健康教育の中核となる教員の研修
 - ・食事提供活動
 - ・スクールヘルスリーダーの派遣
 - ・学校保健委員会の設置の推進
- ＜幼保支援課＞
 - ・3歳児保護者に対して基本的な生活習慣の学習会等を実施した保育所・幼稚園等の割合:100%
- ＜生涯学習課＞
 - ・生活リズム名人認定率45%以上
 - ・小学校 160校以上
 - ・中学校 10校以上

直近の実績値(R3年度)

- ＜保健政策課＞
 - ・副読本を活用した健康教育の実施率 100%
- ＜保健体育課＞
 - ・朝食摂取率
 - 小5 男子82% 女子85%
 - 中2 男子78% 女子75%
 - 高2 男子75% 女子74%
 - ・運動やスポーツの頻度
 - 小5 男子52% 女子41%
 - 中2 男子78% 女子53%
 - 高2 男子61% 女子34%
- ＜幼保支援課＞
 - ・3歳児の保護者に対して基本的な生活習慣の学習会等を実施した保育所・幼稚園等の割合 100%(R4)
- ＜生涯学習課＞
 - ・生活リズムチェックカードを活用した生活習慣点検の取組
 - 保育所・幼稚園
 - 園所数 199園所(延べ209園所)
 - 取組人数 5,989人(延べ)
 - 認定者数 4,130人(延べ)
 - 認定率 69.0%
 - 小学校
 - 学校数 154校(延べ212校)
 - 取組人数 37,706人(延べ)
 - 認定者数 13,313人(延べ)
 - 認定率 35.3%
 - 中学校 2校(延べ3校)
 - 取組人数 42人
 - 認定者数 23人
 - 認定率 54.8%
 - 総取組園所校数
 - 355園所校(延べ425園所校)
 - 総取組人数 43,737人(延べ)
 - 総認定者数 17,466人(延べ)
 - 認定率 39.9%

令和4年度 第4期高知県健康増進計画 進捗状況

今年度の当初計画(P)	今年度の取組状況(D)	課題と今後の取組予定(C・A)
<p>健康教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ○健康教育の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校・中学校・高校における副読本を活用した健康教育の実施 ・学校関係者への健康教育推進についての周知 ・子どもの健康的な生活習慣支援講師派遣事業 ○子どもの健康教育事業 <ul style="list-style-type: none"> ・健康教育リーフレットを活用した健康教育の実施と実施校における事後フォロー 	<ul style="list-style-type: none"> ○健康教育の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・副読本の印刷・配布(5月に配布) ・健康教育推進研修会での制度案内(7/4) ・子どもの健康的な生活習慣支援講師派遣事業による講師派遣(2校 12月末時点) ○子どもの健康教育事業 <ul style="list-style-type: none"> ・実施校の選定(5市町5校) ・市町村教育委員会及び実施校へ実施依頼 ・健康教育の実施(5校)(6/5、9/22、10/25、11/11、1/23) 	<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の状況に応じて、副読本を活用した健康教育が実施されている。 ・課題校での健康教育実施により、職員や児童・生徒への朝食の重要性の理解が深まったが、朝食欠食率は依然として高い。 ・課題校での健康教育(1回)の実施と併せ、学校において、朝食摂取の必要性を繰り返し啓発できた。 <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校での継続した取組が必要。 ・地区組織と連携した連携した健康教育の普及。
<p>保健体育課</p> <ul style="list-style-type: none"> ○運動習慣定着プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ・かけっこ先生(外部講師)の派遣(小学校対象) ・運動遊び認定証の発行(チャレンジランキング) <ul style="list-style-type: none"> ①短なわ時間跳び ②長なわ8の字跳び ③20mダッシュ走 ④タイム走(持久走) …など走・跳・投の運動による9種目 ・体力向上に関する学校訪問 ○こうちの子ども健康・体力支援委員会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・委員11名程度 ・年間3回開催予定 ○体育・健康教育担当指導主事の指導・助言 <ul style="list-style-type: none"> ・学校現場での指導、助言(こうちの子ども体力・運動能力向上プログラムの活用) ・学校現場のニーズに応じた研修会講師の派遣 ○健康教育副読本を活用した学校における健康教育 <ul style="list-style-type: none"> ・各学校での取組 ・活用状況調査の実施 ○健康教育の中核となる教員の研修 <ul style="list-style-type: none"> ・食育・学校給食推進研修会(栄養教諭・学校栄養職員研修会) ・健康教育推進研修会(保健主事研修会) ・学校保健推進研修会(養護教諭研修会) ・がん教育推進研修会 ・小、中、高、特別支援学校初任者及び年次研修 ・独立行政法人教職員支援機構研修会への派遣(健康コース・食育コース) ○食事提供活動 <ul style="list-style-type: none"> ・2団体、3校で実施 ○スクールヘルスリーダーの派遣 <ul style="list-style-type: none"> ・14名 24校へ派遣(全271回の予定) ○学校保健委員会の設置の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・研修会等における設置についての指導 	<ul style="list-style-type: none"> ○運動習慣定着プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ・かけっこ先生(7校実施済) ・チャレンジランキング(実施中) ・学校訪問(17校実施中) ○こうちの子ども健康・体力支援委員会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・8/30、2月中旬(予定) ○体育・健康教育担当指導主事の指導・助言(14校(18回)予定) <ul style="list-style-type: none"> ・実施中 ○健康教育副読本を活用した学校における健康教育 <ul style="list-style-type: none"> ・実施中 ・活用状況調査の実施(集計中) ○教員の研修 <ul style="list-style-type: none"> ・食育・学校給食推進研修会(12/19) ・健康教育推進研修会(7/4) ・学校保健推進研修会(7/4) ・がん教育推進研修会(1/30予定) ・初任者及び年次研修:実施中 ・指導者養成研修(県外研修)健康コース2名、食育コース2名 ○食事提供活動 <ul style="list-style-type: none"> ・2団体、3校で実施中 ○スクールヘルスリーダーの派遣 <ul style="list-style-type: none"> ・24校に14名を派遣中 ・協議会の開催:4/21、12月(書面) ○学校保健委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・各市町村教育委員会に設置について依頼中 	<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校では、新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じつつ、様々な工夫を行いながら健康教育の推進に取り組んでいる。また、県教育委員会においても、研修や学校訪問等の取り組みを行うことにより、関係教員の資質向上を図るとともに、学校全体の健康教育に対する意識の向上に努めている。 ・朝食摂取率の向上や肥満傾向児の出現率の低下等、課題の改善のためには、継続的な取組が不可欠であるため、現在の取組を工夫・改善しながら、健康教育の更なる充実と望ましい生活習慣・運動習慣の定着を図っていく必要がある。 <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の取組を継続させるとともに、こうちの子ども健康・体力支援委員会で得た意見等を踏まえ、次年度の取り組みに進めるため、関係機関と連携し、外部講師を活用した効果的な指導の推進や、ICTを効果的に活用した指導の充実及び教職員の指導力向上等、取組の一層の充実を図る。
<p>幼保支援課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者を対象に基本的な生活習慣に関するパンフレットの配付や学習会等を実施 ・取組強調月間の実施(6月・11月) ・基本的な生活習慣に係る親育ち支援研修保護者講話の実施 ・取組強調月間の取組に関するアンケートの集計・事業効果の分析 	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳児保護者を対象に基本的な生活習慣に関するパンフレットを配付(5月) ・基本的な生活習慣に係る親育ち支援研修保護者講話の実施(5月～) ・取組強調月間実施(6月) ・取組強調月間の取組に関するアンケートの実施(7月)及び集計 ・事業効果の分析 	<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園行事等を活用した学習会について、昨年度より開催する園は増えており、学習会の必要性を感じていることが窺えた。(R2:45園、R3:59園、R4:97園) ・取組状況調査において、取組を進めるための園での工夫について、情報収集を行った。 ・調査の結果から、10時以降就寝の3歳児の割合が昨年度よりやや増加している。 <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園での取組の工夫等について、ホームページや研修会等で発信し、啓発を図っていく。
<p>生涯学習課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓発用キャラクターツールの貸し出し(通年) ・生活リズムチェックカードの配布 ・生活リズム認定証の送付(通年) ・「高知家の早寝早起き朝ごはんフォーラム2022」食育についての取組(12月11日、1月22日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内全小学生へ生活リズムチェックカードを配布(5月・12月) ・「高知家の早寝早起き朝ごはんフォーラム2022」を実施(12月11日)約2,500人参加 	<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「高知家の早寝早起き朝ごはんフォーラム」を開催して4年目であるが、今まで参加者数の伸び悩みがあったため、今年はイベント型に変更し、約2500人の参加があった。早寝早起き朝ごはんに関する広い周知は一定出来た。今後も周知については工夫が必要。 <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォーラム1月分の開催 ・生活リズムチェックカード取組についての各校調査

令和4年度 第4期高知県健康増進計画 進捗状況

		担当課	保健政策課								
1 子どもの頃からの健康的な生活習慣の定着		計画冊子	P18～P19								
(2)食育を通じた健康教育の強化と家庭への波及											
	施策目標	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	目標値 R5	備考
1	朝食を必ず食べる子どもの割合 (小学5年生)	計画					〈参考値〉			95%以上	R3 全国 男81.9% 女81.3%
		実績	男子87.0% 女子88.0%	男子86.0% 女子85.0%	男子85.0% 女子86.0%	男子84.0% 女子87.0%	男子84.0% 女子85.0%	男子87.0% 女子86.0%	男子82.0% 女子85.0%		
2	肥満傾向にある子どもの割合 (小学5年生)	計画								全国平均以下 男子5.3% 女子3.5%	R3 全国 男6.6% 女3.8%
		実績	男子6.1% 女子3.1%	男子5.3% 女子4.3%	男子5.8% 女子4.6%	男子5.8% 女子4.6%	男子7.0% 女子4.8%	調査なし	男子7.2% 女子4.3%		
【課題】 ・食育講座の実施方法や内容等について見直しが必要である。											
【今年度の取組目標】 ・食生活改善推進協議会による食育講座の実施回数:101回										直近の実績値(R3年度)	
										・食育講座実施回数 119回(83校 46.3%)	
今年度の当初計画(P)					今年度の取組状況(D)					課題と今後の取組予定(C・A)	
食育講座	・実施回数の決定(4月) ・食育講座教材の作成、印刷(5月) ・食育講座の開始(6月～) ・食育講座内容の充実のため研修会の実施(8月) ・理事会において進捗状況の確認と次年度事業について協議(11月) ・結果分析 ・事業報告書の集計と事業効果の分析(2月)				・教材の見直し 家庭で子どもが自ら作ることのできるレシピの掲載 ・実施回数の決定(102校) ・食育講座の開始(6月～) 26市町村75回実施済 ・食育講座内容の充実のための研修会実施(8/4、69人参加)					【成果と課題】 ・26市町村75回実施済。実践に繋げていけるよう講座内容の充実していくことが必要。 【今後の取組】 ・効果的な健康教育の方法について研修会を開催する。	

令和4年度 第4期高知県健康増進計画 進捗状況

			担当課		保健政策課							
2 働きざかりの健康づくりの推進			計画冊子		P20~P21							
(1)健康づくりの県民運動												
施策目標			H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	目標値 R5	備考
1	健康づくりに一歩踏み出した方の人数(高知家健康パスポートI取得者数)	計画	-				40,000人		50,000人	-	-	利用者5万人達成(R3年度)
		実績	-	10,732人	24,935人	36,030人	44,911人	47,729人	50,688人	-	-	
M1	健康パスポートアプリダウンロード件数	計画	-	-	-	-	-	-	-	35,000件	50,000件	R4年4月からアプリのみで運用
		実績	-	-	-	-	13,186件	18,525件	28,699件	40,795件(1月末実績)		
<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 県民の健康意識のさらなる醸成と行動の定着化を目指し、健康パスポートアプリの魅力を向上することで、メインターゲットである働きざかり世代を中心に健康パスポート利用者の増加を図ることが必要 健康づくり無関心層や健康づくりに関心はあるが一歩を踏み出せていない方に対し、ウォーキングイベント等気軽に楽しめる催しを実施することで、健康づくりの県民運動をさらに盛り上げることが必要(H28時点の平均歩数は高知県が全国最下位) 												
<p>【今年度の取組目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> アプリに紹介機能を追加しキャンペーンを実施することで口コミによる健康パスポート利用者を増やす パスポート提示による特典を増やすことに加え、新たに個人に発信される「お得」に係るインセンティブを強化する ウォーキングイベント等、個人が「達成感」を得られるイベントを定期的に開催する 健康診断受診勧奨メッセージ等、個別性を重視した情報取得機会の増大する 双方向通信によるニーズ把握や健康意識等の調査を実施する 健康づくり総合啓発の実施 										<p>直近の実績値(R4年度)</p> <p>○健康パスポートアプリ取得者数 40,795件(令和5年1月末)</p>		
今年度の当初計画(P)			今年度の取組状況(D)				課題と今後の取組予定(C・A)					
健康づくりへ盛り上げる	アプリの魅力向上	<ul style="list-style-type: none"> ○アプリに紹介機能を追加し、友達紹介キャンペーンを実施することで、健康パスポート利用者を増やす ○インセンティブの強化 ・マイスター限定プレゼントキャンペーンの実施 ・イベントへの企業協賛を増やし、賞品の充実を図る ・アプリ機能を活かし、デジタルギフトやクーポン等を個人に対して配信する 	<ul style="list-style-type: none"> ○友達紹介キャンペーン実施(8月開始) ・11月末時点実績:友達紹介により418人新規取得 ○インセンティブの強化 ・イベントへの企業協賛の増加及び賞品のデジタル化によりインセンティブが充実した。 				<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダウンロード件数は順調に増加し、健康づくりに取り組み始めた県民は増加。さらに推進することが必要。 <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村や事業所でもアプリを運用できる仕組みを構築し、主体的に健康づくりに取り組めるようにする。 					
	アプリを活用した健康づくり盛り上げ	<ul style="list-style-type: none"> ○ウォーキングイベントの定期的な開催 ・職場や町内会など任意のグループ同士による歩数競争イベントや、個人が「達成感」を得られるイベントを実施する ○アプリを活用した健康づくり情報の発信 ・健診受診勧奨メッセージを定期的に発信する ・市町村等から健康づくり関連情報を発信する ○双方向通信によるニーズ把握や健康意識等の調査の実施 ・アプリに関するアンケートを実施し、事業運営に反映させる ・健康意識等の調査を実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ○アプリイベントの定期的な開催 6月、8月、10月、11月、12月、1月及び2月 ○アプリを活用した健康づくり情報の発信 ・健診受診勧奨メッセージ発信(9月発信) ・市町村等から健康づくり関連情報の発信(12月末時点:26回発信) ○双方向通信によるニーズ把握や健康意識等の調査の実施 ・アプリに関するアンケートの実施と事業運営への反映(12月末時点:2回実施し、事業運営に反映) ・健康意識調査の実施(10月及び1月実施) 				<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健行動が定着しつつあるアプリ利用者は増加(昨年同月比230%)している。 ・市町村においてデジタル化を活かした健康づくりの取り組みが進んでいない。 <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村や事業所でもアプリを運用できる仕組みを構築し、県民の健康づくりへの意識の醸成を図る。 					
	健康づくりへ総合啓発	<ul style="list-style-type: none"> ○健康づくりひとくちメモによる「よさこい健康プラン21の」総合的な啓発(通年) ○テレビCMIによる高血圧及び高血糖対策・特定健診受診勧奨啓発(10月) 	<ul style="list-style-type: none"> ○健康づくりひとくちメモ放送 87回(1月末時点) ○テレビCMIによる高血圧及び高血糖対策・特定健診受診勧奨啓発(10月) 150回 				<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの県民の視聴が得られる情報番組やCMでの啓発により健康づくりへの関心を広めることにつながった。 <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓発を継続し、健康づくりへの関心を広める。 					

令和4年度 第4期高知県健康増進計画 進捗状況

											担当課	保健政策課
2 働きざかりの健康づくりの推進											計画冊子	P22
(2) 職域と連携した健康づくり												
施策目標		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	目標値 R5	備考	
高知県ワークライフバランス推進企業認証制度の「健康経営」認証事業者数	計画	-	-	-					350 事業所	500 事業所		
	実績	-	-	-	18 事業所	84 事業所	149 事業所	222 事業所	262 事業所 (2月1日)			
【課題】 ・県内で15名以上従業員がいる約1,400事業所を対象に実施した調査(平成26年)では、約4割の事業所が職場の健康づくりに取り組むことができておらず、その主な理由としては「時間がとれない」、「従業員を集めることが難しい」ということが挙げられた ・高知県ワークライフバランス推進企業「健康経営部門」の認証企業は令和3年度末で222事業所であり、健康経営に取り組む事業所の拡大が必要												
【今年度の取組目標】 ・全国健康保険協会(協会けんぽ)など関係機関と連携し、職場の健康づくりを推進 ・健康経営として、企業での健康パスポートの活用を働きかけ、壮年期男性の健康パスポート取得率向上を図るとともに、高知県ワークライフバランス推進企業認証取得を促進 ・健康経営取組支援実施業務を実施し、職場の健康づくりに課題を抱えている県内事業所と個別面談し、健康経営の啓発を実施するとともに、取組支援を行う										直近の実績値(R4年度) 高知県ワークライフバランス推進企業認証制度の「健康経営」認証事業者数:262事業所(R5年2月1日時点)		
今年度の当初計画(P)				今年度の取組状況(D)				課題と今後の取組予定(C・A)				
関係機関と連携した啓発	○協会けんぽ高知支部と連携した職場の健康づくり応援研修会を圏域ごとに開催(10月～11月実施予定) ○地元新聞社や各支援機関と連携した「こうち健康企業プロジェクト」の実施 ・健康経営推進意見交換会の開催 ・高知家健康経営アワードの開催			○職場の健康づくり応援研修会 ・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため実施時期を2月に変更し、オンライン配信にて実施予定 ○地元新聞社や各支援機関と連携した「こうち健康企業プロジェクト」の実施 ・健康経営推進意見交換会の開催(9月20日及び1月20日実施) ・高知家健康経営アワードの開催(募集期間:11月18日～12月20日 応募企業数:20事業所)				【成果と課題】 ・「健康経営」の理解が進み、高知県ワークライフバランス推進企業認証制度の「健康経営」認証事業者数は増えてはいるが、引き続き、事業所における「健康経営」に対する課題意識の醸成が重要。 【今後の取組】 ・引き続き、関係機関と連携しながら、健康経営の啓発を行っていく。				
健康経営の取組みの推進	○健康パスポートアプリを活用した企業対抗のウォーキングイベントの開催(年複数回実施予定) ○健康経営優良事例のライブラリー化 ※県ホームページで公開 ○高知家健康チャレンジを活用した健康経営の取組支援 ○県内事業所の健康経営に係る取組を支援			○健康パスポートアプリを活用した企業対抗のウォーキングイベントの開催(12月末時点:2回実施) ○健康経営優良事例のライブラリー化 県ホームページで公開 ○県内事業所の健康経営に係る取組を支援(年度内に100事業所との個別面談実施予定)				【成果と課題】 ・高知県ワークライフバランス推進企業認証制度の「健康経営」認証事業者数は増えてはいる。 ・具体的な健康経営の進め方が分からない事業所も多く、取組に向けた支援が必要。 【今後の取組】 ・健康経営のツールとして健康パスポートアプリの活用を促進するため事業所でもアプリを運用できる仕組みを構築する。				

令和4年度 第4期高知県健康増進計画 進捗状況

											担当課	健康対策課
3 生活習慣病の発症予防と重症化予防対策											計画冊子	P23~P25
(1)がん												
施策目標				H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	目標値 R4	備考
1	がん検診の受診率 *40~69歳対象。子宮頸がんは20~69歳対象 (市町村検診+職域検診)	計画	肺 胃 大腸 子宮頸 乳								50.0% 50.0% 50.0% 50.0% 50.0%	
		実績	肺 胃 大腸 子宮頸 乳	48.5% 33.7% 37.7% 36.2% 41.2%	48.6% 33.5% 37.4% 35.5% 42.2%	50.5% 34.0% 38.4% 36.1% 43.3%	51.6% 34.7% 39.8% 36.0% 43.5%	52.3% 34.5% 41.0% 36.0% 43.8%	51.3% 33.8% 39.9% 35.9% 43.2%	54.0% 35.6% 42.3% 36.4% 43.8%		
2	がん検診の受診率 (40~50歳代) (市町村検診+職域検診)	計画	肺 胃 大腸 子宮頸 乳								維持・上昇 50.0% 50.0% 50.0% 維持・上昇	
		実績	肺 胃 大腸 子宮頸 乳	54.8% 40.3% 42.5% 44.9% 48.8%	55.3% 40.5% 42.8% 46.7% 50.4%	57.4% 40.7% 43.5% 47.9% 51.4%	58.1% 41.1% 44.8% 45.8% 51.1%	58.3% 40.4% 45.6% 46.0% 51.2%	57.5% 39.4% 44.6% 47.1% 50.3%	59.4% 40.6% 46.5% 47.3% 50.5%		
3	市町村がん検診の 精密検査受診率	計画	肺 胃 大腸 子宮頸 乳								維持・上昇 維持・上昇 90.0% 90.0% 維持・上昇	
		実績	肺 胃 大腸 子宮頸 乳	91.4% 92.7% 86.5% 69.9% 95.1%	91.4% 92.4% 83.9% 62.6% 96.1%	90.4% 91.6% 82.4% 77.3% 96.5%	89.4% 91.9% 81.9% 77.4% 96.5%	90.5% 92.1% 84.6% 67.8% 91.7%	89.8% 90.9% 84.8% 63.9% 93.8%	87.1% 89.2% 83.0% 70.5% 96.2%		
今年度の当初計画(P)				今年度の取組状況(D)					課題と今後の取組予定 (G・A)			
<ul style="list-style-type: none"> 市町村から検診対象者への受診勧奨 マスメディア等を活用した受診勧奨と情報提供 市町村における5つのがん検診のセット化の促進 ※がん対策推進協議会で進捗管理(健康対策課)				<ul style="list-style-type: none"> 市町村へ検診対象者への個別の受診勧奨・再勧奨(コール・リコール)に係る経費を補助し、実施を働きかけ 国保層をターゲットとした複合的アプローチの実施(特定健診・がん検診セットでの個別勧奨、JAや商工会等団体ホームページや会報紙へのがん検診啓発記事の掲載等) テレビCM、ラジオCM、新聞広告、SNS(Facebook、Instagram、Yahoo、Google)によるターゲットに適した啓発の展開 がん検診のセット化に伴う検診運営補助員の配置に要する経費を補助 広域がん検診(県内3地域で延べ5日間)を実施予定 若年層の受診率が低い子宮頸がん検診について、受診のきっかけづくりとして無料検診イベントを開催(11/5) 					【成果と課題】 <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度の受診率は、令和2年度よりも大幅に改善。一部がん種を除いては、コロナ前の令和元年度より上昇している。しかし、内訳としては職域での上昇が大きく、市町村検診ではコロナ前の水準まで戻っていないことから、市町村検診対象者への一層の啓発や受診環境の整備が必要。 職域については、精検受診率が市町村検診と比較して低いことが課題。 【今後の取組】 <ul style="list-style-type: none"> 市町村検診のデジタル化の推進 事業所における精密検査受診の促進 官民協働の受診促進キャンペーンの実施 			

令和4年度 第4期高知県健康増進計画 進捗状況

		担当課	保健政策課 国民健康保険課								
3 生活習慣病の発症予防と重症化予防対策		計画冊子	P26～P28								
(2) 血管病 ① 特定健診・特定保健指導											
施策目標 (モニタリング指標含む)		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	目標値 R5	備考
1	特定健診実施率 (全体)	計画									
		実績	46.6%	48.2%	49.2%	50.7%	52.5%	51.5%			R2 全国 53.1%
2	特定保健指導 実施率 (全体)	計画									
		実績	14.6%	18.0%	17.9%	23.7%	23.7%	24.0%			R2 全国 23.0%
3	メタボリックシンドローム の該当者及び予備群の 減少率	計画									
		実績	13.39%	10.60%	10.63%	9.66%	9.23%	8.58%		H20と比べて 25%以上減少	R2 全国 10.8%
M1	特定健診実施率 (市町村国保)	計画									
		実績	34.4%	35.9%	36.5%	38.3%	37.7%	35.2%	35.6%		R2 全国 33.7%
M2	特定保健指導 実施率 (市町村国保)	計画									
		実績	16.7%	19.3%	23.9%	24.4%	28.4%	30.1%	33.0%		R2 全国 26.9%
【課題】 ・特定健診受診率は上昇傾向にあり、全国との差は縮小はしているものの、全国平均には到達していない ・特定保健指導実施率は上昇傾向にあり、H30、R1と全国平均を上回っているものの目標値には到達していない。 ・新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しつつ、特定健診受診率及び特定保健指導の実施率の向上に取り組む必要がある。											
【今年度の取組目標】 ・受診率の低い層である40歳代前半、節目の歳となる50歳、60歳への受診勧奨及び特定健診受診対象前世代(39歳)への意識啓発を行い、受診率を上げる。(市町村国保) ・未受診者対策として、医療機関に通院中の者に対して、保険者が診療データの提供を受け、保健指導や重症化予防対策に結びつける。(市町村国保) ・民間の委託機関の活用について助言等を行い、特定保健指導実施件数を増やす。										直近の実績値(R4年度) R4.6月調査分月例報告(市町村国保) 40～44歳受診率20.81%(前年度比0.96ポイント減)	
今年度の当初計画(P)				今年度の取組状況(D)				課題と今後の取組予定(C・A)			
特定健診	・市町村国保の40歳代前半・50歳・60歳への特定健診受診勧奨物の送付及び特定健診受診対象前世代への受診意識啓発物の送付と並行して新聞広告、テレビ・ラジオCM等メディアによる受診勧奨・意識啓発を実施 ・特定健診実施医療機関に対し、かかりつけ医からの受診勧奨を依頼 ・特定健診情報提供事業の実施 ・福祉保健所における管内重点支援市町村の取り組みへの働きかけ ・(再掲)健康増進月間に集中したテレビCMによる高血圧対策・特定健診受診勧奨啓発(10月)			・市町村国保40歳代前半・50歳・60歳への特定健診受診勧奨物の送付(7月・10月)受診勧奨物送付時期に合わせてWEB広告やSNS広告・TVラジオCMを放送(8月・10月)。 ・新聞広告掲載を実施(8月13日)。またTV・ラジオのインフォメーションにて受診勧奨の呼びかけを実施(8月～11月)。 ・特定健診の対象前世代(39歳)に意識啓発を促すリーフレット送付(2月予定)。リーフレット送付に合わせて新聞広告の掲載、WEB広告やSNS広告・TVラジオCMを放送(2月予定)。 ・健診会場での感染防止対策(市町村) ・特定健診実施医療機関に対し、かかりつけ医からの受診勧奨を依頼(R5.3月予定) ・特定健診情報提供事業の実施(R4.10.1時点契約医療機関:266機関) ・福祉保健所ごとに管内重点支援市町村に対し受診率向上対策に向けた支援を実施 ・(再掲)テレビCMによる高血圧及び高血糖対策・特定健診受診勧奨啓発(10月)150回				【成果と課題】 ・国保被保険者に特定健診受診の必要性を周知すること等で新型コロナウイルス感染症による受診控え等の影響により低下した受診率は上がりつつあるが、平成30年度並みに戻すために健診の必要性の周知を継続する必要がある。 ・受診率の向上のためには、集団健診の受診率を維持させつつ、個別健診の受診率を伸ばしていく必要がある。 【今後の取組】 ・現在の取組を継続するとともに、医療機関への協力依頼や対象者への啓発等を強化する。			
	特定保健指導	○特定保健指導の強化 ・特定保健指導従事者育成研修会の開催(初任者編、経験者編)			・特定保健指導従事者育成研修会の開催 初任者編:6/24(95名) 経験者編Ⅰ:10/18(110名)				【成果と課題】 ・引き続き、利用勧奨の徹底と従事者の質の向上を図る。 【今後の取組】 ・特定保健指導の資質向上研修会の実施。		

令和4年度 第4期高知県健康増進計画 進捗状況

		担当課	保健政策課
3 生活習慣病の発症予防と重症化予防対策		計画冊子	P29～P31

(2) 血管病 ② 高血圧

施策目標 (モニタリング指標含む)		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	目標値 R5	備考	
1	降圧剤服用者での収縮期血圧140mmHg以上の人の割合 (市町村国保・協会けんぽ 特定健診結果)	計画								30%未満		
		実績	男34% 女31%	男33% 女30%	男33% 女31%	男33% 女31%	男35% 女31%	男36% 女34%				
2	収縮期血圧の平均値 (40歳以上)	計画	男女		(140) (133)	(138) (133)	(136) (132)	(134) (132)	132 131	(131) (131)	130mmHg 以下	次回県民健康栄養調査 R4予定 H28全国男134女127
		実績	男女	141mmHg 134mmHg	-	-	-	-	-	-		
3	収縮期血圧130mmHg以上の人の割合 (40歳以上)	計画	男女		(71) (56)	(66) (54)	(62) (52)	(57) (50)	53 48	(49) (46)	45%以下	次回県民健康栄養調査 R4予定
		実績	男女	75% 58.1%	-	-	-	-	-	-		
M1	収縮期血圧の平均値(40歳以上) (市町村国保特定健診結果)	計画	男女									
		実績	男女	130.9 127.4	131.0 127.7	131.2 127.7	131.2 127.8	132.3 129.4	132.7 129.8			
M2	収縮期血圧130mmHg以上の人の割合(40歳以上) (市町村国保特定健診結果)	計画	男女									
		実績	男女	75.0% 58.1%	57.9% 55.6%	57.6% 55.9%	57.5% 54.4%	59.6% 59.2%	60.2% 59.8%			

- 【課題】**
- ・降圧剤服用者での収縮期血圧130mmHg以上の人の割合は減少傾向にあるが、5割以上が血圧130mmHg以上の状況であるため、家庭血圧を指標とした治療や服薬指導、保健指導等の一貫した指導体制が必要
 - ・未治療ハイリスク者への対策が必要
 - ・塩分の取り過ぎは血圧を上げる要因の一つであるため、さらなる減塩の推進が必要

【今年度の取組目標】 ・収縮期血圧130mmHg以上の人の割合をさらに減少させるため、血圧自己測定や減塩の普及啓発を行う。 ・未治療ハイリスク者を治療につなげるため、特定健診結果等から未治療者・治療中断者を抽出し、受診勧奨を行う。 ・さらなる減塩の推進のため、市町村国保集団健診の場で推定塩分摂取量測定事業を実施し、市町村による健康教育につなげる。	直近の実績値(R3年度)
	推定塩分摂取量測定事業結果 (平均塩分摂取量) ・男性9.43g、女性9.17g 降圧剤服用者の収縮期130mmHg以上の人の割合 (市町村国保) ・男性60.2%、女性59.8%(R3)

今年度の当初計画(P)	今年度の取組状況(D)	課題と今後の取組予定(C・A)
家庭血圧の普及 ・医療機関、薬局、健診機関による高血圧指導教材を活用した指導への協力依頼、教材の配布	・教材の配布(566施設 19,690部)	【成果と課題】 ・健診受診時や医療機関受診時に教材を活用した指導ができた ・テレビCMや健康パスポート事業を活用し広く普及啓発ができた。 ・降圧剤服用者での収縮期血圧130mmHg以上の割合は減少していない。 ・降圧剤服用者での収縮期血圧140mmHg以上の割合は増加傾向にあり、継続した普及啓発が必要 【今後の取組】 ・治療、服薬の一貫した指導の継続 ・高血圧等の未治療者・治療中断者への受診勧奨の実施 ・減塩の普及啓発
治療に繋ぐ ・健診機関から指導教材を活用した直接指導の継続 ・高血圧等の未治療者・治療中断者への受診勧奨の実施	・特定健診実施機関に対し、指導教材を配布予定(12,140部) ・モデル市町村(高知市)の高血圧等の未治療者・治療中断者に対し受診勧奨通知を発送(11/4、739通)	
高血圧予防の普及啓発 ・高血圧対策サポーター企業認定事業 ・ポピュレーションアプローチ 減塩に関する啓発活動の実施 ・血管病対策研修会の開催 ・(再掲)高知家健康パスポート事業での啓発 ・推定塩分摂取量測定事業による健康教育 国保特定健診(集団)会場で実施、結果票に減塩チラシを添付して啓発(31市町村実施予定)	・サポーター企業529社(R4.12末現在) ・ポピュレーションアプローチ 減塩に関する啓発活動の実施 キヤッチコピーによる県内一斉啓発(テレビCM、チラシ配布等) ・テレビ番組による減塩の啓発及び企業と連携したレシピによる啓発(減塩プロジェクト) ・(再掲)高知家健康パスポート事業での啓発 ・テレビCM等による啓発 ・事業実施案内チラシを特定健診実施通知等とあわせて配布するよう市町村へ依頼 ・推定塩分摂取量測定実施(31市町村)	

令和4年度 第4期高知県健康増進計画 進捗状況

						担当課	保健政策課
3 生活習慣病の発症予防と重症化予防対策						計画冊子	P32～P35

(3)糖尿病性腎症重症化予防

施策目標		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	目標値 R5	備考
1	糖尿病性腎症による新規透析患者数	計画								増加させない	
		実績	108人 (H25～H27の平均値)	110人 (H26～H28の平均値)	118人 (H27～H29の平均値)	122人 (H28～H30の平均値)	124人 (H29～R1の平均値)	118人 (H30～R2の平均値)	117人 (R1～R3の平均値)		
2	糖尿病治療中の者のうち、HbA1c7.0以上の人の割合 (市町村国保・協会けんぽ特定健診結果)	計画								25%以下	
		実績	男30% 女31%	男34% 女32%	男38% 女33%	男38% 女35%	男39% 女35%	男39% 女38%			
3	未治療ハイリスク者・治療中断者に対する指導の成功率	計画								50%以上	H30年度より、実績集計方法の変更あり。
		実績	未治療 治療中断	26.6% 40.0%	23.9% 46.8%	40.2% 48.2%	40.1% 40%	43.8% 48.9%	33.6% 64.0%		

【課題】

- ・糖尿病性腎症による新規透析導入患者は、全新規透析導入患者の約4割を占めている。
- ・糖尿病性腎症による新規透析導入患者は増加傾向にあり、人口10万人対の数も全国と比較して高い状況にある(全国:12.7、高知県:17.9)。
- ・特定健診の結果から、血糖・HbA1c有所見者割合が増加している。
- ・未治療ハイリスク者及び治療中断者への指導の成功率は上昇しているが、対象者への介入率が100%に至っていない市町村もある。
- ・治療中ハイリスク者への介入について、市町村によっては、マンパワー不足や医療機関と連携した保健指導に戸惑いを感じており、介入率向上への支援が必要である。
- ・糖尿病性腎症重症化予防プログラムについて、医療機関への周知や協力体制の構築が不十分であるとの声が市町村から聞かれる。
- ・糖尿病の専門的医療機関以外の病院、診療所の多くでは、外来看護師は患者への生活指導に十分な対応ができづらい。
- ・数年後に透析導入が想定される者を対象とした糖尿病性腎症透析予防強化プログラムの介入者数を増やす必要がある。
- ・医療機関における管理栄養士の雇用、栄養食事指導が進展していない。(約95%の診療所で管理栄養士が不在。)

【今年度の取組目標】

- ・数年後に透析導入が予測される患者に対する透析予防強化プログラムの継続実施及び介入効果を定期的に評価し、新たな地域での介入も実施する
- ・糖尿病性腎症重症化予防プログラムの介入結果から事例集を作成し、未実施の保険者、医療機関へのプログラム普及啓発を行う
- ・糖尿病予備群及び糖尿病患者(腎症軽度)に対して、持続血糖モニタリングデータをもとにICTを活用した保健指導を実施
- ・糖尿病看護認定看護師等をアドバイザーとして市町村に派遣し、実情に合わせた助言を行うことで、糖尿病性腎症重症化予防プログラムの取組推進を図る
- ・血管病調整看護師の活動定着と地域連絡会及び公開講座を活用した役割の周知
- ・糖尿病患者に対して、自己チェック型の健康教育を兼ねた療養実態調査を実施
- ・外来栄養食事指導の提供体制の充実のため、管理栄養士の資質向上のための研修会を実施

直近の実績値(R3年度)

- ・アドバイザー派遣:15回
- ・血管病調整看護師育成:67人
- ・透析予防強化介入:74人
- ・重症化予防プログラム介入
(R3年度12月末時点)
未治療者:119人
治療中断者:100人
治療中ハイリスク者:565人
- ・協力医療機関数:93医療機関
- ・協力医療機関の外来栄養指導件数:13.8件/月・医療機関

今年度の当初計画(P)

今年度の取組状況(D)

課題と今後の取組予定(G-A)

重症化予防プログラム 糖尿病性腎症	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病アドバイザー派遣事業の実施(通年) ・診療報酬等データ分析システムによる、プログラム取組状況の調査・評価の実施。 ・血管病重症化予防対策研修会の開催(8月) ・ブロック毎の医療機関向け研修会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村の希望調査結果に基づき、糖尿病アドバイザーの市町村への派遣調整(R4.12月末派遣実績10回、活用10自治体) ・糖尿病アドバイザー ・ブロックごとの医療機関向け研修会の開催(安芸:2/2、中央東:3月予定、中央西:11/4、須崎:2～3月予定、幡多:1/23) ・糖尿病重症化予防プログラムⅡの介入結果から事例集作成、医療機関等への普及啓発(R5.3月配布予定) ・糖尿病予備群29人に、ICTを活用した保健指導を実施(うち、持続血糖測定15人) ・管理栄養士のスキルアップ研修会(7/30) ・圏域毎の事例検討会の実施(10/15,10/27,11/19,2/5(予定)) 	<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病アドバイザーについては、市町村の希望に応じた派遣を行うことができた。活用市町村からは有効との声がある一方で、R3年度のプログラムⅡの実施は28市町村にとどまっており、未実施市町村への支援方法の検討が必要である。 ・圏域毎の事例検討を行うことで、取組の共有やネットワークの形成につながった。 <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プログラム実施促進のため、事例集等を活用した周知と併せ、糖尿病アドバイザー派遣を継続する。 ・糖尿病予備群に対し、データをもとに、ICTを活用した保健指導を、より多くの市町村で実施できるよう支援する。 ・事例の共有による圏域毎のネットワークを強化していく。
	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病性腎症重症化予防プログラム事例集作成委託業務の実施(9月末完成) ・糖尿病予備群に対し、持続血糖モニタリングデータをもとにICTを活用した保健指導の実施 ・管理栄養士のスキルアップ研修会の開催(1回/年)と圏域ごとに事例検討会の実施(4回/年) 		

令和4年度 第4期高知県健康増進計画 進捗状況

今年度の当初計画(P)		今年度の取組状況(D)	課題と今後の取組予定(C・A)
透析予防強化事業 糖尿病性腎症	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病性腎症透析予防強化事業推進会議の開催(年2回) 介入対象者の評価(年2回) 新たな介入対象者の追加 モデル医療機関の追加 ・実務者検討会の開催(年2回) モデル地域を管轄する福祉保健所ごとに、地域での事業実施における進捗管理等を実施。 ・モデル地域での患者介入の実施 数年後に透析導入が予測される者を対象に、腎保護療法と生活指導(減塩の徹底、脱水予防)を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たなモデル医療機関へ協力依頼(4~6月) ・モデル医療機関へ介入対象者の追加確認(5月) ・新たに中央東地域、高知市地域、幡多地域の各1医療機関を追加(4地域10医療機関) ・糖尿病性腎症透析予防強化事業推進会議の開催(10/14、2月末予定) ・実務者検討会の開催(中央西8/10、2/20、幡多7/12、1/17) ・勉強会実施(中央西11/4、幡多1/23) ・R2年度からの対象者40人、R3年度からの対象者17人に継続介入中(経過観察含む)。 ・今年度から新たに27人(予定)に介入開始。 	<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介入強化群と標準治療群を比較すると、介入後はeGFRの低下が緩やかとなり、介入効果が示唆された。今後、対象者の介入後2年間の検査データにより効果検証を行う。 <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介入効果を糖尿病患者や医療機関に周知できるよう啓発資料を作成する。 ・県内全域の医療機関で実施できるよう体制整備を行う。
連携体制構築事業 糖尿病保健指導	<ul style="list-style-type: none"> ・血管病調整看護師の実践支援 血管病調整看護師のスキルアップ研修会の開催 コンサルテーションの実施 事例検討会の開催 ・血管病患者を支援する活動手順書の見直し ・公開講座の開催(医療機関・県民向け) ・事業報告会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・13か所のモデル医療機関の血管病調整看護師を対象とした合同事業説明会(6/16) ・委託事業の進捗管理 血管病調整看護師育成研修会の開催 院内事例検討会の開催 合同事例検討会の開催 地域連絡会の開催 公開講座の開催 事業報告会の開催(3月予定) 	<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・血管病調整看護師の活動の定着に向け、新型コロナウイルスの感染防止対策をとりながら、ICTを活用し、研修会や検討会を実施できている。 定着とかかりつけ医や県民への役割周知が必要である。 <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かかりつけ医や保険者等関係機関との看看連携を強化するため、血管病調整看護師の周知とあわせ、実際の患者支援により活動の定着を図る。
糖尿病患者実態調査	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関の協力を得て実態調査を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大のため医療機関の負担を勘案し、調査を中止。 	<p>【成果と課題】</p> <p>【今後の取組】</p>
外来栄養食事指導の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・管理栄養士スキルアップ研修会(7月) ・講義と事例検討会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・幡多圏域(8月) ・安芸圏域(9月) ・須崎圏域(10月ごろ) ・中央圏域(2月) ・外来栄養指導件数の集計・分析 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理栄養士スキルアップ研修会(7/30) 参加人数:72名 ・講義と事例検討会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・高幡圏域(10/15)参加人数8名 ・安芸圏域(10/27)参加人数9名 ・幡多圏域(11/19)参加人数9名 ・中央圏域(2月5日予定) ・外来栄養指導件数の集計・分析 四半期毎に提出 ・協力医療機関数:93機関 	<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例検討による取組の共有ができた。 <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例の共有による圏域毎のネットワークを充実していく。

令和4年度 第4期高知県健康増進計画 進捗状況

				担当課		保健政策課					
4 分野ごとの健康づくりの推進		計画冊子		P36~P45							
(1) 栄養・食生活											
施策目標 (モニタリング指標含む)			H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	目標値 R5	備考
1	適正体重を維持している人の割合 (肥満BMI25以上 やせBMI18.5未満の減少)	計画	40~60歳代男性の肥満者 40~60歳代女性の肥満者 20歳代女性のやせ							31%以下 19%以下 18%以下	次回県民健康栄養調査 R4予定
		実績	40~60歳代男性の肥満者 40~60歳代女性の肥満者 20歳代女性のやせ	34.2% 20.2% 20.0%	-	-	-	-	-	-	
2	食塩摂取量	計画								8g以下	次回県民健康栄養調査 R4予定
		実績		8.8g	-	-	-	-	-	-	H28全国 9.9g
3	野菜摂取量の平均 果物摂取量100g 未満の人の割合	計画	野菜 果物							350g以上 30%以下	次回県民健康栄養調査 R4予定
		実績	野菜 果物	295g 55.6%	-	-	-	-	-	-	H28全国 276.5g
4	65歳以上低栄養傾向 (BMI20以下)の割合	計画	男女							男16%以下 女20%以下	次回県民健康栄養調査 R4予定
		実績	男女	16.7% 21.2%	-	-	-	-	-	-	H28全国 男12.8% 女22.0%
M1	適正体重を維持している人の割合 (BMI18.5以上25未満)	計画	男女								
		実績	男女	63.8% 67.4%	63.4% 67.1%	62.3% 66.4%	62.0% 65.9%	61.2% 65.6%			
今年度の当初計画(P)				今年度の取組状況(D)				課題と今後の取組予定(C・A)			
<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり啓発事業による県民への普及啓発 高知家健康チャレンジによる普及啓発 減塩と野菜摂取 健康づくりひとくちメモによる啓発 ヘルスマイトによる食育イベント 若い世代に減塩と野菜摂取の啓発 推定塩分摂取量測定を用いた減塩の啓発 低栄養予防レシピの作成 ※高知県食育推進協議会で進捗管理 (第3期食育推進計画)				<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり啓発事業による県民への普及啓発:10月の1ヶ月間食生活改善に関する啓発CMを放送(高血糖予防・高血圧予防) 高知家健康チャレンジによる普及啓発 <ul style="list-style-type: none"> ①CM・チラシ・ポスター等の配布による周知啓発 ②ラジオによる広報、スポーツイベントでの周知啓発 ③量販店・コンビニの野菜関連商品に健康パスポートヘルシーポイントが取得できるシールを貼付、特設コーナー・POP等の設置、販促チラシへの掲載等 ④県と連動した取組として、広報による全戸配布など市町村から周知啓発を実施。 健康づくりひとくちメモによる減塩・野菜摂取の啓発:8回(12月末時点) ヘルスマイトによる食育イベントの実施:26市町村34回(12月1日時点) 推定塩分摂取量測定事業の実施(31市町村) 低栄養レシピ作成検討会の開催 <ul style="list-style-type: none"> 1回目:5/30 2回目:8/2 レシピ料理撮影(11/2) レシピの作成(R5.1月予定) 				【成果と課題】 <ul style="list-style-type: none"> 事業実施後の街頭アンケート実施の結果、生活習慣の改善を試みようと思った人は、キャンペーンを見ていない人よりも見た人の方が多く、一定の啓発効果を得られた。 官民協働により、生活習慣病予防の総合的な普及啓発を拡大し、さらなる行動変容につなげていく必要がある。 噛みごたえを意識した低栄養予防レシピを作成することができた。 【今後の取組】 <ul style="list-style-type: none"> 量販店や事業所等とのコラボ企画を拡大することで、日常のタッチポイントを増やしていくとともに、高知家健康パスポートアプリと連携した取組(楽しみながら生活習慣病の改善ができるイベントやキャンペーンの増加)により県民の健康づくりに関する意識の醸成につなげていく。 関係者や関係団体と連携し、低栄養予防レシピの普及啓発を図る。 			

令和4年度 第4期高知県健康増進計画 進捗状況

	担当課	保健政策課
4 分野ごとの健康づくりの推進	計画冊子	P46～P49

(2) 身体活動・運動

	施策目標 (モニタリング指標含む)		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	目標値	備考
										R5	
1	日常生活における歩数	計画	20～64歳 男女 65歳以上 男女							20～64歳 9,000歩 65歳以上 7,000歩 6,000歩	次回県民健康栄養調査 R4予定
		実績	20～64歳 男女 65歳以上 男女	20～64歳 6,387歩 65歳以上 6,277歩 4,572歩 4,459歩	—	—	—	—	—	—	H28全国 20～64歳 男7,769歩 女6,770歩 65歳以上 男5,744歩 女4,856歩
2	運動習慣者の割合	計画	20～64歳 男女 65歳以上 男女							20～64歳 36%以上 33%以上 65歳以上 58%以上 48%以上	次回県民健康栄養調査 R4予定
		実績	20～64歳 男女 65歳以上 男女	20～64歳 20.4% 65歳以上 19.0% 50.0% 38.2%	—	—	—	—	—	—	H28全国 20歳以上 男35.1% 女27.4%
M1	身体活動を1日1時間以上実施 (市町村国保 特定健診結果)	計画									
		実績	男女	56.3% 56.5%	56.8% 57.7%	56.3% 57.4%	55.7% 56.6%				

【課題】

- ・日常生活における歩数が平成23年と比較して減少しており、また、平成28年国民健康・栄養調査では全国最下位であり、歩数の増加に向けた対策が必要
- ・高齢者のフレイル対策として、運動器の機能向上に向けた筋力アップの働きかけが必要

【今年度の取組目標】

- ・身体活動・運動の大切さについて、広く啓発を行う

直近の実績値(R4年度)

- ・健康づくりひとくちメモによる運動の啓発 8回(1月末時点)
- ・特定保健指導従事者育成研修会の開催
初任者編:6/24(95名)
経験者編 I :10/18(110名)

今年度の当初計画(P)

今年度の取組状況(D)

課題と今後の取組予定(C・A)

身体活動・運動

- ・出前講座等による運動の啓発
- ・健康づくりひとくちメモによる啓発
- ・健康づくり啓発事業による県民への普及啓発
- (再掲)
- ・高知家健康パスポート事業での啓発
- ・特定保健指導従事者育成研修会による指導技術の資質向上
- ・高知家健康チャレンジによる普及啓発運動に関する普及啓発

- ・健康づくりひとくちメモによる運動の啓発 8回(1月末時点)
- ・健康づくり啓発事業における県民への普及啓発
10月の1ヶ月間、生活習慣改善(運動)の啓発CMを放送(再掲)
- ・高知家健康パスポート事業での啓発
6月、8月、10月、11月、12月、1月及び2月にアプリを活用したイベントを実施
- ・特定保健指導従事者育成研修会の開催
初任者編:6/24(95名)
経験者編 I :10/18(110名)
- ・高知家健康チャレンジによる普及啓発運動に関する普及啓発を実施

【成果と課題】

- ・健康パスポートアプリによる平均歩数(令和元年～4年の4カ年)は増加傾向にある。引き続き、運動機会を増やしていくような周知啓発が必要である。

【今後の取組】

- ・高知家健康パスポート事業と高知家健康チャレンジとの連携した取組の実施など、楽しみながら生活習慣病の改善ができるイベントやキャンペーンを増やすことで県民の健康意識を醸成し、行動変容につなげていく。

令和4年度 第4期高知県健康増進計画 進捗状況

		担当課	保健政策課								
4 分野ごとの健康づくりの推進		計画冊子	P50～P57								
(3) 休養・こころの健康 (4) 飲酒											
年度施策目標 (モニタリング指標含む)			H28	H29	H30	R1	R2	R3	目標値 R4	目標値 R5	備考
1	睡眠による休養を十分とれていない人の割合	計画								12%以下	次回県民健康栄養調査 R4予定
		実績		18.6%	—	—	—	—	—		
2	自殺者(人口10万人あたり)	計画							14.6		R1全国 15.7
		実績		18.4	15.4	17.9	17.3				
3	生活習慣病のリスクを高める量の飲酒している人の割合	計画	男女							15%以下 7%以下	次回県民健康栄養調査 R4予定
		実績	男女	16.4% 9.3%	—	—	—	—	—		
M1	毎日3合以上の飲酒量の人の割合 (市町村国保 特定健診結果)	計画	男女								
		実績	男女	11.4% 0.9%	11.0% 1.0%	10.7% 0.9%	11.1% 1.2%				
【課題】 (休養・こころの健康) ・睡眠による休養を十分とれていない人の割合は、平成23年に比べて悪化しており、平成28年は男性は40歳代、女性は50歳代が最も高いことから、職場と連携した取組が必要。 (飲酒) ・生活習慣病のリスクを高める量の飲酒をしている者の割合は男女とも全国より高い。また平成26年度の特定健康診査データより、毎日飲酒すると答えた人は全国と比較して男女とも全ての年代で高く、飲酒する日に1日当たり日本酒3合以上を飲酒する人も、男女とも全ての年代で全国平均よりもかなり高いことから、各年代への適正飲酒に向けたさらなる啓発が必要。											
【今年度の取組目標】 ・休養やこころの健康に関する正しい知識の普及啓発を行う。 ・適正飲酒やアルコール健康障害及び関連問題等について正しい知識の普及を図る。									直近の実績値(R4年度) ・健康づくりひとくちメモによる啓発 8回(休養 4回 飲酒 4回) 特定保健指導従事者育成研修会の開催 初任者編: 6/24(95名) 経験者編 I: 10/18(110名)		
今年度の当初計画(P)		今年度の取組状況(D)				課題と今後の取組予定(C・A)					
休養・こころの健康	・出前講座等による啓発 ・健康づくりひとくちメモによる啓発 ※第2期高知県自殺対策行動計画に基づき進捗管理(障害保健支援課)	・健康づくりひとくちメモによる休養の啓発 4回(1月末時点) ・特定保健指導従事者育成研修会の開催 初任者編: 6/24(95名) 経験者編 I: 10/18(110名) (再掲)				【成果と課題】 ・多くの県民の視聴が得られる情報番組や出前講座等の実施により健康づくりへの関心を広めることにつながった。 【今後の取組】 ・啓発を継続し、健康づくりへの関心を広める。					
	・出前講座等による啓発 ・健康づくりひとくちメモによる啓発 ・健康づくり啓発事業による県民への普及啓発(再掲) ・特定保健指導従事者育成研修会による指導技術の資質向上 ※高知県アルコール健康障害対策推進計画に基づき進捗管理(障害保健支援課) ・高知家健康チャレンジによる普及啓発 飲酒に関する普及啓発	・健康づくりひとくちメモによる飲酒の啓発 4回(1月末時点) ・特定保健指導従事者育成研修会の開催 初任者編: 6/24(95名) 経験者編 I: 10/18(110名) (再掲) ・高知家健康チャレンジによる普及啓発 飲酒に関する普及啓発を実施				【成果と課題】 ・毎日3合以上飲酒している人の割合は減少傾向にある。(GIFKENデータ)。 【今後の取組】 ・啓発を継続していく。					

令和4年度 第4期高知県健康増進計画 進捗状況

		担当課		保健政策課							
4 分野ごとの健康づくりの推進		計画冊子		P58～P62							
(5)喫煙											
施策目標 (モニタリング指標含む)			H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	目標値 R5	備考
1	成人の喫煙率	計画	男女							20%以下 5%以下	次回県民健康栄養調査 R4予定
		実績	男女	28.6% 7.4%	—	—	—	—	—		H28全国 男30.2% 女8.2%
2	受動喫煙(家庭・職場・飲食店)の機会を有する人の割合	計画	家庭 職場 飲食店							3%以下 10%以下 14%以下	次回県民健康栄養調査 R4予定
		実績	家庭 職場 飲食店	8.5% 28.9% 38.5%	—	—	—	—	—		家庭7.7% 職場30.9% 飲食店42.2%
M1	成人の喫煙率 (市町村国保・特定健診結果)	計画	男女								
		実績	男女	23.4% 5.2%	23.2% 5.4%	22.8% 5.5%	22.8% 5.5%				
M2	市町村本庁舎の建物内禁煙の割合	計画				100%					
		実績		73.5% (25市町村)	79.4% (27市町村)	—	100%	—	—		R1.7.1改正健康増進法一部施行
M3	小・中学校の敷地内禁煙の割合	計画	小学校 中学校				100%				
		実績	小学校 中学校	60.3% 46.2%	64.9% 54.8%	—	94.1% 93.3%	94.6% 94.2%	98.9% 95.0%		同上
【課題】 ・受動喫煙防止対策強化を目的とした健康増進法が改正 ・喫煙をやめたい人がやめられるように、禁煙治療につなぐ仕組みが必要。また、効果的な禁煙指導が行われるよう指導者のスキルアップが必要											
【今年度の取組目標】 ・改正健康増進法の全面施行に伴う各事業者等へ受動喫煙防止対策の徹底 ・禁煙支援に携わる支援者のスキルアップ研修を実施										直近の実績値(R3年度) ・禁煙支援・治療のための指導者養成事業 修了者47名 終了率40.5%	
今年度の当初計画(P)				今年度の取組状況(D)				課題と今後の取組予定(G・A)			
受動喫煙対策・禁煙対策 ・世界禁煙デー・週間にあわせた啓発(5月) ・防煙教育スキルアップ研修 ・禁煙指導スキルアップ研修(WEB) ・禁煙治療指導者スキルアップ研修(とさ禁煙サポーターズフォローアップ) ・各種研修会・関係団体会議での健康増進法・禁煙支援に関する周知・啓発(通年) ・高知家健康チャレンジによる普及啓発 ・福祉保健所による健康増進法による指導・助言				・禁煙デー・週間にポスター掲示等での啓発(5月31日～6月6日) ・禁煙支援・治療の指導者トレーニングプログラムの周知 8月20日から随時受講可能 ・禁煙治療指導者スキルアップ研修(とさ禁煙サポーターズフォローアップ) 2月18日実施予定 ・高知家健康チャレンジによる普及啓発 ・福祉保健所による健康増進法による指導・助言				【成果と課題】 ・40-74歳の喫煙率は減少傾向にある(GIFKENデータ)。 ・禁煙支援・禁煙治療について周知啓発を行った結果、啓発効果は得られている。 【今後の取組】 ・今後も啓発資料等を活用し、周知啓発に努める。			

令和4年度 第4期高知県健康増進計画 進捗状況

		担当課	保健政策課									
4 分野ごとの健康づくりの推進		計画冊子	P63～P67									
(6) 歯・口腔の健康												
	施策目標	H27	H28	H29	H30	R1	R2	目標値 R3	R4	R5	備考	
1	一人平均むし歯数	計画	3歳 12歳 17歳						0.4本以下 0.5本以下 1.5本以下			高知県学校 歯科保健調 査
		実績	3歳 12歳 17歳	0.55本 0.97本 2.53本	0.47本 - -	0.5本 1.02本 2.63本	0.43本 - -	0.45本 0.68本 2.14本	0.47本 - -			
2	歯肉炎罹患率	計画	12歳 17歳						20%以下 20%以下			高知県学校 歯科保健調 査
		実績	12歳 17歳	23.4% 24.4%	- -	22.9% 26.4%	- -	27.0% 23.5%	- -			
3	40歳代で進行した歯周病 (4mm以上の歯周ポケットあ り)に罹患している人の割合	計画							25%以下			高知県歯と 口の健康づ くり実態調 査
		実績	49.2%	-	-	-	-	68.7%	-			
4	80歳で自分の歯を20本以上 有する人の割合	計画							60%以上			高知県歯と 口の健康づ くり実態調 査
		実績	59.3%	-	-	-	-	56.7%	-			
5	定期的に歯科健診を受けて いる人の割合	計画							65%以上			高知県歯と 口の健康づ くり実態調 査
		実績	53.5%	-	-	-	-	62.4%	-			
【課題】 ・ひとり平均齲歯数は減少傾向であるが、個人ごとの格差が大きく目標値には達していない ・成人の歯周病予防対策、早産・低体重児出産対策が必要												
【今年度の取組目標】 ・フッ化物洗口未実施施設への実施開始支援、既に実施している施設へのフォローアップ ・働き盛り世代への歯周病予防対策強化 ・オーラルフレイル予防を推進するためのプログラムを更新し、普及啓発行う									直近の実績値(R3年度) ・一人平均齲歯数 3才:0.47本 ・フッ化物洗口実施割合 65.6%			
今年度の当初計画(P)				今年度の取組状況(D)				課題と今後の取組予定 (C・A)				
歯・ 口腔の 健康	・市町村や施設等に対してフッ化物洗口実施に向けた個別協議の実施 ・健診会場等での歯科保健指導の実施 ・県内5か所のモデル市町村でオーラルフレイル予防複合プログラムの実践 ※高知県歯と口の健康づくり推進協議会で進捗管理			・フッ化物応用推進事業を活用したフッ化物洗口開始施設の決定(5施設)R4.12月時点 ・事業所での歯周病予防指導ができる歯科衛生士の育成研修会を実施(7/18、8/28AM,PM) ・健診会場での歯科保健指導を実施 ・新型コロナウイルス感染症拡大により、モデル市町村を5か所から2か所へと縮小しプログラムを実施(香美市、四万十市)				【成果と課題】 ・子どものむし歯は減少しているが、歯肉炎・歯周病を有する者の割合は増加している。 【今後の取組】 ・フッ化物洗口未実施施設への実施開始を支援し、既に実施している施設へフォローアップを行う。 ・ブラッシングの重要性を啓発し、齲歯及び歯肉炎を予防する。 ・働き盛り世代への歯周病予防対策を強化する。 ・市町村でのオーラルフレイル予防策強化に向けたプログラムを作成する。				

令和4年度の取組について

子どもの頃からの健康的な生活習慣の定着

第4期よさこい健康プラン21における対策

1 家庭・学校・地域との協働

- ・小・中・高校生の授業で副読本を活用した健康教育
- ・子どもの体力・運動能力、生活習慣等の調査による実態把握を行い、望ましい生活習慣の定着や体力向上を図る（教育委員会）
- ・健康教育に関わる関係機関と連携体制を構築し、学校へ医師をはじめとした健康教育の専門家を派遣する等、健康教育の一層の充実を図る（教育委員会）
- ・健康教育を通じた望ましい生活習慣の定着と、地域の団体や人材と協同した課題解決への取組推進（学校）
- ・就学前の子どもの保護者へパンフレット配付による望ましい生活習慣確立への意識の向上（教育委員会）
- ・課題校で朝食の大切さ及び将来に向けた健康教育の実施

2 食育を通じた健康教育の強化と家庭への波及

- ・地域の住民組織等とともに体験的な学習による健康教育の推進
- ・ヘルスメイトと連携してオリジナル教材を活用した子どもの実践力を高める健康教育の実施
- ・市町村や量販店等事業者と連携した若い世代への啓発活動（高知県食生活改善推進協議会）

令和4年度の取組

1 家庭・学校・地域との協働

- (1) 小・中・高校生を対象とした健康教育副読本の活用
- (2) 子どもの健康教育事業
- (3) 保護者や教員等への出前講座
- (4) 就学前の子どもの保護者を対象とした取組



2 食育を通じた健康教育の強化と家庭への波及

- (1) ヘルスメイトによる児童生徒への健康教育の実施と健康教育内容の家庭への普及



1 学校・家庭・地域との協働

(1) 小・中・高校生を対象とした健康教育副読本の活用

【令和3年度副読本活用状況調査結果】

活用率：公立小中高等学校 100%

意見：高知県の調査結果や全国比較のグラフは生徒の関心が高く、教科書の内容の理解が深まる。

【活用方法】

- ・定期的な生活しらべの事前事後の指導に活用
- ・保健体育や特別活動の授業等で活用
- ・長期休業前後での生活習慣の見直しに活用

学年	目的	配布時期
小学校 低学年	家庭で、保護者と一緒に生活習慣チェックをし、「早ね・早おき、朝ごはんプラス運動」などの生活リズムの向上に取り組むことができる。 A4版10ページ副読本	令和4年5月 小学校1・2年生 全員に配布
小学校 中学年	食事・運動、休養・睡眠の健康三原則に気をつけ、健康的な1日の生活リズムを続けていくことができる A4版16ページ副読本	令和4年5月 小学校3年生 全員に配布
小学校 高学年	生活習慣病などの病気の予防について学ぶとともに、健康的な生活習慣を身につけることができる A4版16ページ副読本	令和4年5月 小学校5年生 全員に配布
中学生	健康的な生活と病気の予防について学び、思春期における自分自身の生活習慣を見直し、よりよい生活習慣の実践ができる 中学生用：A4版22ページ副読本	令和4年5月 中学生 全員に配布
高校生	社会に出る前に、本県の健康状況等を理解するとともに、自分自身の生活習慣を見直し、よりよい生活習慣の実践ができる A4版28ページ副読本	令和4年5月 高校1年生 全員に配布



(2) 子どもの健康教育事業

- ・健康教育リーフレットを活用した健康教育の実施と実施校における事後フォロー

<事業スケジュール>

実施校の選定（県内小中学校 計5校予定）
↓
関係者で課題の共有
↓
課題校にて健康教育の実施
安芸第一小学校（6/5）、岡豊小学校（11/1）
枝川小学校（1/23）、窪川小学校（10/25）、
清水中学校（9/22）
↓
実施後、実施校における事後フォロー
↓
報告書の提出（R5.2月まで）

<成果>

学校で取り組んでいる生活リズム
チェックシートを基に、朝食欠食率の
推移を把握

- ・小学校
1学期（健康教育実施前）94.7%
→2学期（実施後）95.5%
- ・中学校
1学期（健康教育実施前）92.4%
→2学期（実施後）94.3%
→3学期（実施後）98.1%



(3) 保護者や教員等への出前講座

「子どもの頃からの健康的な生活習慣講師派遣事業」による出前講座

【実施状況】

平成30年度	22件
令和元年度	13件
令和2年度	3件
令和3年度	4件
令和4年度	3件

令和4年度実施状況

(令和4年12月末時点)

年度No.	日時	学校名	内容	参加人数	講師（援助者）
1	R4.9.9	高知市立江陽小学校	よりよい生活習慣のために ・早ね早起き朝ご飯 ・運動の大切さ	教員 4名 児童77名 (小学1年生)	保健政策課 (保健師)
2	R4.9.16	高知市立江陽小学校	よりよい生活習慣のために ・歯の大切さについて 「いつまでも丈夫な歯で いるためには、どんな生 活をしたらいいのか」	教員 3名 児童66名 (小学5年生)	保健政策課 (歯科衛生士)
3	R4.10.26	太平洋学園高等学校	「よりよい生活習慣のために」 から（1）健康管理について ・高知県民の健康に関する現状 ・健康管理 ・アルコールの害、たばこの害、 薬物使用の害	教員 5名 生徒45名	保健政策課 (保健師)

(4) 就学前の子どもの保護者を対象とした取組（県教育委員会幼保支援課）

就学前の子どもの保護者向けパンフレットの活用及び各保育所・幼稚園等での学習会の実施（県教育委員会幼保支援課）

◆保護者用パンフレット

保育所・幼稚園等の保護者を対象とした基本的な生活習慣に関するパンフレットを3歳児保護者に配付

A4サイズ・16ページ・フルカラー

〈内容〉

- ・生活リズムの大切さ
- ・早ね早おきの大切さ
- ・朝食の大切さ
- ・運動と遊びの大切さ
- ・子どもとの関わり方について
- ・取り組みカレンダー・シール



◆指導者用手引き

各園で3歳児保護者向けに基本的な生活習慣についての学習会を実施する際の指導者用手引の活用

◆指導者用データCD

各園で学習会を開催する際等に活用できるデータを収録したデータCDの活用

【スケジュール】

令和4年5月 保育所・幼稚園等に送付（5,000部）（6月・11月が取組強調月間）

令和4年度の取組について

実施計画回数：102回

福祉 保健所	市町村	小学校数 (公立)	小学5年生 クラス数 a	R4年度 実施計画 回数 b	R4年度 実施数 (12月末)	R4独自事 業補足 c	備 考	(b + c)/a
安芸	室戸市	5	6	6	6			100%
	安芸市	8	9	8	9			100%
	東洋町	2	2	2	2			100%
	奈半利町	1	1	2	2			200%
	田野町	1	1	1	1			100%
	安田町	1	1	1	1			100%
	北川村	1	1	1	0			0%
	馬路村	2	2	1	0			0%
	芸西村	1	1	1	2			200%
	小計	22	24	23	23			96%
中央東	南国市	13	18	6	7			39%
	香南市	7	11	2	2	9	小学5年生の 朝食づくり	100%
	香美市	7	10	4	5	5	市内全小学校 5年生対象事業	100%
	本山町	2	2	2	0			0%
	大豊町	1	1	1	1			100%
	土佐町	1	1	1	1			100%
	大川村	1	1	1	1			100%
	小計	32	44	17	17			39%
高知市	高知市	39	88	5	0			0%
中央西	土佐市	9	10	2	2	2	ハートフル フレンズ事業	40%
	いの町	7	7	5	1			14%
	佐川町	5	5	5	4			80%
	越知町	1	1	2	2			200%
	仁淀川町	3	3	3	2			67%
	日高村	2	2	2	2			100%
	小計	27	28	19	13			46%
須崎	須崎市	8	9	6	0			0%
	中土佐町	3	3	3	3			100%
	梶原町	1	1	1	1			100%
	津野町	3	3	5	5			167%
	四万十町	12	14	7	7			50%
	小計	27	30	22	16			53%
幡多	四万十市	13	17	5	2			12%
	宿毛市	8	10	4	4			40%
	土佐清水市	6	7	2	0			0%
	黒潮町	8	8	3	0			0%
	大月町	1	1	1	1			100%
	三原村	1	1	1	0			0%
小計	37	44	16	7			16%	
合計		184	258	102	76			29%

* 学校数は、R3年度現在の数

* 独自事業として小学校5年生を対象に全ての学校へ入っている場合、補足数を足して100%にしています。

働きざかりの健康づくりの推進

第4期よさこい健康プラン21における対策

1 健康づくりの県民運動

- ・高知家健康パスポート事業
- ・特定健診受診勧奨、高血圧・高血糖対策を重点に、生涯を通じた健康づくりについての総合的な啓発

2 職域と連携した健康づくり

- ・各圏域における健康づくり推進協議会の開催
- ・協会けんぽ高知支部と連携した圏域ごとの職場の健康づくり応援研修会の開催
- ・事業所への健康づくりの情報提供の機会拡大に向け、労働局や産業保健総合支援センター等と連携した啓発の実施
- ・県政出前講座等の実施や血圧計等の健康機器の貸し出しの実施
- ・高知県ワークライフバランス推進企業（健康経営部門）の認証及び公表
- ・高知家健康パスポートの健康経営への活用促進

令和4年度の取組

1 健康づくりの県民運動

- 1) 高知家健康パスポート事業
 - (1) 健康パスポートアプリの魅力向上
 - (2) 健康パスポートアプリを活用した健康づくりの盛り上げ
- 2) 高知家健康チャレンジ



2 職域と連携した健康づくりの推進

- (1) 関係機関等と連携した啓発
- (2) 健康経営に取り組む事業所への支援



1 健康づくりの県民運動

1) 高知家健康パスポート事業

目的：壮年期の死亡率の改善を図るため、保険者が実施する予防・健康づくり事業のプラットフォームとして、県民の健康意識の更なる醸成と健康的な保健行動の定着化を図る。

開始時期：2016.9.1～

対象者：20歳以上の高知県民

内容：◆健診受診や運動施設の利用などを通じてポイントを貯めてパスポートを取得
◆ポイントを取得し、パスポートをランクアップすると特典が充実
◆健康パスポートアプリを配信→日々の歩数や血圧・体重測定の記録等でもポイント取得が可能

◆**令和4年4月から健康パスポート事業はアプリで運用**

※アプリを使用しない人向け「ヘルシースタンプシート」キャンペーン実施

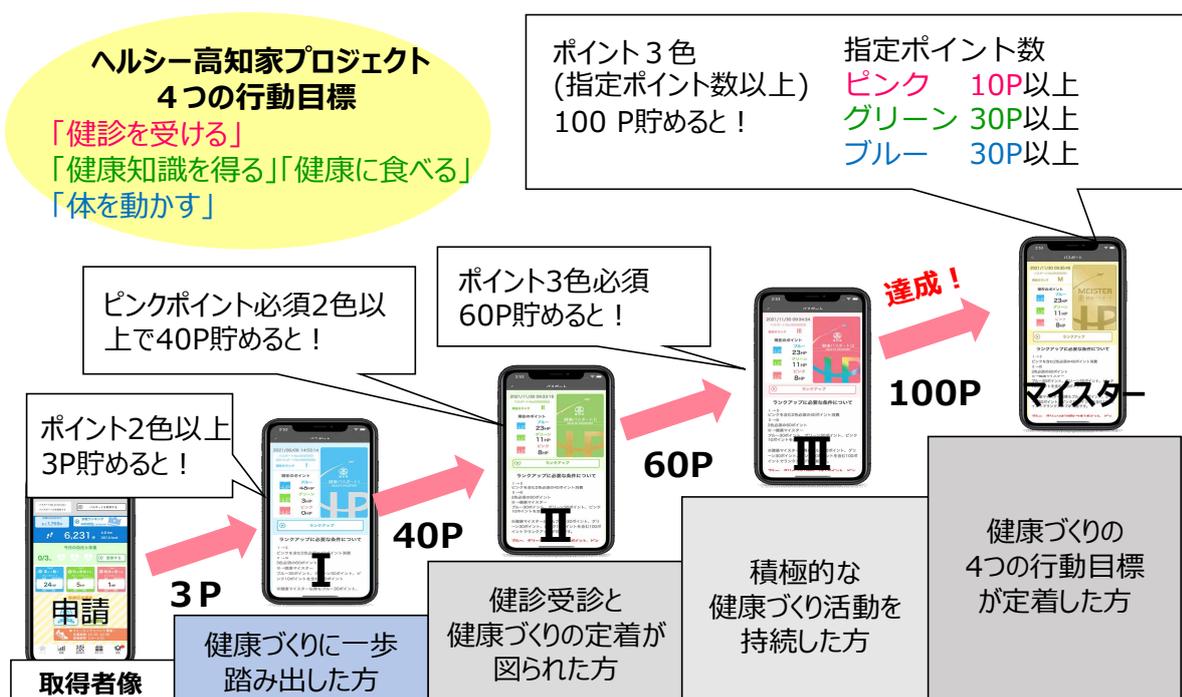
特典：◆健康パスポート提示による参加施設での特典
◆取得者の応募によるプレゼントキャンペーンの実施（抽選）
◆ランクアップ者限定プレゼントの実施（抽選）

実績：R4.11月末現在（アプリ運用実績）

	アプリダウンロード	I	II	III	マイスター
取得者数	39,030件	15,852名	9,465名	7,651名	5,281名
ランクアップ率	***	40.6%	59.7%	80.8%	69.0%

参加施設：令和4年7月末現在

ポイント付与：1,232施設 特典協力：450施設



★ランクアップのポイントは、ピンクポイント1P=5ポイント換算、グリーン及びブルーポイントは1P=1ポイント換算とし、ピンクポイントを必須化及び重みづけすることとしています。ランクアップを通じて健診受診と運動や健康イベントへの参加などの健康づくり活動の定着と持続を図っていただくことを目的としています。

(1) 高知家健康パスポートアプリの魅力向上

健康パスポートアプリの魅力を上昇することで、健康パスポート利用者の増加を図り、県民の健康意識のさらなる醸成と健康行動の定着化を目指す。

① 友達紹介キャンペーンの実施

- ◆目的：健康パスポート取得者増及びインセンティブ強化
- ◆実施時期：8月以降先着2,000名（2,000名に達しなかった場合は2月末まで）
→418名（11月末時点）が友達紹介キャンペーンにより新規で健康パスポートを取得
※同期間（8月～11月末）に1,228名が健康パスポートランクIを取得（昨年同期間：629名が取得）



キャンペーン期間：令和4年8月1日～スタート！
※ポイントがなくなり次第終了

高知家健康パスポート お友達紹介キャンペーン開催！

友人・知人やご家族に、高知家健康パスポートを紹介していただくと、
1人紹介につき、便利なgifteeBoxを

先着
2000
名分

500 ポイント プレゼント！

! 先着**100万**ポイント！

一人当たりの上限はなし。
例 20名を紹介した方には20名×500ポイントの1万ポイントが付与されます。

①～③を達成すると、「紹介した」方にgiftee500ポイントをプレゼント！

- ① 高知家健康パスポート利用者（紹介した方）が、友人・知人やご家族にパスポートの魅力や使い方を紹介
- ② 「紹介された方」が、アプリをダウンロードし、2種類のヘルシーポイントを合計3ポイント取得
- ③ 「紹介された方」が、健康パスポート「ランクI」を取得

※「紹介された方」は、必ず「お友達紹介機能」を使ってパスポートを取得してください。
※「紹介された方」が、インストールしただけ、もしくはヘルシーポイントを取得しただけではgifteeポイントのプレゼント対象にはなりません。

gifteeBoxとは約500種類のラインナップの中から、好きな商品を自由にえらべるデジタルギフトです。コンビニやカフェ、ファッションからフィットネスまで幅広いシーンのギフトを取り揃えています。

セブンイレブン協賛

紹介してもらった方も同時キャンペーン！

令和4年8月1日～新規紹介でパスポートIを取得をされた方には県内セブンイレブン全店で利用できる引き換えクーポンをプレゼント！

先着**1000**名様

パスポートランクは簡単に取得できます

★1日8000歩以上の記録でブルーポイント1ポイントゲット!
★健康動画の視聴15秒～30秒やクイズに答えてグリーンポイントゲット!
★健診でピンクポイントをゲット!

詳しくは特集記事をチェック！

※対象者には条件達成の翌3営業日中にアプリへgifteeポイント付与のURLが発行されます。※不正と思われる取得がある場合はポイント付与の権利が消失します。
※条件達成後ポイント付与までにアプリをアンインストールされた場合はポイント付与の対象外となります。
※本キャンペーンは予告なく期間の変更や中止、対象となる条件の変更を行う場合があります。※各種適用には条件があります。
※注意事項等詳しくは高知家健康パスポートお友達紹介キャンペーン記事をご確認ください。

お問い合わせ

高知家健康パスポートコンタクトセンター
☎0120-360-075 ✉kenpass@hotkochi.co.jp
高知県健康政策部 保健政策課 〒780-8570 高知市丸ノ内1丁目2-20 高知県庁本庁舎4F



詳しくは公式HPを
ご確認ください

②マイスター限定プレゼントキャンペーンの実施

- ◆目的：インセンティブの強化及び冊子版からの切り替え（シール含む）推進
- ◆実施時期：8月1日～9月末（応募期間）
→延べ1,817名から応募があり、100名の当選者に賞品を送付



高知家健康パスポートを活用し、長年健康増進に
取り組んできた方へとおきのキャンペーンです。
ランク「マイスター」で健康パスポートアプリ版へ
移行をされてない方も、この機会にアプリに移行して応募しよう!

※貯まっているシールのポイントへの交換期限は2022年9月末までとなっています。
お住まいの市町村健康パスポート窓口または県（保健政策課もしくは福祉保健所）にご持参ください。

応募期間 令和4年8月1日～9月30日

※高知家健康パスポートランクの最高位「マイスター」所持者が対象です

高知家健康パスポート 「マイスター」限定 キャンペーン

100ヘルシーポイントを使って応募しよう!

特賞 合計20名様



旅行に使える
JTBナイスギフト
3万5000円相当

6名様



Apple
Watch SE

3名様



Garmin
ForeAthlete245

2名様



パナソニック
エアーマッサージャー
レッグリフレ EW-RA89

3名様

giftee* Box

giftee Box
1万8000ポイント

6名様

副賞 合計80名様

さらに
Wチャンス!



外れた人の中から抽選で80名様に
「JCBオリジナルプレモカード」
1万円相当をプレゼント!

キャンペーンの
詳しい内容は
こちらをチェック!



<本キャンペーンは各種応募条件があります>

※当選は賞品の発送をもってかえさせていただきます。※本キャンペーンは高知家健康パスポートのランクが「マイスター」の方が対象となります。ランクI、ランクII、ランクIIIの方は対象外となりますのでご了承ください。※応募後抽選までにアプリをアンインストールされた場合はポイント付与の対象外となります。※本キャンペーンは予告なく賞品の仕様や期間の変更や中止、対象となる条件の変更を行う場合があります。※詳しくは高知家健康パスポートマイスタープレゼントキャンペーン記事をご確認ください。

お問い合わせ

高知家健康パスポートコンタクトセンター

☎0120-360-075 ✉kenpass@hotkochi.co.jp

高知県健康政策部 保健政策課 〒780-8570 高知市丸ノ内1丁目2-20 高知県庁本庁舎4F



詳しくは公式HPを
ご確認ください

(2) 健康パスポートアプリを活用した健康づくりの盛り上げ

健康づくり無関心層や健康づくりに関心はあるが一步を踏み出せていない方に対するウォーキングイベント等気軽に楽しめるイベントの実施や個別性を重視した情報機会の増大により、健康づくりの県民運動をさらに盛り上げる。

①ウォーキングイベントの定期的な開催

- ◆実施時期：6月、8月、10月、11月、12月、1月、2月
- ◆内容：職場や町内会など任意のグループ同士による歩数競争イベントや、個人が「達成感」を得られるイベントを実施
- ◆実績：延べ6,230名が参加（12月末時点）

②アプリを活用した定期的な健康づくり情報の発信

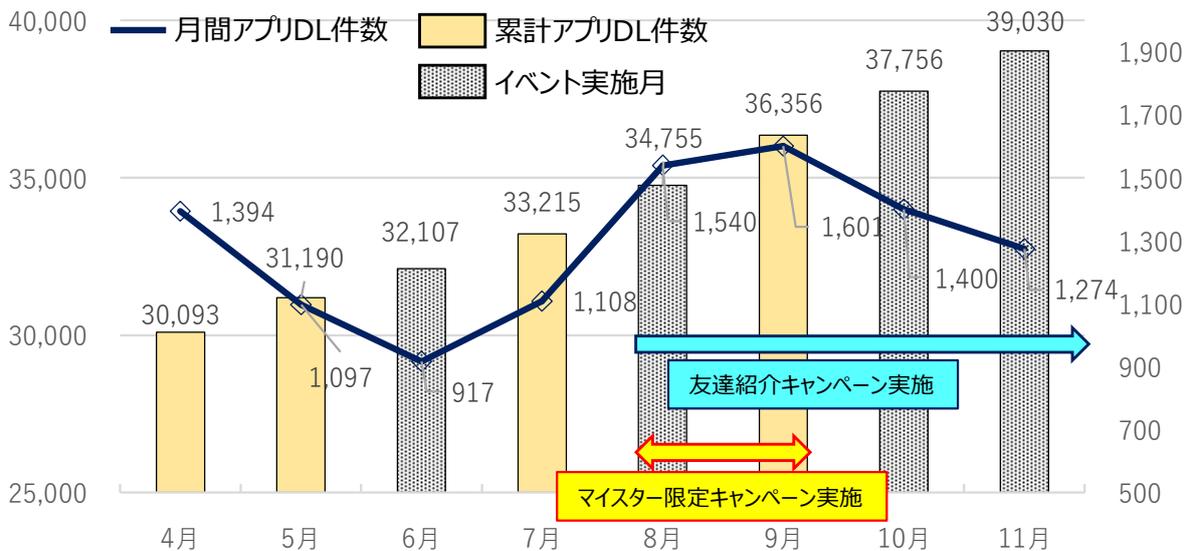
- ◆実施時期：随時
- ◆内容：健康診断を受けることで取得できるピンクポイントを過去1年以上未取得のアプリ利用者に対する健康診断受診勧奨メッセージの定期的な発信や、市町村等から健康づくり関係イベントの情報を発信する
- ◆実績：健康づくりイベント等の情報を26回発信（12月末時点）

③アプリを活用したニーズ把握や健康意識等の調査の実施

- ◆実施時期：随時
- ◆内容：アプリに関するアンケート実施結果や健康意識等に関する調査結果を事業運営に反映させる
- ◆実績：アプリに関するアンケートを2回実施。健康意識アンケートは1回実施（12月末時点）

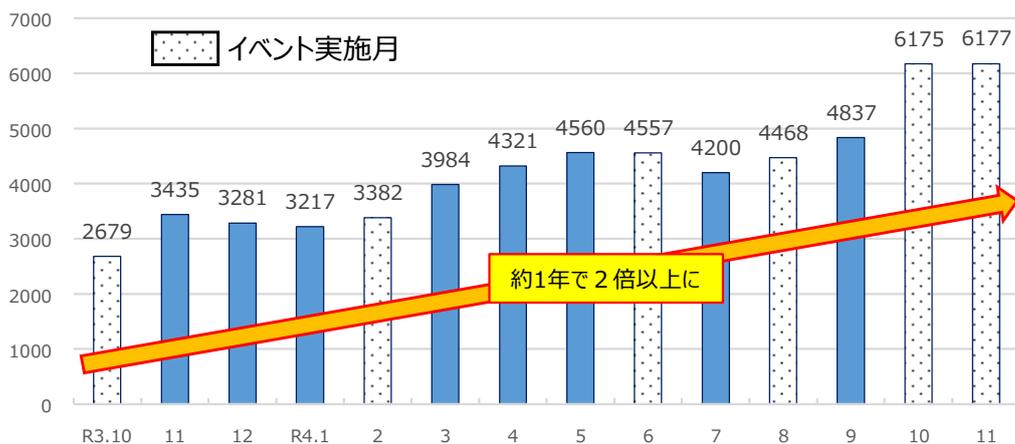
成果

累計アプリダウンロード件数及び月間アプリダウンロード件数推移



運動習慣が定着しつつある利用者数（※）

※月8日以上ブルーポイント取得者数



2) 高知家健康チャレンジ

現 状：高知県は65歳までに亡くなる人数を死因別に全国と比較すると、不慮の事故を除いて、がん、脳卒中、心疾患の生活習慣病の割合が高く、生活習慣病予防につながる行動変容が求められている。

事業目的：生活習慣病の発症リスクを高める5つの分野（減塩、野菜摂取、運動、節酒、禁煙）で新聞広告の掲載、テレビCMの放送等による普及啓発を行い、行動変容を促していく

目 標：5つの分野（減塩、野菜、運動、節酒、禁煙）の目標値（R5）達成
※図1参照

実施期間：11月にキャンペーンを実施

- 内 容**：
- ◆効果的な広報媒体の活用と高知家健康パスポートアプリと連動した企画など、県民に届くプロモーションによる啓発の充実
 - ◆量販店、企業と協働した野菜摂取及び減塩に関する啓発活動を拡大し、県民とのタッチポイントを増やして行動変容を促す
 - ◆市町村や地区組織等による周知協力を得て啓発を実施
 - ◆事業アドバイザーの参画によるナッジ理論を活用したハードルの低い動作指示をキャッチコピーにした効果的な啓発事業の推進



令和4年度のチラシ

#高知家健康チャレンジ
あれもこれもは無理だけど、自分にできることから始めてみませんか？

減塩：1日の塩分摂取 マイナス1g たったこれだけ!!
野菜摂取：野菜、もう1皿 (70g) たったこれだけ!!
運動：約1500歩、あと15分歩こう 5分×3回でもOK!!
節酒：週2日休肝日 たったこれだけ!!
禁煙：始めよう まずは禁煙外来へ!

生活習慣病の5つのリスクは、「糖分過多」「野菜不足」「運動不足」「アルコール」「タバコ」! 「生活習慣を改善できると家を守るのは自分よ〜」と、そんなあなたでも、いつもの暮らしに無理なく取り入れられる小さな「健康チャレンジ」始めてみませんか?

高知県では、「日本一の健康長寿県構想」に基づき、様々な取組を行っています。
高知県 保健政策課 ☎088-823-9675 高知家健康チャレンジ これでもよいがや! 後案

図1 5つの分野の【目標値(R5)】

減塩 ：食塩摂取量 H28 8.8g→R5 8g以下
野菜 ：野菜摂取量 H28 295g→R5 350g以上
運動 ：歩数(20~64歳) 男性 H28 6,387歩→R5 9,000歩 女性 H28 6,277歩→R5 8,500歩 歩数(65歳以上) 男性 H28 4,572歩→R5 7,000歩 女性 H28 4,459歩→R5 6,000歩
節酒 ：生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合 男性 H28 16.4%→R5 15%以下 女性 H28 9.3%→R5 7%以下
禁煙 ：成人の喫煙率 男性 H28 28.6%→R5 20%以下 女性 H28 7.4%→R5 5%以下

高知家健康チャレンジ
令和4年度のキャッチコピー

2 職域と連携した健康づくりの推進

(1) 関係機関等と連携した啓発

①協会けんぽ高知支部と連携した「職場の健康づくり応援研修会」

- ・働き盛りの死亡率改善には、日中の大半を過ごす職場での健康管理が大切
- ・本県の40-50歳代男性は協会けんぽが4割と最大（国保は3割弱）
- ・WEBセミナー形式で2月に実施予定
（R3参加者：232人）

②地元新聞社等と連携した「こうち健康企業プロジェクト」

目的：従業員の健康管理を経営的な視点から考え、戦略的に実践する「健康経営※」をテーマの中心に据え、新聞紙面特集等通じて県民に広く「職場の健康管理・推進」について理解促進を図り、高知県民の働きざかり世代の健康づくりを応援する。
【平成29年度から実施】

プロジェクト構成団体

高知県、高知県商工会議所連合会、全国健康保険協会高知支部 協力：高知新聞社、四国銀行

◆関係機関によるコンソーシアムの開催

- ・高知県における健康経営に対する意識統一と、キャンペーン推進のために、自治体・商工会議所等各機関との健康経営推進意見交換会を開催
（令和4年9月20日及び令和5年1月20日に実施）

◆「高知家健康経営アワード」の実施

- ・より多くの企業に健康経営を知ってもらい、取組への一歩を踏み出してもらうため、職場の健康づくりで実践していることを広く募集し、独自性のある特徴的な取組を実施している企業を表彰
（令和4年度は20社の応募があり、うち5社をアワード受賞企業として表彰予定）

※「健康経営」はNPO法人健康経営研究会の登録指標

(2) 健康経営に取り組む事業所への支援

① 健康経営の啓発業務

【目的】

全国に比べて高い状況にある壮年期死亡率を改善するため、働きざかり世代の健康増進において重要な職場での健康づくりについて啓発を行い、事業所における健康経営の取組を推進する。

【内容】

ア 新聞広告の制作・掲載（9月から3月の間に5回程度）

イ テレビスポットの制作・放送（10月）

ウ 過去の健康経営アワード受賞企業の取組内容等をライブラリー化
過去に受賞した企業の取組とその後の成果や課題等を改めて調査し、ホームページ等で公表する。

② 健康経営に取り組む県内事業所の支援業務

職場の健康づくりが進んでいない県内事業所に対して、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する「健康経営」の重要性の啓発及び事業所の健康課題に応じたフォローを実施するとともに、健康づくりのプラットフォームである高知家健康パスポートの活用を促進する。

【内容】

ア 職場の健康づくりが進んでいない県内事業所の経営者との個別面談を実施し、「従業員の健康課題は経営課題である」ことの認識をもってもらいたくための啓発、課題の洗い出し及び社内外への健康宣言の発信を目指す

イ 従業員への健康パスポート取得の促進と高知家健康チャレンジの推進を認定要件とする高知県ワークライフバランス推進企業認証制度（健康経営部門）の認定企業の増加促進（啓発パンフレットの更新・配布、高知家健康企業宣言企業等へのアドバイザー訪問による取得支援）

ウ 高知県ワークライフバランス推進企業認証制度（健康経営部門）
平成30年度より、商工労働部雇用労働政策課が所管する「高知県ワークライフバランス推進企業認証制度」に健康経営の項目を追加し、認証を受けた企業へ、インセンティブを提供

<令和3年度、要件を追加しました>

○令和2年度までの要件である「高知家健康パスポートの取得促進」に加え、

「高知家健康チャレンジ」の推進を行うこと（※）

（※）健康チャレンジ15項目のうちいずれか2つ以上の取組を行っていること

例：従業員の定期検診受診率100%を目指す

時間外縮減や有休取得促進

運動機会の増進 等

【認証にかかる主なインセンティブ】

・県HP等でのPR、認証企業対象の融資制度

・県建設工事競争入札参加資格審査における加点

★従業員への健康パスポートの取得促進を認定要件に設定し、健康経営への活用を促進★



高知県ワークライフバランス
推進企業認証マーク

生活習慣病の発症予防と重症化予防対策 血管病（①特定健診・特定保健指導）

第4期よさこい健康プラン21における対策

特定健診・特定保健指導

- ・ 特定健診・特定保健指導の受診勧奨等の徹底
- ・ 受診勧奨に取り組む健康づくり団体の育成・活性化支援
- ・ 広報等による啓発
- ・ 特定健診実施後の事後指導の徹底
- ・ 特定保健指導の実施率向上のための支援

令和4年度の実施

1 特定健診実施率向上対策について

- 1) 特定健診実施率の推移について
- 2) 特定健診実施率向上対策について
 - (1) 個別健診実施機関の健診実施の底上げ
 - (2) 国保保健事業による受診率向上対策
 - (3) 集団健診の利便性向上の取組
 - (4) 協会けんぽ高知支部と連携した被扶養者の受診率向上対策
 - (5) 制度周知・広報等
 - (6) 特定健康診査情報提供事業
 - (7) 福祉保健所による支援



2 特定保健指導実施率向上対策について

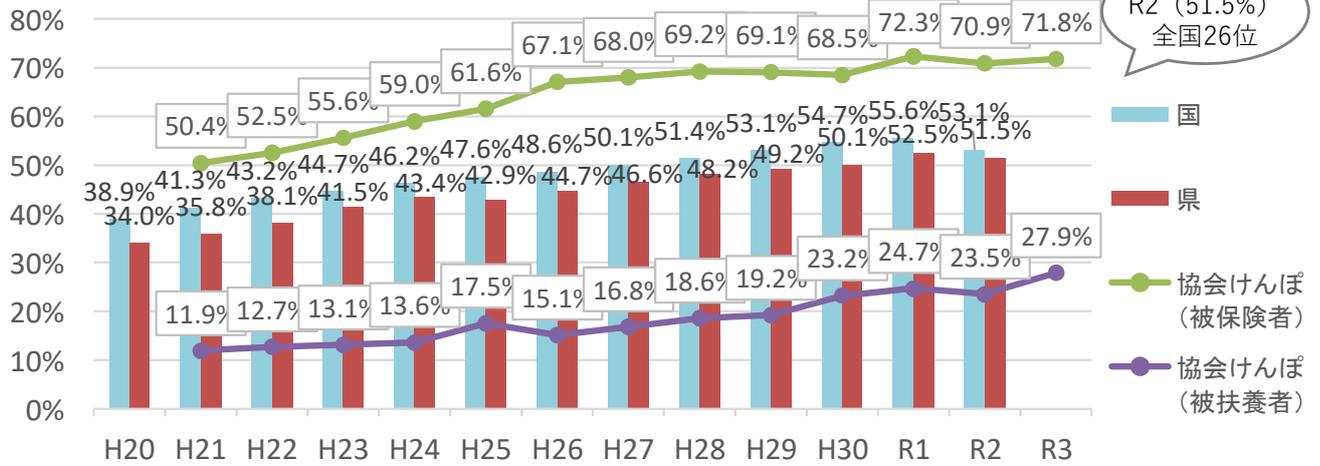
- 1) 特定保健指導実施率の推移について
- 2) 特定保健指導実施率向上対策について
 - (1) 特定保健指導従事者育成研修会
 - (2) 職場の環境づくりの推奨



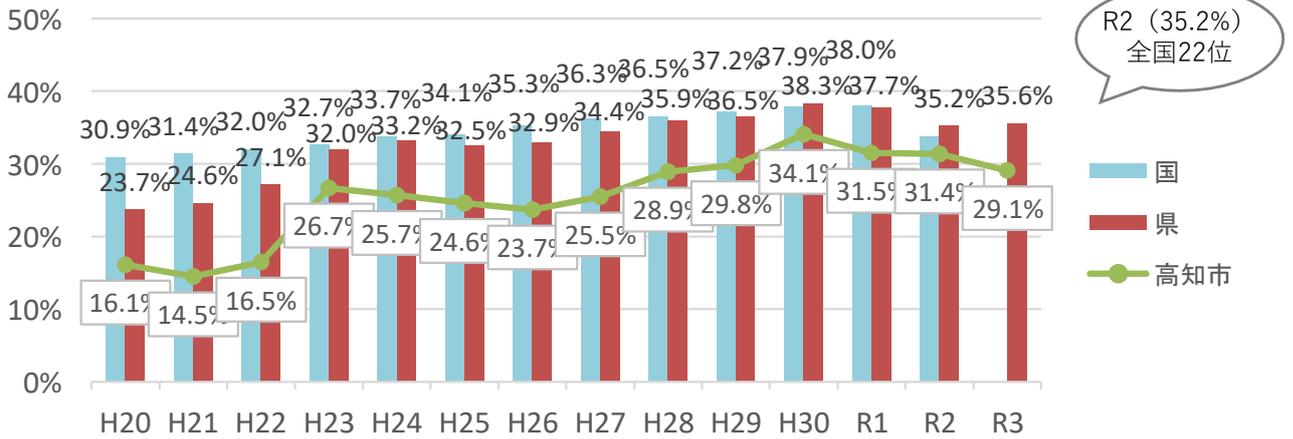
1 特定健診実施率向上対策について

1) 特定健診実施率の推移について

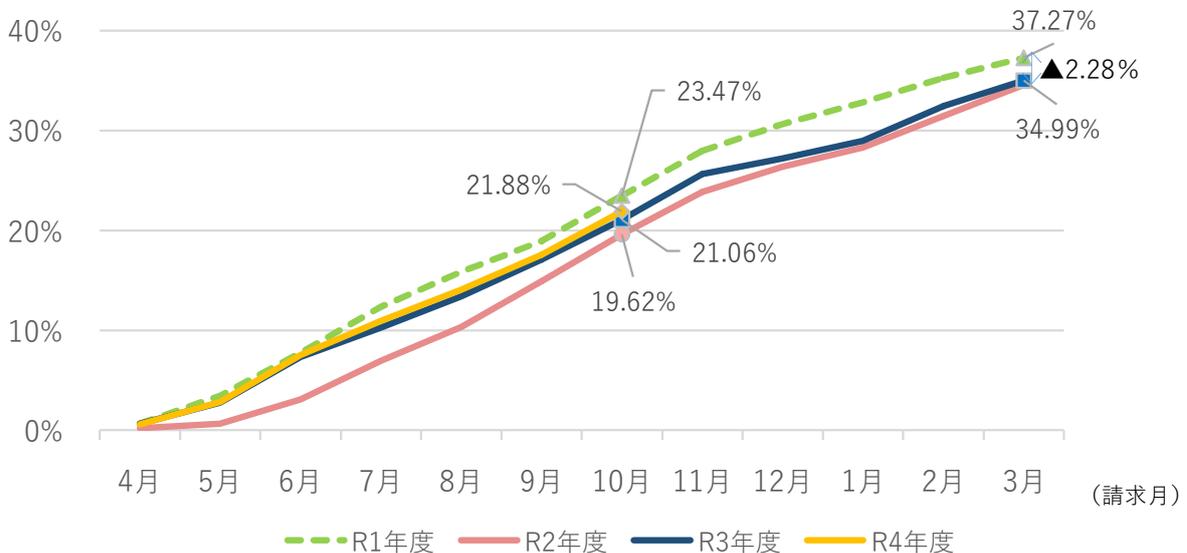
● 県全体・協会けんぽの実施状況



● 市町村国保の実施率状況



<参考> 市町村国保受診率の推移 (R1~R4)



出典：特定健康診査実施状況月例報告（国保連合会）

2) 特定健診実施率向上対策について

(1) 個別健診実施医療機関の健診実施の底上げ

医療機関向けリーフレットの作成

個別健診の実施率向上を目的として、特定健診実施医療機関からの働きかけを強化するため、個別健診の流れやポイントを示したリーフレットを作成し配布する。

- 受診勧奨手引き（医療機関が患者に受診勧奨する際のポイント）をナッジ理論を活用し改正（R5.3月配布予定）
- 受診勧奨時に患者に配布する受診勧奨チラシ作成（R5.3月配布予定）

(2) 国保保健事業による受診率向上対策

○市町村国保では、国の事業（国保ヘルスアップ事業）の活用や、休日健診、広報誌・地区放送を活用した広報活動などにより特定健診の受診率向上対策を実施している。

○国保ヘルスアップ事業

被保険者の健康の保持増進、QOLの向上と医療費適正化に資するため、被保険者の積極的な健康づくりを推進し、地域の特性や創意工夫を活かした事業を実施する。

- 重点事業：特定健診未受診者対策、特定健診受診者へのフォローアップ（特定健診未利用者への勧奨、健診受診者への情報提供等）、糖尿病性腎症重症化予防対策
- 一般事業：健康教育、健康相談、保健指導、歯科指導、健康づくりを推進する地域活動等

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
活用市町村数	24	24	26	27	28	30	31	31

高知県国民健康保険課調べ

(3) 集団健診の利便性向上の取組（特定健診とがん検診のセット化）

特定健診（集団健診）とがん検診（胃・肺）のセット状況

	受診率	巡回型		
		特定健診実施回数	うちセット回数	セット率
H30年度	38.3%	371	317	85.4%
R1年度	37.7%	337	291	86.4%
R2年度	35.2%	285	240	84.2%
R3年度	35.6%	335	280	83.6%
R4年度(予定)	-	320	277	86.6%

高知県国民健康保険課調べ

(4) 協会けんぽ高知支部と連携した被扶養者の受診率向上対策

① 事業内容

- ・受診率が低く、セット健診（特定健診+がん検診）の環境が整っていない「協会けんぽ加入の被扶養者」に着目し、健診を受けるきっかけを提供。
- ・その際に、市町村のがん検診との「セット化」も行い、がん検診の受診も促進。
- ・費用負担は、特定健診分を協会けんぽ、がん検診分を市町村が負担（自己負担を除く）。
- ・平成28年度までは高知市のみの実施であったが、平成29年度から他市町村にも拡大。

②高知市

実施方法	①施設内集団健診 (平日)	②集団健診 (がん検診の広域実施)	実施 予定者数	受診者数
H28	1,750名	650名	2,400名	1,302名
H29	1,410名	650名	2,060名	1,195名
H30	1,470名	840名	2,310名	1,387名
R1	1,510名	1,120名	2,630名	1,728名
R2	1,120名	740名	1,860名	1,370名
R3	1,510名	1,084名	2,594名	1,561名
R4*	599名	522名		1,121名

*R4～ セット健診（特定健診+がん検診）を受診した実数を計上（R5.1.19現在）

③高知市以外

- ・平成28年度から高知市以外の会場で特定健診を実施し、平成29年度から一部セット化を実施。
セット化…特定健診と大腸がん検診の同時実施
- ・オプションとして、平成28年度はストレス測定、平成29年度は肌年齢測定を実施、平成30年度は肌年齢または脳年齢測定を実施、令和元年度は肌年齢測定を実施。
令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルス感染症感染防止対策のためオプションはなし。
- ・令和4年度、東部の3地域を追加。

実施方法	実施月	実施会場	がん検診とのセット化	申込者数	受診者数
H29	3月	11会場	6会場	652名	557名
H30	1, 3月	12会場	11会場	458名	394名
R1	1, 3月	5会場	5会場	396名	298名
R2	1, 3月	6会場	6会場	552名	489名
R3	1, 3月	6会場	6会場	629名	547名
R4	12, 1, 3月	9会場	9会場		51名*

*令和4年12月末現在

(5) 制度周知・広報等

① 特定健診受診対象者及び特定健診前世代（39歳）への啓発（市町村国保）

受診率の低い層である40歳代前半、節目の歳となる50歳、60歳を対象に受診勧奨リーフレットを送付するとともに、特定健診対象前世代（39歳）を対象に意識啓発リーフレットを送付。

リーフレットの発送時期に合わせて新聞・WEB広告の掲載やテレビ・ラジオCM及びSNSによる受診勧奨・意識啓発を実施予定。

【事業内容】

- 各年代の特徴に合わせたリーフレットの配布（7月中旬・10月・2月）
- 新聞広告（7月中旬・2月中旬）
- テレビCM（7月中旬・10月・2月）
高知放送・テレビ高知・さんさんテレビ 計385本予定
- ラジオCM（7月中旬・10月・2月）
RKCラジオ・FM高知 計200本予定
- WEB・SNS広告（7月中旬・10月・2月）
YouTube・Twitter・Instagram等



（参考：受診勧奨リーフレットR4）

② 健康増進月間に集中したテレビCMによる啓発

対象：働き盛り男性及びその家族

放送時期：令和4年10月1日（土）～令和4年10月31日（月）31日間

放送局：（テレビ）高知放送、テレビ高知、さんさんテレビ 3局

（SNS）YouTube

（WEB広告）Googleバナー広告 1,210,773回

CM本数等：（テレビ）15秒CM 150本

（SNS）45秒CM 約68,000回※高血圧編、高血糖編、特定健診編セットで放送

<p>高血圧編</p> <p>健康バースポートアイコンを シンプルに訴求</p> <p>山本さんは40代男性 その機でアプリキャラが 状況を解説する</p> <p>会社でイライラしながら PC作業をする様子 ※ワイヤレスに「ネットワーク」 ※飲み会、カラオケ、ゲームなど ※マスクはなし</p> <p>食事をする山本さん 食卓の食事は野菜多め ※アプリ画面は健康チャレンジ カレンダーに花丸が動く</p> <p>血圧測定をする 山本さん ※カフの位置は心臓の高さ 背もたれにもたれて リラックス、足股一貫的 ※アプリ画面で アラームが貯まる</p> <p>高血圧予防を促す 内容でおさえ</p>	<p>Na:アプリ(男性) アプリで健康サポート! (SE:ピロント)</p> <p>血圧高めな山本さん</p> <p>食生活を改善中!</p> <p>血圧測定も続けて、 ポイントも 貯まっていますよ。</p> <p>めぞそう 血圧130未満!</p>	<p>高血糖編</p> <p>健康バースポートアイコンを シンプルに訴求</p> <p>健診結果を見ながら 残念な表情の山本さん。 歌さ出して 「ヘモグロビンA1c」部分 のアップ、 さらに赤丸が入る。</p> <p>そのまま歯が引いて、 二つの歌さ出しが浮かぶ。</p> <p>バランスの良い食卓の 食卓の写真</p> <p>階段を登っている様子</p> <p>おさえ</p> <p>※高血糖で多い名字の3位が「山崎」</p>	<p>Na:アプリ(男性) アプリで 健康サポート!</p> <p>血糖値、 高めのあなた</p> <p>心当たり ありますか?</p> <p>まずは 食生活を改善!</p> <p>適度な運動も 心がけて!</p> <p>防ごう! 糖尿病の発症</p>	<p>特定健診編</p> <p>健康バースポートアイコンを シンプルに訴求</p> <p>小松さんは50代男性 その機でアプリキャラが 状況を解説する</p> <p>自宅でメタボ改善を 気にする小松さん</p> <p>特定健診を 受ける小松さん ※マスク着用 ※アプリ画面は ピンクPが追加</p> <p>健診結果イマイチで 改善を促す表情 運動で生活改善に 取り組む小松さん ※運動はウォーキング ※アプリ画面は 歩数が5,000歩を超える</p> <p>特定健診を促す 内容でおさえ</p>	<p>Na:アプリ(男性) 楽しく健康づくり! (SE:ピロント)</p> <p>メタボ気味な 小松さん。</p> <p>特定健診、 受けましょう!</p> <p>うーん…</p> <p>よし！出来る事から 生活改善!</p> <p>年に一度は 特定健診!</p>
--	--	---	--	--	--

③ 県の広報媒体を活用した啓発

対象：高知県内の40歳～74歳の方

広報媒体：テレビ・ラジオでの読み上げ（「県民ニュース」「知っとく高知県」）
さんSUN高知「情報ひろば」への掲載

(6) 特定健康診査情報提供事業について

- ・ 特定健診受診率向上のため、治療中であることを理由に特定健診を受診しない場合に、治療中の検査結果を医療機関から市町村国保に提供してもらうことで、特定健診を受診したとする「みなし健診」を令和元年度から実施
- ・ 令和3年度は、10月末・11月末・12月末の計3回、国保連合会から市町村へ対象者の名簿を提供し、11月～3月に 医療機関から患者承諾のもと情報提供を受けた
- ・ 特定健診情報提供料 2,500円／1件

(参考) 情報提供項目

基本項目	問診
	診察（自覚症状及び他覚症状の検査）
	身体計測（身長、体重、腹囲、BMI）
	血圧
	血中脂質検査（中性脂肪、HDL、LDL）
	肝機能検査 （AST（GOT）、ALT（GPT）、γ-GT（γ-GTP））
	血糖検査（HbA1c、空腹時血糖、随時血糖）
	尿検査（糖、蛋白）
その他 ^{*1}	血清クレアチニン検査
	血清尿酸検査

*1:検査を実施している場合

○令和3年度の実施状況

- ・ 全市町村で実施

事業対象者リスト 11,803人
 10月提供分 4,143人
 11月提供分 3,894人
 12月提供分 3,766人

- ・ うち事業実施者 2,824人
- ・ うち受診者 438人
 （特定健診対象者全体の0.4%）

○令和4年度の実施状況

- ・ 全市町村で実施

事業者対象リスト 11,284人
 10月提供分 4,056人
 11月提供分 3,674人
 12月提供分 3,554人

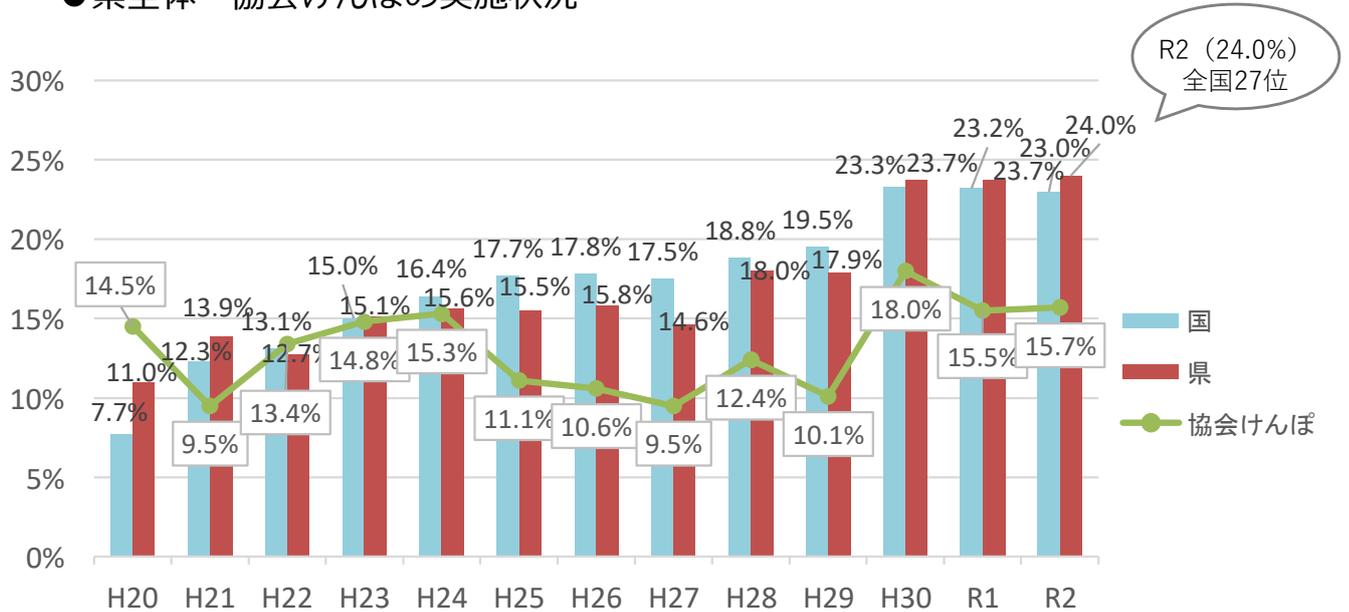
(7) 福祉保健所による市町村支援

- ・ 市町村の特定健診・特定保健指導の実施率向上を目的とし、各福祉保健所ごとに対象市町村を選定し、年間を通して重点的に支援を行う。
- ・ 令和4年度対象市町村：安田町、香南市、土佐市、四万十町、土佐清水市
- ・ 支援内容：
 - 他市町村の取組内容等の情報提供
 - 保健分野、国保担当の連携強化に向けた支援
 - 効果的な受診勧奨方法の検討
 - 医療機関訪問への同行 等

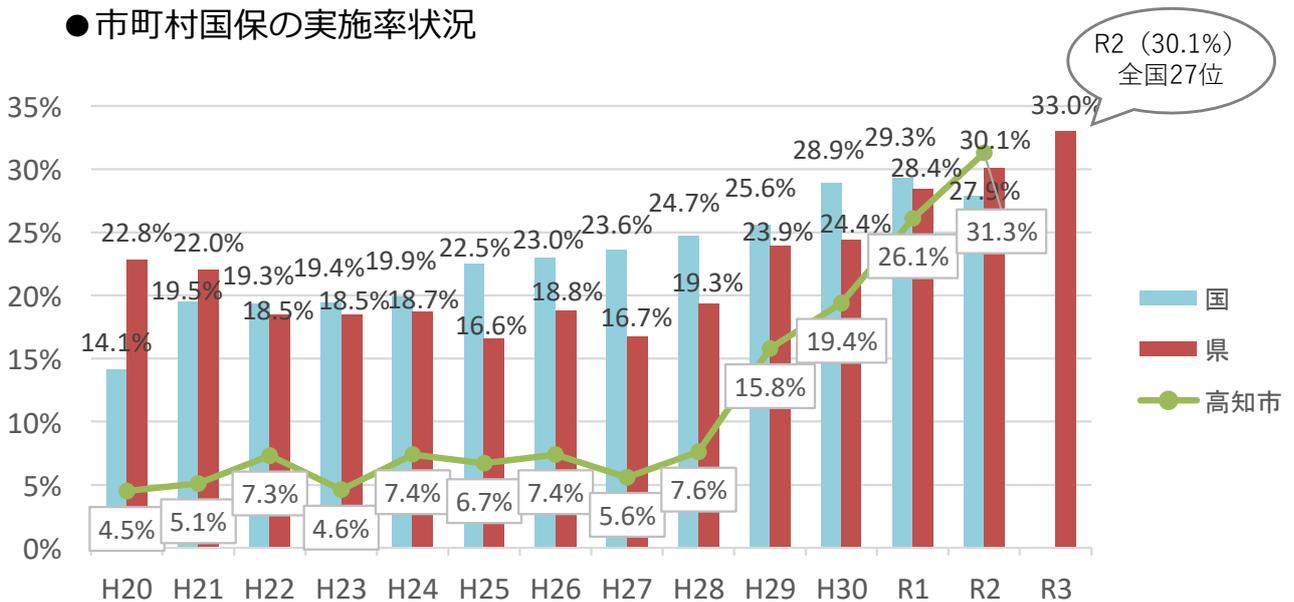
2 特定保健指導実施率向上対策について

1) 特定保健指導実施率の推移について

● 県全体・協会けんぽの実施状況



● 市町村国保の実施率状況



2) 特定保健指導の実施率向上対策について

(1) 特定保健指導従事者育成研修会

① 目的

県内特定保健指導従事者のスキルアップ

②対象者

- ・市町村の国保・保健衛生部門等で保健指導に従事する者
- ・医療保険者で保健指導に従事する者
- ・保健指導実施機関で保健指導に従事する者
- ・保健師、管理栄養士等で保健指導にかかわる予定がある者

③日程・内容・参加者数

日程	研修区分	内容	参加者
令和4年6月24日 (リモート研修)	初任者編	<ul style="list-style-type: none"> ・「健診・保健指導概論」 「保健指導の基本的事項」 説明：高知県保健政策課 ・「身体活動・運動に関する保健指導」 講師：健康運動指導士 池添 伊佐子 氏 ・「禁煙に関する保健指導」 講師：高知県立大学看護学部看護管理学 教授 久保田聡美 氏 ・「栄養・食生活に関する保健指導」 講師：土佐市健康づくり課 主査 高野 典子 氏 ・「メタボリックシンドロームの概念」 講師：高知赤十字病院 健診部長 大黒 隆司 氏 	95人
令和4年10月18日 (リモート研修)	経験者編 I	<ul style="list-style-type: none"> ・「効果的な保健指導のポイント ～第4期特定健康診査実施計画の見直しの方向性を 踏まえて～ 講師：女子栄養大学 特任教授 津下一代 氏 	110人

(2) 職場の環境づくりの推奨

特定保健指導を受けやすい職場環境づくりを健康経営の一つとして推奨

(3) 特定保健指導の強化に向けた市町村への保健指導介入（血管病関連データ分析事業）

目的：効果的・効率的な特定保健指導を確立させ、市町村が実施する特定保健指導の質の強化を図る。

委託先：大阪大学大学院公衆衛生学教室

事業内容：モデル市町村において、生活習慣病ハイリスク者の保健指導効果検証研究

(J-HARP研究)で立証された保健指導モデルを活用し、対象者自身が自らの課題を認識し、健康行動を促進する、保健指導効果の高い特定保健指導を実施し、特定保健指導におけるHbA1c、メタボの改善効果を検証する。

モデル市町村：安芸市、土佐市、四万十市、越知町、大月町

生活習慣病の発症予防と重症化予防対策 血管病（②高血圧対策）

第4期よさこい健康プラン21における対策

高血圧対策

- ・ 広報等による啓発
- ・ 医療機関や高知家健康づくり支援薬局を通じた家庭血圧測定の普及
- ・ 高血圧や心房細動の危険性への啓発
- ・ 官民協働での減塩プロジェクト

令和4年度の取組

1 家庭血圧を指標にした降圧治療の強化 ～家庭血圧測定と記録の促進～

- (1) 医療機関での指導教材を活用した直接指導
- (2) 「高知家健康づくり支援薬局」を核とした指導

2 健診等による高血圧への早い対処 ～高血圧者を治療に繋ぐ仕組み～

3 高血圧予防・治療に関する啓発 ～県民の機運の醸成～

- (1) 高血圧対策サポーター企業認定事業
- (2) 減塩プロジェクト
- (3) 血管病対策研修会の実施
- (4) 高知家健康パスポート事業での啓発
- (5) 推定塩分摂取量測定事業による健康教育



1 家庭血圧を指標にした降圧治療の強化

(1) 医療機関での指導教材を活用した直接指導の継続

- ・指導教材を活用した指導についての依頼を継続
医療機関 + 薬局 (352 + 307機関) に送付



(2) 「高知家健康づくり支援薬局」を核とした指導

- ・身近で気軽に健康相談・支援が受けられる薬局を「高知家健康づくり支援薬局」として認定している。(令和4年7月現在：307薬局)
「高知家健康づくり支援薬局」薬剤師が、降圧薬処方時の家庭血圧測定と記録の促進の指導、服薬指導を実施。



健康づくり・セルフメディケーション*の推進
(* 専門家の適切なアドバイスのもと身体の軽微な不調や症状を自ら手当すること)

2 健診等による高血圧への早い対処

① 健診機関から指導教材を活用した直接指導の継続

特定健診受診機関及び生活習慣病予防健診実施機関にチラシの配布を依頼 (継続)

- ・健診時に、医師から高血圧者への指導を実施

○対象者

- ① 診察時に I 度高血圧以上の血圧値であった者で、
- ② かつ、普段から家庭血圧を測定していない者

② 未治療者・治療中断者への受診勧奨

モデル市町村において高血糖、高血圧、脂質異常症の方で未治療者・治療中断者を抽出し、ナッジ理論を活用した受診勧奨ハガキを送付 (739通、11/4送付)

モデル市町村：高知市

3 高血圧予防・治療に関する啓発

(1) 高血圧対策サポーター企業認定事業

○サポーター企業の活動

普及啓発活動	①ポスターの掲示やチラシの配布 ②顧客や従業員への呼びかけ ③ホームページや社内報で高血圧の危険性等に対する情報の掲載 ④社内における勉強会の開催
社会的な価値の創造	⑤企業方針としての打ち出し ⑥企業独自の企画（高血圧予防に関係する自社製品の販売等）の展開

このうち1つ以上の活動をお願いします！

○サポーター企業への啓発資材の提供



認定証ステッカー (A4サイズ)



ポスター3種類 (A3サイズ)

○サポーター企業の認定状況

スーパー・飲食関係291社、薬局160社、その他78社 計529社 (R4.12月末現在)

- 令和4年度は、サポーター企業の新規登録数を増やすよう、職場の健康づくり応援研修等でPR

(2) 減塩プロジェクト

- 高血圧対策サポーター企業等と連携した食を通じた生活習慣の改善提案の実施

取組内容	
①減塩の啓発	店頭POP及びポスターの掲示、チラシでのPR
②商品紹介	減塩商品の紹介・販売、コーナー化
③健康サポート	高知家健康づくり支援薬局による血圧測定・健康相談の実施
④料理提案	減塩レシピ提案、減塩惣菜の販売、野菜の販売促進

○減塩プロジェクト参加企業 (令和4年12月末現在)・・・35社

- テレビ番組による減塩の啓発 (減塩プロジェクト)
減塩の特集で減塩プロジェクトの現状や取組を紹介

■高知・「ラブベジ®」

高知県「高知家健康チャレンジ」×味の素(株)「ラブベジ®」コラボ企画により県民の野菜摂取を促進する取り組みを実施



素材の味を生かすためにも減塩

(3) 血管病対策研修会の実施

■保健医療従事者のスキルアップ

医療機関、薬局、健診機関を対象に、高血圧者に対する指導方法を含めた血管病対策研修会を開催

・令和4年度研修

日程：令和5年2月18日（土）

「働き盛りの血圧の管理と循環器疾患の予防」

講師：慶応義塾大学医学部 衛生学公衆衛生学
教授 岡村 智教 氏

(4) 高知家健康パスポート事業での啓発

高知家健康パスポート事業のアプリを活用した家庭血圧測定の記録を促進

・朝晩の家庭血圧記録をアプリに記録することで、3日間の記録ごとにヘルシーポイントを1ポイント付与



(5) 推定塩分摂取量測定事業による健康教育

目的：受診者に対する食生活等生活習慣の改善に向けた指導や心疾患や脳血管疾患等の血管病の発症リスクである高血圧予防対策の推進を図る。

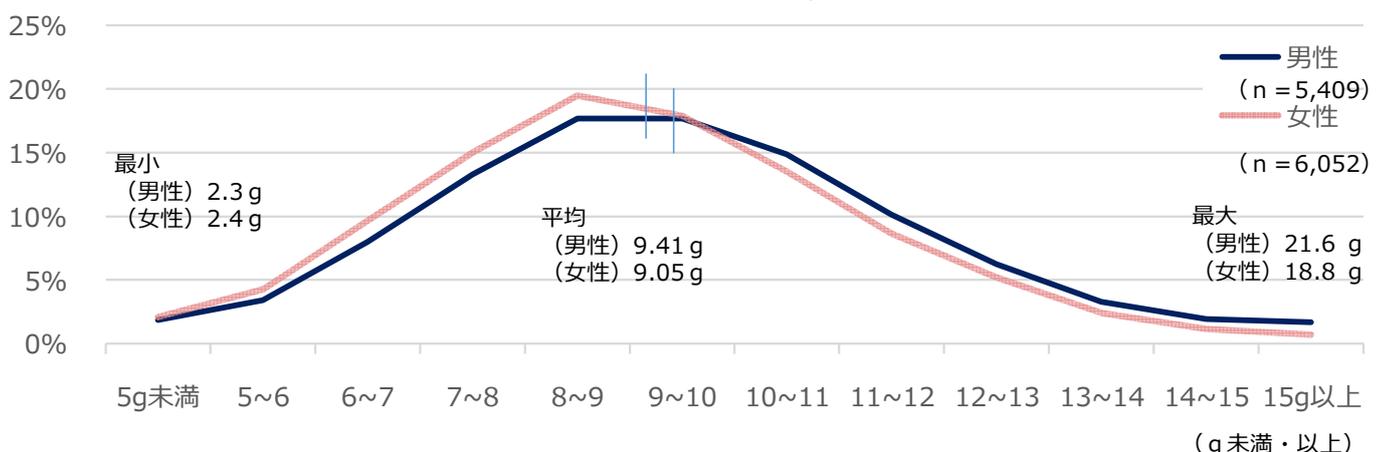
内容：市町村国保の協力を得て集団健診において、1日の推定塩分摂取量を測定し、減塩の健康教育に活用

予定：15,000件

委託先：公益財団法人高知県総合保健協会

○R4（4月～12月）推定塩分摂取量測定事業実施結果（男女別_分布）

高知県計（31市町村）



生活習慣病の発症予防と重症化予防対策

糖尿病性腎症重症化予防

第4期よさこい健康プラン21における対策

糖尿病性腎症重症化予防

- ・糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づき、保険者と医療関係者等各関係機関が連携した重症化予防対策の推進を図るための体制整備
- ・対象者抽出の円滑な運用及び関係機関と連携した保険者の取組状況の進捗管理
- ・関係者への周知、保険者とかかりつけ医との連携体制の構築支援、及びかかりつけ医と専門医等との連携強化（医師会）
- ・構成団体への周知、及び県医師会やCKD対策連絡協議会と連携した透析予防を目的とした病診連携体制の構築（高知県糖尿病医療体制検討会議）
- ・CKDについての正しい知識の普及や人材育成及び重症化するリスクの高い患者について病診連携を推進する体制の構築（CKD対策連絡協議会）
- ・県内保険者へプログラムの周知及び取組促進への支援（保険者協議会）
- ・保健指導実施者の人材育成

令和4年度の実施

1 糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づく取組

- (1) 高知県版糖尿病性腎症重症化予防プログラム
- (2) 糖尿病アドバイザー派遣事業による市町村の取組支援
- (3) 血管病重症化予防対策研修会の実施
- (4) 糖尿病性腎症重症化予防プログラムに係る事例集作成

2 ICTを活用した保健指導の実施

3 糖尿病性腎症透析予防強化事業

4 糖尿病保健指導連携体制構築事業

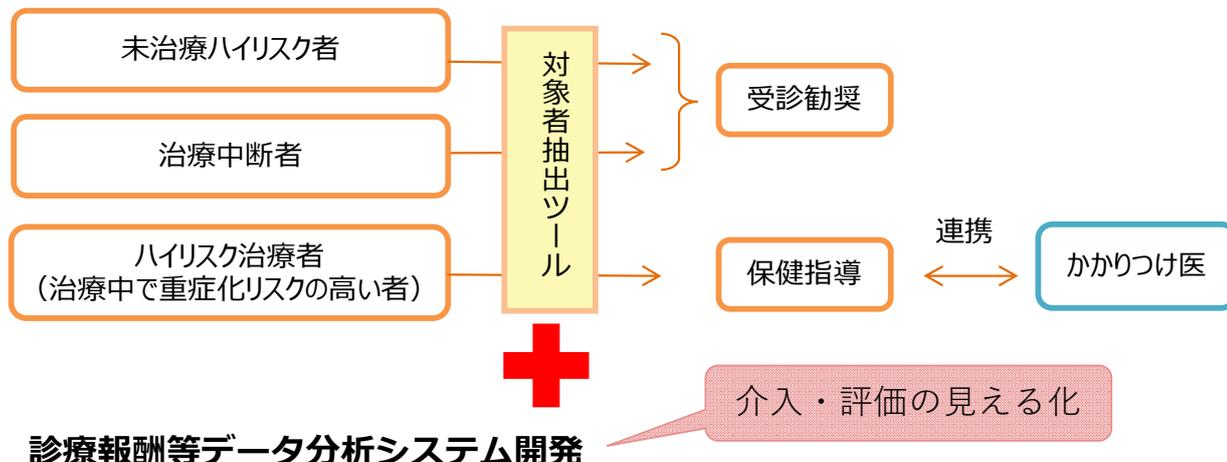
5 糖尿病患者実態調査

6 外来栄養食事指導の推進

1 高知県糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づく取り組み

(1) 高知県糖尿病性腎症重症化予防プログラム

- ・高知県医師会・高知県糖尿病医療体制検討会議・高知県の三者で糖尿病性腎症重症化予防プログラムを策定（平成30年1月）
- ・平成31年4月の国のプログラム改定を受け、県版プログラムも改定（令和元年11月）



介入状況管理機能	受診状況参照機能	取組状況作成機能
<ul style="list-style-type: none"> ・対象者情報をオンライン画面から検索・更新ができる。 ・介入対象者の選別、介入対象者の状況管理ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン画面で、対象者のレセプト画像、健診結果を確認できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・介入状況の登録結果を基に、県及び保険者でプログラムの取組状況を随時作成できる。

表（国保連合会からの名簿通知数）

年度	I 医療機関未受診者				I 治療中断者		II ハイリスク治療者	
	国保		後期		国保	後期	国保	後期
	新規	受診済	新規	受診済				
R1	247	49	44	12	178	195	2,440	1,259
R2	185	47	31	10	234	277	2,552	1,293
R3	195	42	41	15	254	303	2,238	1,439

※対象者数の考え方

令和元年度対象者数

- Ⅰ 医療機関未受診者：令和元年9月～令和2年8月の配信名簿から算出
- Ⅰ 治療中断者：令和2年3月の配信名簿から算出
- Ⅱ ハイリスク治療者：令和元年6月～令和2年5月の配信名簿から算出

令和2年度対象者数

- Ⅰ 医療機関未受診者：令和2年9月～令和3年8月の配信名簿から算出
- Ⅰ 治療中断者：令和3年3月の配信名簿から算出
- Ⅱ ハイリスク治療者：令和2年6月～令和3年5月の配信名簿から算出

令和3年度対象者数

- Ⅰ 医療機関未受診者：令和3年9月～令和4年5月の配信名簿から算出
- Ⅰ 治療中断者：令和4年3月の配信名簿から算出
- Ⅱ ハイリスク治療者：令和3年6月～令和4年5月の配信名簿から算出

(参考) 未治療ハイリスク者・治療中断者への受診勧奨の実績

- ・脳卒中・虚血性心疾患・腎不全を発症するリスクが高く、薬物治療を受けていない人や、レセプトデータが途切れた治療中断者に対して、保険者が医療機関への受診勧奨を実施

未治療ハイリスク者<特定健診で医療機関への受診が必要と判断されながら健診後3ヶ月以上経過しても受診していない者>

表 (国保連合会からの通知をもとに、市町村において精査した対象者)

対象者数	介入人数	医療機関受診者	
		人数	受診割合
154人	121人	41人	33.9%

※対象：R3年度特定健診受診者

治療中断者<過去に糖尿病の治療をしていたが、直近6ヶ月以上治療中断している者>

表 (国保連合会からの通知をもとに、市町村において精査した対象者)

対象者数	介入人数	医療機関受診者	
		人数	受診割合
126人	99人	65人	65.7%

※対象：R3年度治療中断者

- ・令和5年度も、各福祉保健所単位で糖尿病性腎症重症化予防プログラムについての医療機関向け研修会を行い、プログラムの周知及び保険者との連携強化を支援する。

(参考) 治療中で重症化リスクの高い者へのかかりつけ医と連携した保健指導の実績

- ・糖尿病で通院する者のうち、腎症が重症化するリスクの高い者へ、本人及びかかりつけ医の同意のもと、かかりつけ医の指示により保険者が保健指導を実施。
- ・R3は、28市町村で実施 (委託、対象者へアプローチ中、医療機関訪問済み含む)。

治療中で重症化リスクの高い者<糖尿病治療中で、特定健診で血糖(HbA1c)、血圧、尿蛋白、eGFRのいずれかの数値が基準値以上の者>

対象者数	介入人数*1	主治医から対応方針*2の連絡があった者	保険者による保健指導依頼数	保健指導実施者数 (修了者及び継続中の者)
1,954人	1,028人	146人	44人	44人

*1 市町村が本人へプログラムへの参加について訪問、通知等で説明を行った人数

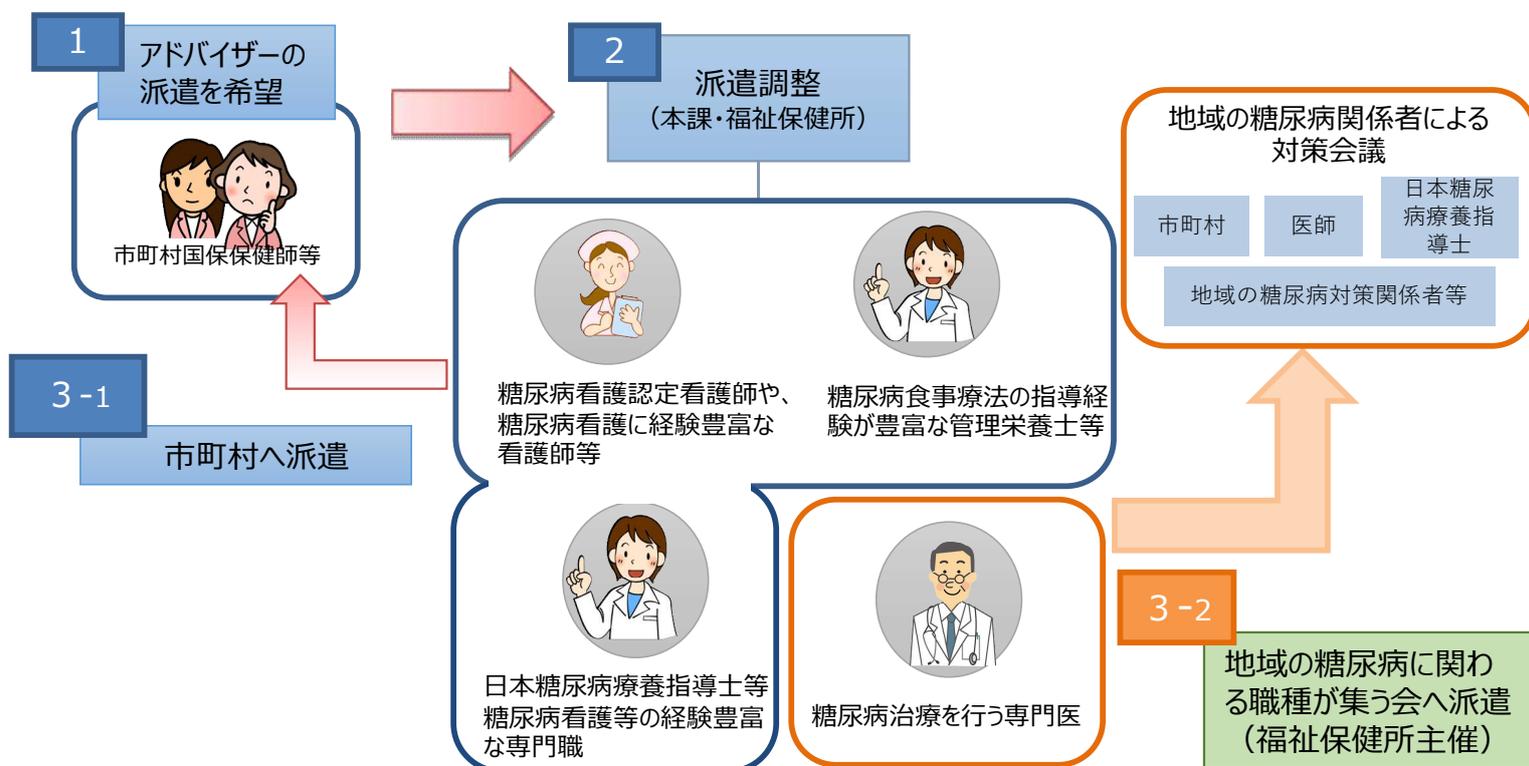
*2 対応方針：専門医療機関への紹介、外来栄養食事指導の利用、保険者による保健指導の利用

※対象：R2年度特定健診受診者、R3年度特定健診受診者

- ・令和5年度は、全市町村での実施となるよう取り組みを支援する。

(2) 糖尿病アドバイザー派遣事業による市町村の取り組み支援

- ・糖尿病看護や栄養食事指導の専門家等を派遣し、それぞれの実情や困り事に合わせた助言を得られることで、市町村国保のプログラムの取り組みの推進を図ることを目的に実施する。
- ・アドバイザーとして、糖尿病看護認定看護師等の経験豊富な専門職を派遣する。
- ・福祉保健所単位で開催する地域の糖尿病に関わる職種が集う会に、糖尿病治療を行う専門医を派遣する。



R4年度実績 (R4.12月末現在)

依頼内容	実施回数
①保健師等への実践場面での助言 ・患者の事前評価 (指導のポイント) ・患者同意のもと指導場面で助言	2
②プログラム対象者選別ミーティングでのアドバイス ・対象者の優先度付け	0
③保健指導後の評価ミーティングでの助言 ・保健指導の振り返り ・保健指導成果の検証	0
④事例検討会での助言	3
⑤勉強会講師	7
⑥糖尿病教室等の講師	0
計	12 (派遣回数は10回)

新

(3) 糖尿病性腎症重症化予防プログラムに係る事例集作成（委託）

- ・糖尿病性腎症重症化予防プログラムにおける好事例の横展開により、全市町村での実施及び効果的な取組を強化することを目的として実施。
- ・事例集作成（R5.3月配布）

新

2 ICTを活用した保健指導の実施（委託）

- ・糖尿病予備群に対し、血糖状態を見える化するとともに血糖データに基づく保健指導を実施する。

■対象

特定健診の結果で、○HbA1c 5.6～7.3の者

※糖尿病、心不全、腎不全と診断された者及びBMI22以下の者等は除外

■介入内容

1クール3ヶ月の介入

○血糖管理ツール（FreeStyleリブレ）による持続血糖モニタリング

○データに基づくICTを活用した（タブレット端末等）保健指導

■R4取組の現状

○10月から香南市、高知市、土佐市で実施

・介入群（高知市、土佐市）：候補者302人に案内送付済 ⇒ 同意者15人

・対照群※（香南市）：候補者263人に案内送付済 ⇒ 同意者14人

※ICTを活用した保健指導のみを実施

3 糖尿病性腎症透析予防強化事業

- ・数年後に透析導入が予測される糖尿病性腎症患者に対し、医療と保険者が連携した重点的な個別支援により、透析導入時期の遅延を図る。

(1) 事業の概要

- ・モデル地域4か所で医療機関と保険者が連携体制強化により対象者への介入を継続する。
- ・介入結果を年2回の推進会議で評価するとともに、介入対象者を追加する。
- ・モデル医療機関の従事者を対象に研修会を開催する。



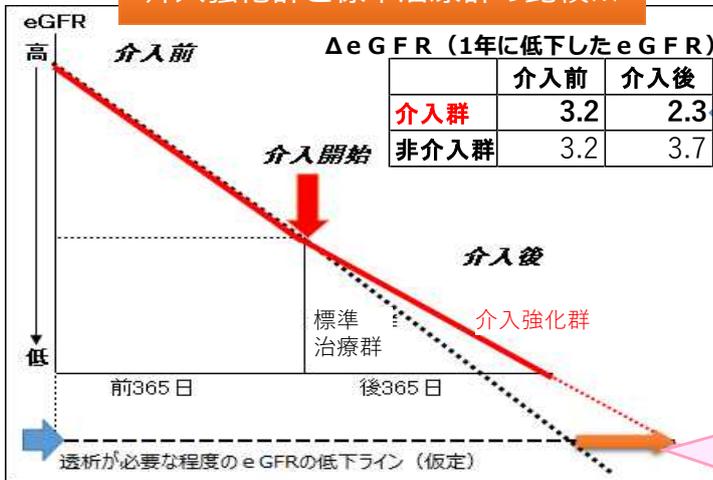
(2) R4年度の実績

○土佐市、高知市、幡多地域、中央東地域

- ・10医療機関で実施
- ・74人に介入中+10人(予定)

第1グループ (R2年度から介入) : 40人
 第2グループ (R3年度から介入) : 17人
 第3グループ (R4年度から介入) : 17人 (+10人予定)

介入強化群と標準治療群の比較※



※統計的な処理はしていない。

介入強化群では標準治療群より腎機能の低下の量が小さく、介入の効果が示唆された

検証件数は限られる(34件)ものの、透析導入時期を遅らせる可能性が示唆された

※eGFRが介入前40
 eGFRが10になる時を透析導入時期と

約5年

■取組の検証

○介入群と対照群の効果を検証

- ・腎機能の低下量の平均値を介入(基点)前後で比較: 令和5年3月
 介入群: 第1グループ 介入の2年後、第2グループ 介入の1年後
 非介入群: 平成29年度以降の腎機能検査データを把握できる患者42人予定

4 糖尿病保健指導連携体制構築事業（委託：高知県立大学）

- ・令和元年度より、高知県立大学に委託して実施。
- ・目的：モデル医療機関の看護師が、地域内の看護師や保健師等と連携した糖尿病患者への継続的かつ効果的な生活指導を充実させることで、地域における糖尿病患者の療養支援を強化する。
- ・課題：令和元年度からの取組により、13の基幹病院で67名の血管病調整看護師を育成できたが、早期からの継続的な生活指導を実施することにより、治療中断者やコントロール不良を防ぐ関わり方の充実に向け、継続的支援が必要である。また、県下全域で取り組みを進めていけるよう、新たな人材育成が必要であり、活動手順書についても効果的なものとなっているかの検証とバージョンアップが必要である。

R4年度の実績

1) 血管病調整看護師の実践支援

第1期 県立あき総合病院、佐川町立高北国民健康保険病院、

第2期 高知高須病院、高知記念病院、JA高知病院、仁淀病院、くぼかわ病院

第3期 高知医療センター、高知大学医学部附属病院、高知赤十字病院、近森病院、三愛病院、
幡多けんみん病院

①モデル医療機関への協力依頼及び事前説明会の開催

②院内事例検討会の開催：各基幹病院（13か所）で1回以上

③合同事例検討会の開催：1回

④スキルアップ研修会の開催：3回

⑤コンサルテーションの実施：血管病調整看護師の事例展開へのICTの活用等による助言・相談

2) 関係機関との連携強化

①医療従事者向け公開講座の開催：1回

②地域連携会議への参画

3) 県民向け公開講座の開催：1回

4) 事例報告会の開催：1回

5) 活動手順書のバージョンアップ

5 糖尿病患者療養実態調査

- ・目的：治療中断等による重症化を予防するため、若年の治療中断等のハイリスク患者に対し、糖尿病の発症時期、治療内容、治療に対する思い等に関する調査を実施する。

R4年度の実績

新型コロナウイルスの感染拡大のため、医療機関の負担を勘案して中止

6 外来栄養食事指導の推進（委託：公益社団法人高知県栄養士会）

- ・ 目的：糖尿病等の重症化予防を進めるため、管理栄養士未配置の診療所に対する外来栄養食事指導を提供する体制を整備する。
- ・ 事業内容：外来栄養食事指導を提供する体制整備や充実のために、管理栄養士のスキルアップ向上や栄養食事指導の実績の把握を行う。
- ・ 実施内容

■ 研修会

R4.7.30（土） 参加人数 72名

講演「糖尿病性腎症の病態と診療について」

高知大学医学部附属病院 内分泌代謝・腎臓内科 藤本新平

症例発表

■ 症例検討会

高幡地区：R4.10.15（土） 参加人数 8名

講演及び事例発表（3施設）

安芸地区：R4.10.27（木） 参加人数 9名

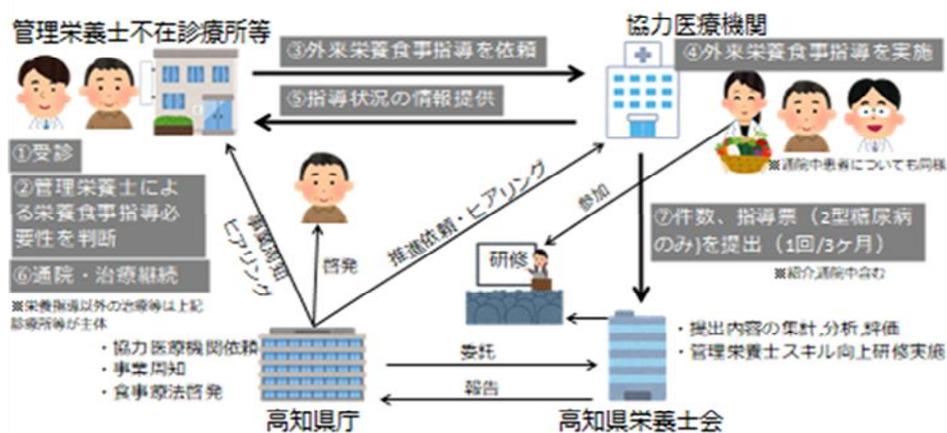
講演及び事例発表（3施設）

幡多地区：R4.11.19（土） 参加人数 9名

講演及び事例発表（3施設）

高知地区：R5.2.5（日） 予定

講演及び事例発表（3施設）



分野ごとの健康づくりの推進 第4期よさこい健康プラン21における対策

分野	対策
栄養・ 食生活	<p>第3期高知県食育推進計画に基づく取組（食育連携推進協議会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「早ね早おき朝ごはん」の普及啓発 ・研修会や講座等を活用した健康的な食生活習慣の形成の啓発 ・野菜の摂取量の増加や果物の適量摂取、減塩の普及啓発 ・生活習慣病予防を目的とした啓発や料理教室の開催 ・地域とのふれあい活動を通じた孤食防止や食生活等の自立支援 ・高齢者への低栄養予防、介護予防のための食生活に関する研修会等の実施
身体活動・ 運動	<ul style="list-style-type: none"> ・健康教育や体育的活動の充実 ・出前講座やマスメディア等による啓発 ・高知家健康パスポートの啓発による運動の促進
休養・ こころ	<ul style="list-style-type: none"> ・健康教育や出前講座、マスメディア等を活用した啓発 ・関係機関と連携したそれぞれの世代への心の健康に関する普及 ・職場の健康づくり応援研修会等の実施による従業員への啓発
飲酒	<ul style="list-style-type: none"> ・保健教育を通じた子どもへの飲酒に関する正しい知識の普及啓発、飲酒防止 ・健康教育や出前講座、マスメディア等を活用した啓発 ・職場の健康づくり応援研修会や産業保健との連携により、従業員への啓発
喫煙	(喫煙対策 参照)
歯・口腔	<p>高知県歯と口の健康づくり基本計画に基づく取組 (歯と口の健康づくり推進協議会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思春期から、母体の健康状態や子どもの歯科保健の重要性の啓発 ・妊婦歯科健診の実施等による妊娠期の歯周病予防の重要性の啓発 ・フッ素入り歯磨剤の使用やフッ素塗布、フッ素洗口等のフッ素応用を啓発し、学校でのフッ素洗口の実施を推進 ・喫煙や受動喫煙と歯周病との関連等について、正しい知識の普及啓発 ・研修会等の開催による歯科医療関係者の資質向上

分野ごとの健康づくりの推進 令和4年度の取組

分野	取組内容	
栄養・食生活	第3期高知県食育推進計画に基づく取組 （食育連携推進協議会） ①食育の推進 ②食育を担う人材の育成支援、食育団体の活性化	
身体活動・運動	生活習慣病予防の総合啓発 ・ナッジ理論を活用しハードルの低い動作指示をキャッチコピーとした啓発の実施 ・企業・団体を巻き込んだ不健康を選択させない環境づくり	
休養・こころ		
飲酒		
喫煙		
喫煙	（喫煙対策 参照）	
歯・口腔	高知県歯と口の健康づくり基本計画に基づく取組 （歯と口の健康づくり推進協議会） ①子どものむし歯の格差解消 ②歯周病予防対策の強化 歯周病と全身疾患との関係を啓発、成人妊婦歯科健診の実施を支援 事業所での歯周病予防指導ができる歯科衛生士の育成研修会を実施 ③在宅歯科医療体制の構築支援 在宅歯科医療に関わる人材の資質向上研修を実施 ④オーラルフレイル予防対策 プログラム更新とモデル事業の実施	

喫煙対策

第4期よさこい健康プラン21における対策

喫煙対策

(防煙対策)

- ・子どもが喫煙の健康への影響について知り、考える場の提供
- ・母子健康手帳交付時等の機会を利用した喫煙者への保健指導や、妊産婦・乳幼児への受動喫煙防止対策（市町村）
- ・保健教育を通じた喫煙や受動喫煙に関する普及啓発及び喫煙防止対策（学校）

(禁煙支援)

- ・各団体と連携した啓発
- ・禁煙支援体制の強化、特定健診の機会等での保健指導、医療機関・健診機関・薬局等からの禁煙指導、とさ禁煙サポーターズにおける地域での禁煙サポート
- ・禁煙治療を実施している医療機関従事者の資質向上、保健指導実施者の人材育成

(受動喫煙防止対策)

- ・健康に及ぼす影響等の啓発
- ・職場における受動喫煙防止対策、研修会の開催、労働者等への情報提供（高知労働局、労働関係機関及び高知産業保健総合支援センター）
- ・教育委員会等の関係機関と連携した学校の受動喫煙防止対策の推進

令和4年度の実施

1【禁煙支援】喫煙をやめたい人への支援体制の充実

- (1) 禁煙へのつなぎ
- (2) 人材育成



2【防煙対策】未成年者への喫煙防止教育の充実

- (1) 健康教育
 - ①学校の授業等での副読本を活用した喫煙防止教育の実施



3【受動喫煙防止対策】

健康増進法に基づく受動喫煙対策の推進

1 【禁煙支援】喫煙をやめたい人への支援体制の充実

(1) 禁煙へのつなぎ

①喫煙者に対する、あらゆる機会を用いた禁煙のはたらきかけ

- ・高知家健康チャレンジによる啓発
「禁煙 始めよう まずは禁煙外来へ！」
「禁煙の味方は、意志ではなく医師です。」
- ・実施期間：11月にキャンペーン実施



令和4年度のキャッチコピー

令和4年度のチラシ

(2) 人材育成

①とさ禁煙サポーターズフォローアップ事業

目的：平成26年度までに養成した「とさ禁煙サポーターズ」に対し、講習会を実施することで、最新情報の提供やスキルアップを図る。

実施：各福祉保健所圏域

講習内容：「禁煙支援マニュアル」等、講師の作成する資料に基づく、講習、グループワーク等

□とさ禁煙サポーターズの取組

令和2年度に意向調査を行い、専門的な立場で禁煙支援活動を行うサポーターに絞った。
とさ禁煙サポーターズ 55名（令和4年度12月末時点）

・所属における、禁煙活動

- 例) 薬局において、喫煙者に対し、禁煙指導や禁煙補助薬の使用方法を説明
喫煙者への声かけ活動や、健康教育の実施
母子健康手帳交付時や乳幼児健診等の場において、禁煙指導の実施

・健康づくりイベントにおける啓発活動、禁煙指導の実施

- 例) 赤ちゃん会や、健康まつりなどにおける、禁煙相談コーナー

※新型コロナウイルス感染拡大防止等により、開催イベント減少

- ・健康づくり婦人会員等は団体の活動として、禁煙の呼びかけを継続して行う。

②禁煙支援・治療の指導者トレーニングプログラムの周知

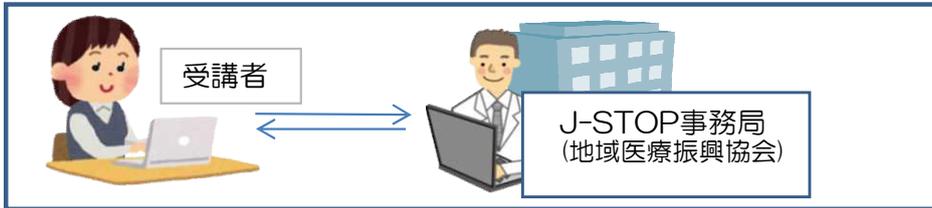
対 象：医師、歯科医師、看護師、薬剤師、市町村等の保健指導従事者等

目 的：禁煙希望者に対し、より効果的な禁煙治療や保健指導が実施されるよう、関係者のスキルアップを行うための周知

実施方法：WEB（自宅や職場のパソコンにて学習）

講習期間：随時

講習内容：下記のとおり



コース名	禁煙治療版	禁煙治療導入版	禁煙支援版
用途	禁煙外来	日常診療 薬局・薬店	地域や職域の 保健事業の場
学習内容 (学習時間の目安)	禁煙治療標準手順書に準拠した禁煙治療 (10～12時間)	短時間でできる禁煙の動機づけや情報提供 (3～4時間)	短時間でできる禁煙の動機づけや情報提供、禁煙カウンセリング (4～5時間)
対象	医師やコメディカル	医師やコメディカル、 薬局・薬店の薬剤師	地域や職域の 保健指導者

3 【防煙対策】未成年者への喫煙防止教育の充実

(1) 健康教育

①学校の授業等での副読本（中学生・高校生）を活用した喫煙防止教育の実施



第4期よさこい健康プラン2 1の 分野ごとの取組み（令和5年度・案）

	分野	取組内容
基本方針	子どもの頃からの健康的な生活習慣の定着	<ul style="list-style-type: none"> ①学校における組織的な取組の充実 ②家庭の意識向上 ③地域の住民組織の参画による児童生徒への健康教育と家庭への波及
	働きざかりの健康づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ①デジタル化を活かした「高知家健康パスポート」事業の拡充 アプリ上でのイベント開催によるポピュレーションアプローチの強化 ②職場の健康づくり対策の推進 ③（拡）事業所でのアプリを活用した従業員の健康づくりの取組支援 ④働き盛り世代の健康づくり総合啓発（テレビCM）
	生活習慣病の発症予防	<p>【高血圧】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①家庭血圧測定の記録と指導 ②推定塩分摂取量の測定結果の活用による保健指導の充実 ③幅広い年代の県民に減塩の必要性や減塩商品の紹介などの啓発を実施 <p>【特定健診・特定保健指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①コロナにより受診を控えをした人の受診に戻ってくるよう啓発を強化 ②（拡）テレビCMやインターネットなどを活用した効果的な受診勧奨の実施 ③特定健診の受診率向上に向けた医療機関との連携強化 ④医療機関の診療データを活用したみなし健診による受診率向上 ⑤協会けんぽ被扶養者への受診促進 ⑥特定保健指導実施体制への助言等支援
	重症化予防対策	<ul style="list-style-type: none"> ①発症予防のための基盤整備 ②医療機関における質の高い医療の提供及び適切な生活指導の強化 ③糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づく重症化予防対策の推進 ④糖尿病性腎症透析予防強化事業の推進 ⑤（新）介入効果の見える化（冊子等啓発資料の作成） ⑥（新）「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」と「糖尿病性腎症透析予防強化プログラム」の統合

第4期よさこい健康プラン21の 分野ごとの取組み（令和5年度・案）

分野		取組内容	
分野ごと	栄養・食生活	①食育の推進 ②食育を担う人材の育成支援、食育団体の活性化	生活習慣病予防の総合啓発 ・ナッジ理論を活用しハードルの低い動作指示をキャッチコピーとした啓発の実施 ③ 量販店等と連携したコラボ事業の強化 ④ 高知家健康パスポート事業と連携した取組
	身体活動・運動	①「高知家健康パスポート」の活用 ②健康教育や出前講座の実施 ③高知県子どもの健康的な生活習慣支援講師の派遣	
	休養・こころ		
	飲酒		
	喫煙	①禁煙支援・治療の指導者の養成、養護教諭等対象のスキルアップ研修の開催 ②法規制に則った受動喫煙防止対策の徹底 ③子どもの受動喫煙防止対策の強化	
歯・口腔	①子どものむし歯の格差解消 ②歯周病予防対策の強化 ③在宅歯科医療体制の構築支援 ④オーラルフレイル予防対策 モデル市町村の通いの場でのプログラム（運動・口腔・栄養の複合プログラム）実践の継続		

高知県健康づくり推進協議会の取組（令和5年度・案）

健康づくり推進協議会

協議会名	検討項目（予定）	開催時期（予定）
第1回	<ul style="list-style-type: none"> ●第4期よさこい健康プラン21の評価 ●第5期よさこい健康プラン21の基本方針・骨子案検討 	令和5年7月
第2回	<ul style="list-style-type: none"> ●第5期よさこい健康プラン21の目標値案・計画原案検討 	令和5年11～12月
第3回	<ul style="list-style-type: none"> ●第5期よさこい健康プラン21の最終確認 	令和6年2月

各専門部会

部会名	検討項目（予定）	開催時期（予定）
特定健康診査・特定保健指導事業評価専門部会	<ul style="list-style-type: none"> ●特定健診受診率、特定指導実施率向上対策の検討 ●血管病の重症化予防対策 ●第4期よさこい健康プラン21の評価 ●第5期よさこい健康プラン21の基本方針・骨子案検討 	令和5年10～11月
たばこ対策専門部会	<ul style="list-style-type: none"> ●禁煙支援 ●受動喫煙防止、防煙対策 ●第4期よさこい健康プラン21の評価 ●第5期よさこい健康プラン21の基本方針・骨子案検討 	令和5年10～11月
地域・職域連携検討専門部会	<ul style="list-style-type: none"> ●関係機関が連携した地域・職域連携推進事業の取組について ●健康経営の取組について ●第4期よさこい健康プラン21の評価 ●第5期よさこい健康プラン21の基本方針・骨子案検討 	令和5年10～11月
子ども支援専門部会	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもの頃からの健康的な生活習慣の定着に向けた取組 ●第4期よさこい健康プラン21の評価 ●第5期よさこい健康プラン21の基本方針・骨子案検討 	令和5年10～11月

令和5年度各種計画策定等スケジュール

	令和5年度													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
健康づくり推進協議会				◆第1回 第4期計画評価 第5期計画基本方針・骨子案					◆第2回 目標値案 計画原案	●郵送による意見照会	パブリックコメント	◆第3回 第5期計画最終確認 2月議会への報告	第5期「よさこい」策定健康	
各専門部会							子ども支援 特定健診・保健指導事業評価 たばこ対策 地域・職域連携 検討							
医療体制検討会議				◆第1回 糖尿病 心疾患 脳卒中			◆第2回 糖尿病 心疾患 脳卒中				保健医療計画全体（医療政策課） パブリックコメント	2月議会への報告	第8期「高知医療計画」策定	
循環器病対策推進協議会				◆第1回 第2期計画評価 第1期計画基本方針・骨子案			◆第2回 目標値案 計画原案		●郵送による意見照会		パブリックコメント	◆第3回 第3期計画最終確認 2月議会への報告	第2期「高知循環器病対策」策定	
健康診査管理指導協議会 循環器疾患等部会	国取りまとめ報告	県マニュアル改訂作業				◆第1回 等第1回開会 改訂内容の決定	特定健診関係システム改修作業					◆第2回 等第2回開会 部会	保険者及び医療機関向け説明会開催	新制度運用開始